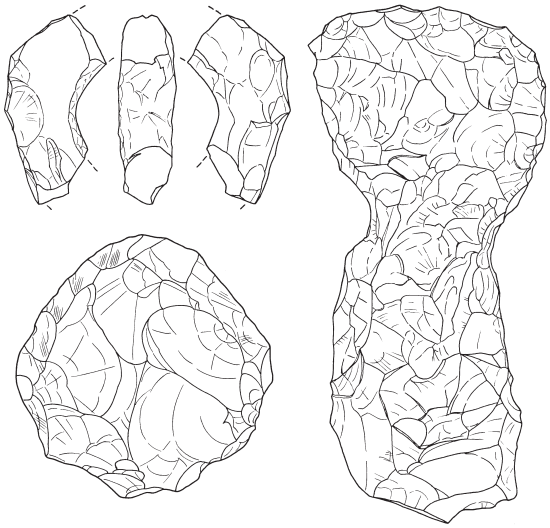
金沢市文化財紀要288

石川県 金沢市

# 畝田◎寺中遺跡Ⅷ

## －木曳野遺跡群Ⅵ－



平成25年3月
（2013年）

金　　沢　　市
（金沢市埋蔵文化財センター）

石川県 金沢市

# 畝田・寺中遺跡Ⅷ

－木曳野遺跡群Ⅵ－

平成２５年３月

（２０１３年）

金　　沢　　市

（金沢市埋蔵文化財センター）

# 例　　言

1．本書『畝田・寺中遺跡Ⅷ』は、石川県金沢市寺中町、畝田西４丁目、桂町地内に所在する事業名：木曳野遺跡群（寺中Ｂ遺跡、桂町南遺跡、畝田・寺中遺跡）の発掘調査報告のうち、平成15年度に実施した畝田・寺中遺跡の調査の一部について報告するものである。

2．本調査は金沢市木曳野土地区画整理組合による土地区画整理事業に伴い、平成15年度に金沢市埋蔵文化財センターが発掘調査を実施したものである。

3．本報告にかかる現地調査は金沢市埋蔵文化財調査委員会（会長　橋本澄夫氏、谷内尾晋司氏、垣田修児氏、横山方子氏）の指導の下で、谷口宗治（文化財保護課主査）が担当した。

4．本書は景山和也（文化財保護課主査）と向井裕知（同　主任主事）が執筆し、編集は向井が担当した。写真撮影は遺物を景山が行い、遺構を谷口が行った。

5．本書の各図及び写真図版の指示は以下のとおりである。

（1）方位は全て座標北である。座標は世界測地系（第Ⅶ系）に基づき設定している。

（2）各図の縮尺は、遺物は１/２・１/３・１/６、遺構は１/60が主であるが、各図に指示しているとおりである。

（3）遺物実測図の番号は通し番号とし、それぞれの本文中、観察表、写真図版のそれと一致する。

（4）遺構名の略号は、SB＝掘立柱建物、SE＝井戸跡、SK＝土坑跡、SD＝溝・川跡、SX＝落ち込み・土器だまり跡などであるが、略号を用いず大河跡とした遺構がある。

（5）土器については「壺」・「甕」・「高坏」・「器台」などと表記するが、用途を示すのではなく、形態による分類で、「壺形土器」などの略称である。

（6）土器実測図の断面が黒色のものは須恵器を、その他のものは白抜きで示している。また、実測図内外面の目の粗いドットは黒色処理を、細かいものは赤彩処理を、細かな砂目状のものは灯明痕を示している。

6．本調査での出土遺物、記録資料は金沢市埋蔵文化財センターで保管している。

# 畝田・寺中遺跡Ⅷ　目次

第１章　調査箇所と報告の内容……1
　第１節　調査箇所と既往の報告内容
　第２節　本書の報告について

第２章　遺跡の位置と環境……5
　第１節　地理的環境
　第２節　歴史的環境

第３章　検出遺構……7
　第１節　概要
　第２節　掘立柱建物・ピット
　第３節　井戸・土坑
　第４節　溝・川

第４章　土器・陶磁器……（以上、向井）11
　第１節　概要
　第２節　掘立柱建物・ピット
　第３節　井戸・土坑
　第４節　溝・川
　第５節　遺構外

第５章　石製品……（景山）48
　第１節　概要
　第２節　石製品

第６章　総　括……（向井・景山）55
　第１節　遺跡の様相
　第２節　畝田・寺中遺跡の玉つくりについて

写真図版

# 第１章　調査箇所と報告の内容

## 第１節　調査箇所と既往の報告内容

今回報告する畝田・寺中遺跡の発掘調査は、金沢市木曳野土地区画整理事業に伴うものである。

遺跡の発見から発掘調査へ至るまでの経緯は既刊の報告書を参照願いたい（金沢市2006）。

本事業による調査箇所は第１図のとおりである。調査時には、補助事業主体の名称として県費分Ａ～Ｃ区、道路名称によって主幹線１～５区、支線部などと呼称して調査を実施しており、既刊報告書の報告内容との対応については第１表および第２図のとおりである。

木曳野遺跡群Ⅰ（以下Ⅰ、Ⅱ等とする）では、調査に至る経緯や縮尺１/300、１/100遺構平面図版と共に植生や環境復元、木材・石材利用把握のための自然科学分析結果を掲載している。

Ⅱでは、寺中Ｂ遺跡と畝田・寺中遺跡内の桂・寺中遺跡として調査を実施した箇所の調査成果を掲載している。

Ⅲでは、桂町南遺跡と畝田・寺中遺跡の県費分Ａ～Ｃ区の調査成果を掲載している。また、畝田・寺中遺跡の桂・寺中遺跡部分を除いた、縮尺１/500の畝田・寺中遺跡図版が別紙で用意されている。

Ⅳでは、畝田・寺中遺跡の主幹線１区と２区のSD222、SD303（大河跡）の調査成果を掲載している。

Ⅴでは、畝田・寺中遺跡の主幹線３区の調査成果と１区SD222、包含層、２区P20、SD222、SD240、SD244、SD303、４区大河跡出土の墨書土器を掲載している。

第１表　報告書の内容

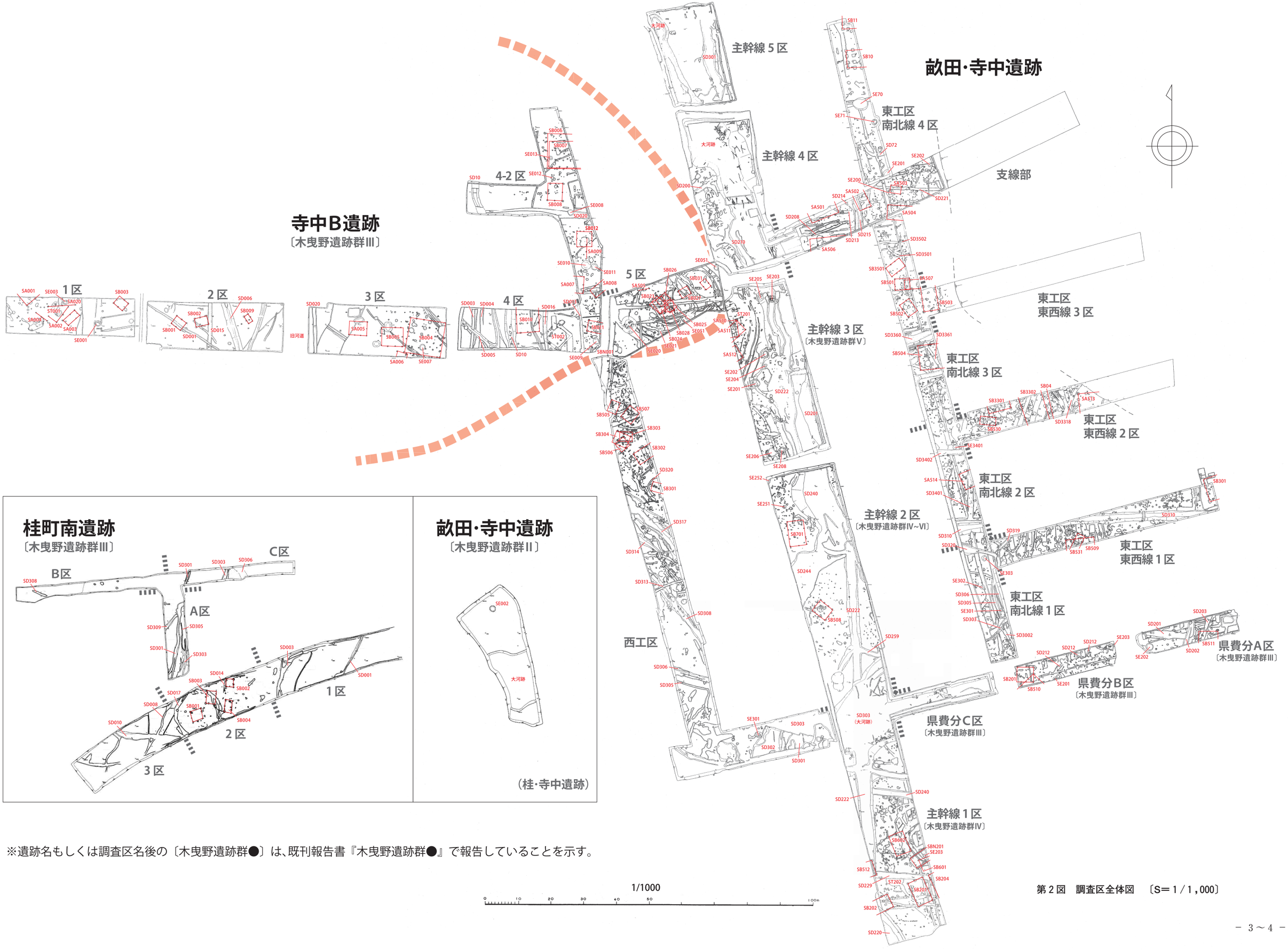
| 紀要No. | 書名 | | 内容 | 発行年 |
|---|---|---|---|---|
| 231 | 木曳野遺跡群 Ⅰ | 寺中Ｂ遺跡Ⅵ　桂町南遺跡Ⅰ<br>畝田･寺中遺跡Ⅲ | 調査に至る経緯･経過､航空測量図版､自然科学分析 | 2006 |
| 239 | 木曳野遺跡群 Ⅱ | 寺中Ｂ遺跡Ⅶ　畝田･寺中遺跡Ⅳ | 寺中Ｂ遺跡〔報告完〕<br>桂･寺中(畝田･寺中)遺跡 | 2007 |
| 249 | 木曳野遺跡群 Ⅲ | 桂町南遺跡Ⅱ　畝田･寺中遺跡Ⅴ | 桂町南遺跡〔報告完〕<br>畝田･寺中遺跡(県費分Ａ･Ｂ･Ｃ区) | 2008 |
| 259 | 木曳野遺跡群 Ⅳ | 畝田･寺中遺跡Ⅵ | 畝田･寺中遺跡(主幹線1区･2区 SD222､SD303) | 2010 |
| 279 | 木曳野遺跡群 Ⅴ | 畝田･寺中遺跡Ⅶ | 畝田･寺中遺跡(主幹線3区･2区墨書土器<br>〔1区･4区含〕) | 2012 |
| 288 | 木曳野遺跡群 Ⅵ | 畝田･寺中遺跡Ⅷ | 畝田･寺中遺跡(主幹線2区土器･陶磁器･石製品) | 2013 |

## 第２節　本書の報告について

第１表および第２図のとおり、寺中Ｂ遺跡と桂町南遺跡の報告は終了しているが、調査面積が広く、遺物も大量に出土している畝田・寺中遺跡については、多くが未報告となっている。これまでに、県費分Ａ～Ｃ区、主幹線１区、同３区、同２区の一部が報告済みであり、本書は主幹線２区の遺構および土器・陶磁器について報告するものである。紙幅の都合で本報告から漏れる木製品と金属製品については、次回以降となるがご了承願いたい。

なお、本書刊行後の未報告範囲は主幹線２区木製品・金属製品、同４区、同５区、支線部、西工区、東工区、鉱滓の自然科学分析、樹種同定分析となり、順次刊行していく予定である。

第１図　調査区位置図　〔S＝１/3,000〕




第２図　調査区全体図　〔S＝１／１,０００〕

※遺跡名もしくは調査区名後の〔木曳野遺跡群●〕は、既刊報告書『木曳野遺跡群●』で報告していることを示す。

# 第２章　遺跡の位置と環境

## 第１節　地理的環境

畝田・寺中遺跡は石川県金沢市畝田町、寺中町地内に所在する。

石川県は本州日本海側のほぼ中央に位置している。北方は日本海に面し、南方は福井県、岐阜県、富山県と接する南北に細長い県であり、日本海に突き出た能登地方とその南の加賀地方に分けられる。金沢市は加賀地方の北部に位置しているが、その西部は日本海に接し、南東部には海抜1,500m を越える山地をかかえる。この山地からは市域を西流する浅野川と犀川が流れ、浅野川は河北潟へ、犀川は日本海へ注ぐ。市域西部の平野部では両河川に挟まれた地域に市街地が形成されている。また、犀川を境として、北部平野と南部平野に分かれ、前者は犀川・浅野川やその北部を流れる金腐川・森下川によって形成された沖積平野であり、後者は手取川が形成する扇状地の北辺である。

本遺跡は市内の北西部、現在の海岸線からは約２㎞内陸側に位置しており、周辺は海岸線に沿って南北に延びる内灘砂丘の後背湿地を形成している。また、南側を西流する犀川からの分流が本地域を北流し、北側を西流する大野川へと流れ込むことから、ますます湿潤な環境を形成している。

## 第２節　歴史的環境

畝田・寺中遺跡の周辺に分布する遺跡を時代毎に概観すると、まず縄文時代には後期中葉と晩期後葉の松村Ａ遺跡(59)や晩期の土器・石器が出土する本遺跡(１)があり、近岡遺跡(46)では昭和45年の調査で花粉分析から縄文晩期の農耕について話題になった。

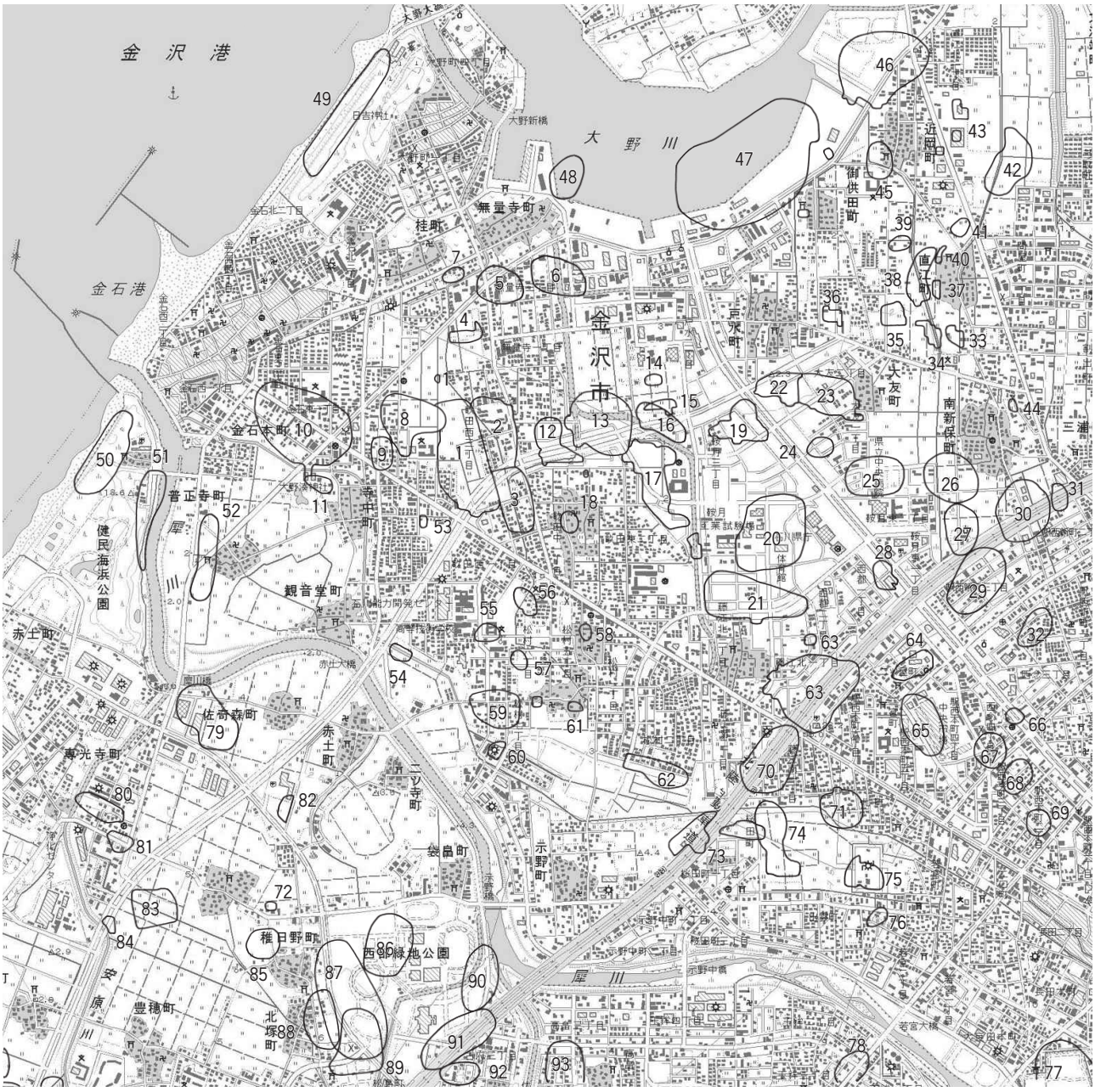
弥生時代は畝田Ｃ遺跡(13)などで遠賀川式土器が出土しており、前期の遺跡も増えてきたが、中期以降増加する傾向にあり、西念・南新保遺跡(29)のような後期へ繋がる拠点的集落も出現する。戸水Ｂ遺跡(20)、戸水Ｃ遺跡(47)、藤江Ｃ遺跡(21)などで前期からの遺物が確認されており、本遺跡においては中期から遺物が確認されている。後期・終末期になると遺跡数は更に増加するが、大方は中期後半から継続して営まれている遺跡である。

古墳時代は弥生終末期の遺跡が継続されることが多いが、中・後期になると激減し、本遺跡の他、周辺では藤江Ｂ遺跡(63)で確認できる。当該期の須恵器を多く確認している本遺跡や藤江Ｃ遺跡などが中・後期の拠点的集落になる可能性があり、本遺跡に関しては弥生時代終末から７世紀代まで継続して確認できる稀有な事例である。

奈良・平安時代は再び遺跡が広く分布し、犀川や大野川河口周辺に津湊関連遺跡や官衙・荘園関連遺跡が出現する。本遺跡においても、８世紀前半から中頃の大規模集落が確認され、遺構の規模や「津司」墨書土器から金石本町遺跡(10)と一連の港湾関連遺跡と考えられている。また、石川県調査区から遣渤海使が帰国した「天平二年(730年)」の記年銘墨書土器が出土しており、その際の饗応に使用された可能性が指摘されている。また、近隣の畝田ナベタ遺跡(17)からは大陸産とされる青銅金箔張の帯金具(巡方)が出土しており、具体的な大陸との交流を物語る遺跡群といえる。

鎌倉・室町時代は、本遺跡も含めて当該期の遺跡が広く分布している。本遺跡では、堀で囲繞された方二町×一町半程度の空間が検出されている。南新保北遺跡(44)では銭の出納に関わる付札木簡が出土している。戸水Ｃ遺跡は古代以来の津湊関連遺跡と評価されている。

本遺跡は、大野荘湊を含む大野荘内(一時期は富永御厨内か)に所在する。畝田地名の初見は日本霊異記「大野郷畝田村」であり(金沢市1998)、平安時代にはその名が認められる。中世には「宇禰田村」、「宇根田村」、「宇祢田村」、「うね田村」などとみえる。




| | | |
|---|---|---|
| 1 | 畝田・寺中遺跡 | (弥生～中世) |
| 2 | 畝田遺跡 | (縄文～平安) |
| 3 | 畝田大徳川遺跡 | (縄文～室町) |
| 4 | 桂町南遺跡 | (弥生～中世) |
| 5 | 無量寺Ｂ遺跡 | (古墳) |
| 6 | 無量寺遺跡 | (古墳・中世) |
| 7 | 桂遺跡 | (弥生・古墳・中世) |
| 8 | 寺中Ｂ遺跡 | (縄文～平安) |
| 9 | 寺中遺跡 | (弥生) |
| 10 | 金石本町遺跡 | (弥生～平安) |
| 11 | 寺中御台場跡 | (江戸) |
| 12 | 畝田Ｂ遺跡 | (弥生～平安) |
| 13 | 畝田Ｃ遺跡 | (縄文～平安) |
| 14 | 無量寺Ｄ遺跡 | (弥生～平安) |
| 15 | 無量寺Ｃ遺跡 | (奈良・平安) |
| 16 | 畝田・無量寺遺跡 | (弥生・奈良・平安) |
| 17 | 畝田ナベタ遺跡 | (奈良・平安) |
| 18 | 御館前遺跡 | (不明) |
| 19 | 戸水Ｄ遺跡 | (奈良・平安) |
| 20 | 戸水Ｂ遺跡 | (弥生・平安) |
| 21 | 藤江Ｃ遺跡 | (弥生～室町) |
| 22 | 戸水オモテ遺跡 | (奈良・平安) |
| 23 | 大友Ｃ遺跡 | (不詳) |
| 24 | 大友Ｂ遺跡 | (不詳) |
| 25 | 南新保Ｅ遺跡 | (弥生～鎌倉) |
| 26 | 南新保Ｃ遺跡 | (古墳前期) |
| 27 | 南新保三枚田遺跡 | (弥生～平安) |
| 28 | 二ツ屋町遺跡 | (弥生・平安) |
| 29 | 西念・南新保遺跡 | (弥生～平安) |
| 30 | 南新保Ｄ遺跡 | (弥生～平安) |
| 31 | 南新保Ｂ遺跡 | (弥生) |
| 32 | 西念東遺跡 | (弥生) |
| 33 | 直江ボンノシロ遺跡 | (縄文～室町) |
| 34 | 大友Ｆ遺跡 | (弥生～平安) |
| 35 | 大友Ａ遺跡 | (奈良・平安) |
| 36 | 大友Ｄ遺跡 | (弥生・平安) |
| 37 | 直江ニシヤ遺跡 | (古墳～室町) |
| 38 | 大友Ｅ遺跡 | (古墳～平安) |
| 39 | 近岡カンタンボ遺跡 | (弥生～奈良) |
| 40 | 直江西遺跡 | (弥生～古墳) |
| 41 | 直江中遺跡 | (縄文～室町) |
| 42 | 直江北遺跡 | (縄文～室町) |
| 43 | 近岡テラダ遺跡 | (弥生・平安～室町) |
| 44 | 南新保北遺跡 | (古墳～中世) |
| 45 | 近岡ナカシマ遺跡 | (弥生・奈良・平安) |
| 46 | 近岡遺跡 | (縄文～室町) |
| 47 | 戸水Ｃ遺跡 | (縄文～中世) |
| 48 | 無量寺金沢港遺跡 | (縄文～古墳) |
| 49 | 金石北遺跡 | (不詳) |
| 50 | 普正寺番屋砂丘遺跡 | (縄文・奈良・平安) |
| 51 | 普正寺遺跡 | (鎌倉・室町) |
| 52 | 普正寺高畠遺跡 | (古墳・鎌倉) |
| 53 | 寺中町南遺跡 | (古墳) |
| 54 | 観音堂Ｂ遺跡 | (弥生～室町) |
| 55 | 観音堂遺跡 | (弥生) |
| 56 | 松村西の城遺跡 | (古墳・平安) |
| 57 | 松村平田遺跡 | (弥生中期) |
| 58 | 松村寺の前遺跡 | (室町) |
| 59 | 松村Ａ遺跡 | (縄文・古墳・鎌倉・室町) |
| 60 | 松村どのまえ遺跡 | (弥生中期) |
| 61 | 松村Ｂ遺跡 | (縄文・弥生・江戸) |
| 62 | 松村高見遺跡 | (弥生中後期) |
| 63 | 藤江Ｂ遺跡 | (弥生～平安) |
| 64 | 二口六丁Ｂ遺跡 | (弥生・古墳) |
| 65 | 二口六丁Ａ遺跡 | (弥生・古墳) |
| 66 | 西念ネジタ遺跡 | (弥生・古墳) |
| 67 | 西念クボ遺跡 | (縄文・古墳) |
| 68 | 二口シミズ遺跡 | (弥生・古墳) |
| 69 | 二口町遺跡 | (弥生・古墳) |
| 70 | 藤江Ａ遺跡 | (奈良・平安) |
| 71 | 北町遺跡 | (縄文) |
| 72 | 御館前遺跡 | (不詳) |
| 73 | 桜田・示野中遺跡 | (弥生・平安) |
| 74 | 出雲じいさまだ遺跡 | (古墳～室町) |
| 75 | 薬師堂遺跡 | |
| 76 | 若宮遺跡 | (室町) |
| 77 | 犀川鉄橋遺跡 | (縄文～古墳) |
| 78 | 玉鉾Ｂ遺跡 | (奈良・平安) |
| 79 | 佐奇森遺跡 | (弥生・平安～江戸) |
| 80 | 専光寺染色団地遺跡 | (古墳) |
| 81 | 専光寺養魚場遺跡 | (古墳～平安) |
| 82 | 赤土遺跡 | (弥生) |
| 83 | 吉藤専光寺跡 | (室町) |
| 84 | 豊穂遺跡 | (奈良～室町) |
| 85 | 稚日野遺跡 | (縄文・古墳) |
| 86 | 袋畠・北塚Ｃ遺跡 | (古墳～平安) |
| 87 | 北塚Ｂ遺跡 | (平安) |
| 88 | 北塚Ａ遺跡 | (縄文・弥生・平安～室町) |
| 89 | 北塚古墳群 | (古墳) |
| 90 | 古府カタガリ遺跡 | (弥生・平安) |
| 91 | 古府クルビ遺跡 | (弥生～平安) |
| 92 | 古府Ｂ遺跡 | (不明) |
| 93 | 高畠遺跡 | (弥生・古墳) |

**第３図　遺跡の位置と周辺の遺跡分布図　〔S＝１/30,000〕**

# 第３章　検出遺構

## 第１節　概要

本遺跡では、掘立柱建物、竪穴系建物、布柱建物、柵列、井戸、土坑、区画溝、川跡などを検出しているが、本書で対象としている主幹線２区(以下、調査区)では掘立柱建物、井戸、土坑、溝、川を検出しており、主に古墳時代、奈良時代、平安時代、鎌倉時代のものがみつかっている。

遺構平面図については、『木曳野遺跡群Ⅰ』で各図を掲載したために本書では未掲載だが、第５図に今回報告対象となる調査区とその南北に接する同１区および３区の遺構全体図と各遺構名を示した。また、第２図に木曳野遺跡群の全体図と建物や井戸、溝など主な遺構名を示したものを掲載した。『木曳野遺跡群Ⅱ』～『木曳野遺跡群Ⅶ』については、報告対象とする個別遺構が遺跡の中でどこに位置するかが図示されていないので、本図を参照いただきたい。

## 第２節　掘立柱建物・ピット

**SB508(第４図)**　調査区の中央、SD244の東岸、SD222の西岸に所在する桁行３間×梁行２間の側柱建物である。南東側の梁行１間分は他遺構との重複による未検出柱穴や柱並びが若干ずれていることから当該建物柱列には該当しない可能性がある。桁行柱間距離は約1.5～1.7m、梁行柱間距離は約1.3～1.4m である。主軸方位はＮ－51°－Ｗである。古墳時代前・中期の土器片が出土している。

**SB701(第５図)**　報告書の図面作成後に把握したために、個別図は掲載していない。調査区の北半、SD240と SD244の合流点西岸に所在する桁行３間×梁行２間の側柱建物である。東側と西側に各１間分が延びる可能性があるが、他遺構との重複などによって詳細不明である。桁行柱間距離は北側の２間分が約2.7m、南側は約2.3m、梁行柱間距離は約2.4～2.6m である。主軸方位はＮ－７°－Ｗである。Ｐ１とＰ３が柱穴に該当し、古墳時代前期頃の土器片が出土している。

## 第３節　井戸・土坑

**SE251(第５図)**　調査区の北半西側に所在する素掘りの井戸状遺構である。掘方は楕円形状を呈し、長径約1.3m、短径約１m、深さ約1.4m で、14世紀頃の土師器皿などが出土している。

**SE252(第５図)**　調査区の北西端に所在する素掘りの井戸状遺構である。形状は不明だが、検出した掘方の最大長は約1.4m、深さ約0.64m で、最新の遺物は13世紀頃の珠洲焼が出土している。

**SK208(第４図)**　調査区中央西寄り、SB508と重複して検出した不整形土坑である。建物との前後関係は不明である。８世紀代の須恵器などが出土している。

**SK209(第４図)**　調査区中央、SD222と SB508の間に所在する不整形土坑である。SB508と重複する土坑も SK209とされているが、調査時の混乱によるものであり、両土坑共に SK209である。

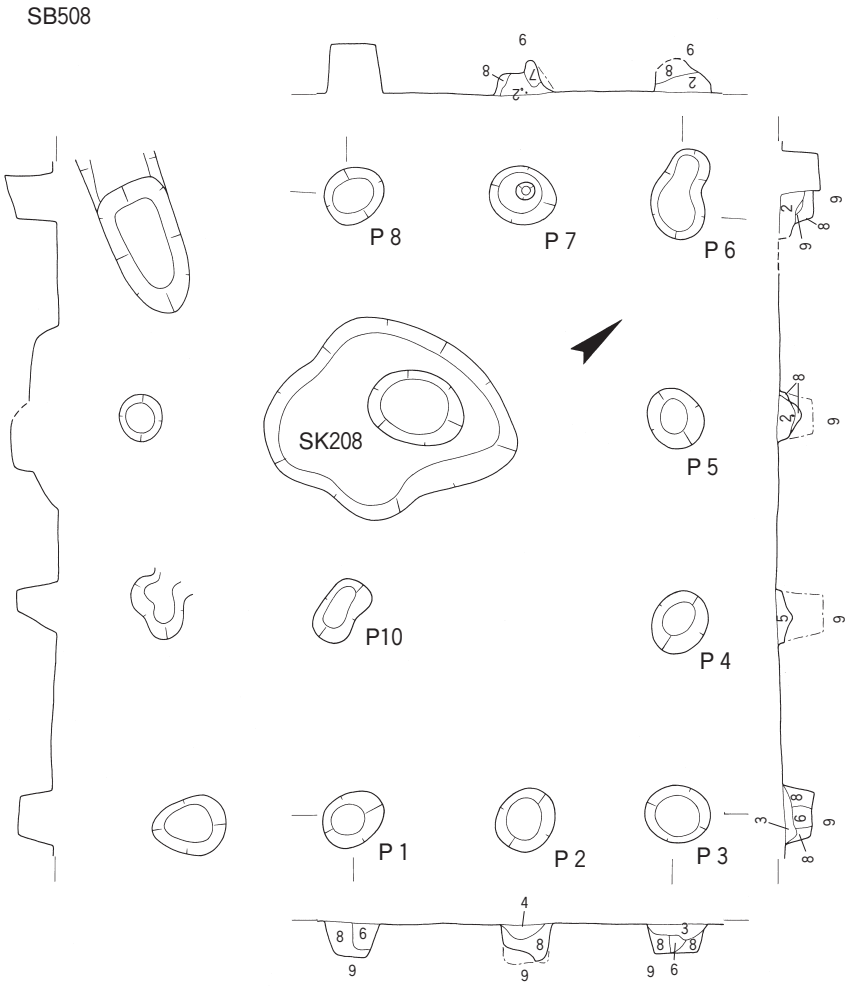
**SK279(第４図)**　調査区南半に所在する土坑で、調査区壁と SD259により、形状は不明である。

## 第４節　溝・川

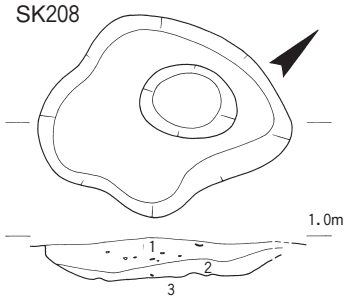
**SD240・244(第５図)**　調査区北半の大規模河川である。SD244、主幹線１区 SD303、同３区 SD201と同じ川と考えられる。詳細は既刊書(木曳野遺跡群Ⅴ・Ⅵ)に詳しい。

**SD222(第４図)**　県調査区と併せると南北220m、東西170m、方二町×一町半程の空間を囲繞する箱堀であり、12～14世紀代の遺物が出土している。詳細は既刊書(木曳野遺跡群Ⅴ・Ⅵ)に詳しい。

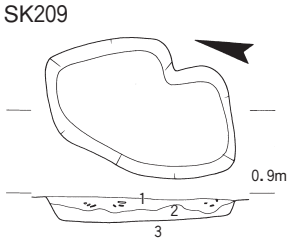
**SD259(第４図)**　SD222と重複するＬ字に折れる溝である。



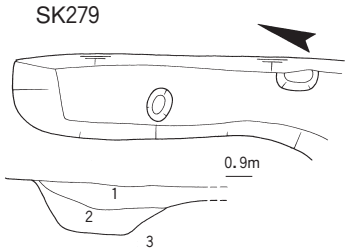

SB508
1．暗灰色粘質土
2．暗灰色粘質土（有機物混）
3．暗灰褐色粘質土（有機物混）
4．暗褐色粘質土
5．暗黒褐色粘質土（有機物混）
6．暗黒灰色粘質土（柱痕か）
7．暗黒褐色粘質土（柱痕か）
8．暗灰褐色粘質土
9．地山



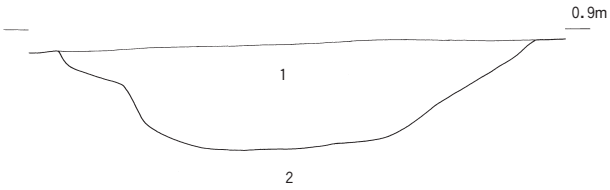

SK208
1．暗黒色粘質土
2．明茶褐色粘質土（地山ブロック混）
3．地山



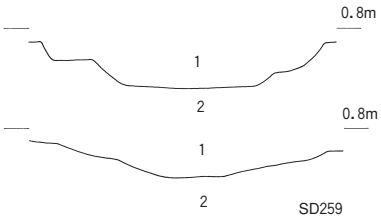

SK209
1．暗黒褐色粘質土
2．暗黒褐色粘質土（地山ブロック混）
3．地山




SK279
1．暗褐色粘質土
2．暗黒褐色粘質土
3．地山



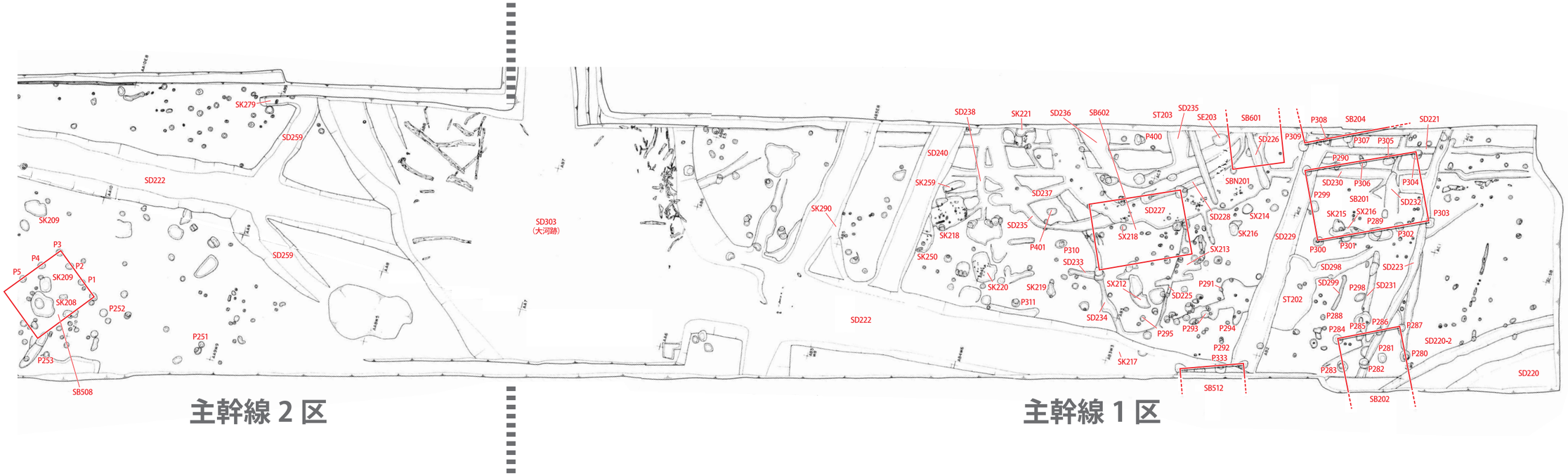

SD222
1．暗灰褐色粘質土
2．明茶褐色粘質土　地山

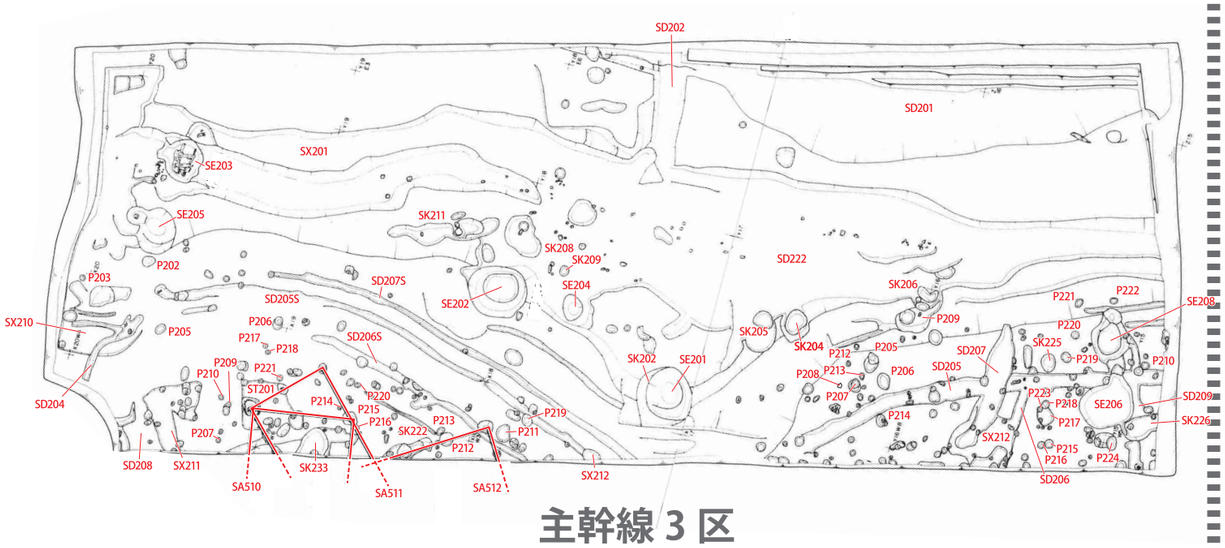


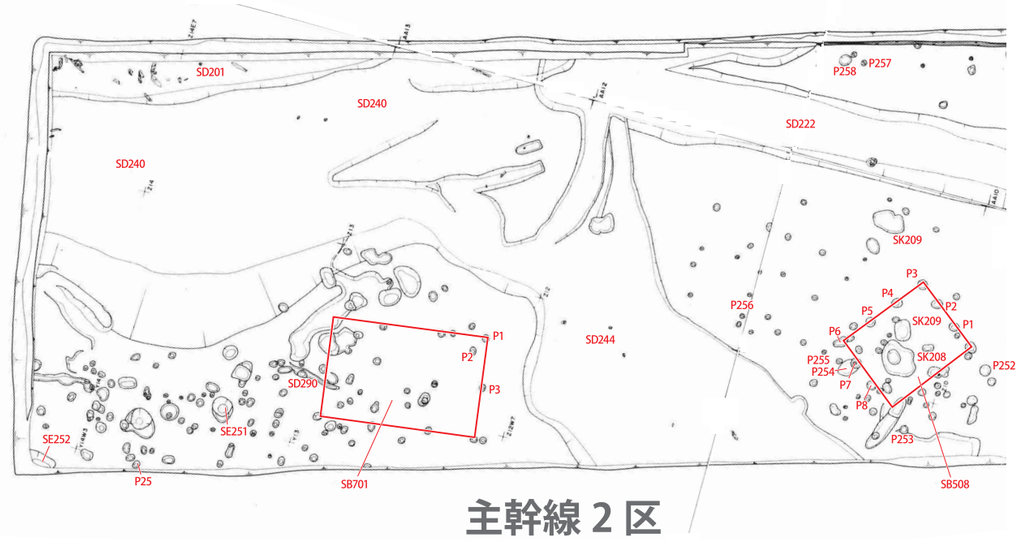

SD259
1．暗灰色粘質土
2．地山

0　3m

第４図　SB508、SK208、209、279、SD222、259〔S＝１/60〕




1:300

0　10　20m

第５図　遺構全体図（主幹線１～３区）〔S＝１/300〕

# 第４章　土器・陶磁器

## 第１節　概要

本書で報告する出土遺物の大半は古墳時代と奈良時代から平安時代初頭のものであり、川跡から出土している。第２節から遺構毎に報告するが、紙幅の都合により、その遺構の年代を示すものや特殊なものなどを主に取り上げる。個々の遺物の法量や調整等は第２表を参照願いたい。第２表遺構欄の「●区」は「主幹線●区」を示している。また文中の分類や年代観については、参考文献に記した各論考を参照願いたい。

## 第２節　掘立柱建物・ピット

**SB508（第６図）**　Ｐ４から１の古墳時代の須恵器坏身が出土している。和泉陶邑窯編年（田辺1981、以下古墳とする）TK208～同47型式が想定される。

**ピット（第６図）**　本調査区内においてピットから出土した遺物について、比較的残り具合の良いものを掲載したが、Ｐ４～24の位置情報が遺構図からは欠落している。調査時の図面を全て見返したが該当する記述はなく、結果として不備なものとなってしまった。お詫び申し上げたい。

２～８が出土している。４・５と７・８は同一ピットからの出土である。２～５は奈良時代の須恵器で、田嶋編年（田嶋1988、以下古代とする）Ⅲ～Ⅳ１期の有台坏と無台坏である。

８は口縁端部が肥厚するいわゆる布留甕であり、６も若干肥厚が見られる。古墳時代前期のものである。

## 第３節　井戸・土坑

**SK208（第６図）**　９～17が出土している。９・10は古代Ⅳ期頃、11・13はⅢ期、12はⅢ～Ⅳ１期、14はⅤ期頃が想定される。15・16は古墳時代の土器で混入と考えられ、17は須恵器同様に奈良時代から平安時代初頭のものであろう。

**SE251（第６図）**　18のてづくね土師器小皿が出土している。13世紀後半から14世紀頃のものであろう。

**SE252（第６図）**　19・20が出土している。20は珠洲焼甕で、口縁部形態から珠洲焼編年（吉岡1994）Ⅱ期の製品で13世紀前半頃の年代が考えられる。

## 第４節　溝・川

**SD222（第７図）**　21～30が出土している。SD222の時期を示すものは27のてづくね土師器皿で、磨滅によりヨコナデの痕跡は見えにくいが、僅かに残る稜からナデ幅は狭いことがわかる。口縁部の残り具合が悪く、図ほど口径は大きくならないと考えられ、13世紀代の年代が考えられる。

21、23、25、26、28は古墳時代の製品であり、21は古墳MT15型式前後が想定される。25は胴部中位に櫛描き列点文を施す瓶、28は鍋・甑などの把手である。

22・24は奈良時代後半から平安時代初頭頃の須恵器蓋と無台坏で古代Ⅳ期頃が想定される。29・30は底部糸切りの赤彩土師器碗である。

**SD222・303（第７図）**　31～38が出土している。32～35は古代Ⅲ～Ⅳ期が想定される蓋と有台坏で、35は口縁部に打ち欠きがみられるため図化している。意図的な打ち欠きが想定される場合は、本図のような表現をしている。37は内外面ミガキ調整の後、赤彩を施した土師器碗である。須恵器と同様の時

期が想定される。

**SD303（第８図）** 39～52が出土している。39～46は須恵器蓋で、古代Ⅳ期が想定される。43は打ち欠きの表現がなされているが、意識的な打ち欠きであるか定かではない。47～52は須恵器有台坏等で、蓋同様に古代Ⅳ期が想定されるが、48は稜碗等の特殊器種もしくは底部からの立ち上がりが緩やかな古代Ⅱ期頃の有台坏の可能性が考えられる。52は打ち欠き部に灯明痕が見られるが、打ち欠いて使用したものか、廃棄後に被熱したものかは不明である。

**SD240（第８～20図）** 53～290が出土している。弥生時代から室町時代の遺物が出土しているが、本流は古墳時代から平安時代に機能していたと考えられ、平安時代末頃から鎌倉時代初頭の遺物群は本流を切って流れる別の流路（明確なプランは検出できていないが、３区 SD222に繋がると想定される）に由来し、その他の遺物は周辺からの混入と考えられる。

53～73は54を除いて古墳時代の壺、甕である。57は口縁部に穿孔が１ヶ所見られるが、口縁部残存率が３/12であるため、複数ヶ所の穿孔を伴う可能性がある。65は胴部が長胴形を呈す甕で、外面全体と口縁部内面に煤が付着している。70・71は小型甕であり、71は胴部に焼成後穿孔を有するが、破損のために形状は不明である。73は外面全体に煤、内面下半にコゲ・ヨゴレが付着している。74～76、78は甑と考えている。78は外面に煤、内面のほぼ全体にヨゴレが付着している。77は鍋であろうか。79～82は甑や鍋の把手と考えている。83は古墳時代の小型甕か、弥生時代の甕の底部であろう。84～117は古墳時代中・後期の土師器・須恵器である。84～93は土師器碗であり、87～92は内面黒色処理を施している。また、底部が見つかっていないものは94・95のような台が付く可能性がある。90は口縁部に焼成後穿孔が１ヶ所見られるが、破損により孔の全形は不明である。93は口縁部の残存率が１/12以下であり、口径の復元径に不安が残る。碗としたが、外面に煤、内面には煤もしくはヨゴレが付着しており、煮炊きなどに用いた可能性がある。97～106は坏蓋である。97は古墳 TK23～47、98～102は MT15～TK10、103～106は TK43～209型式が想定される。107～113は坏身である。107は古墳 MT15、108～111は TK47～MT15、112・113は TK43型式が想定される。114は無蓋高坏の坏部で、底部近くに櫛描き列点文を廻らす。116・117は比較的大型の甕である。

119～276は奈良時代から平安時代の製品である。119～134は須恵器蓋で、概ね古代Ⅳ期の製品が多く、Ⅲ期の製品も見られる。産地は高松窯産が多く、末窯産も一定量見られる。これは次に述べる有台坏、無台坏でも同様である。134は輪状の摘みをもつ金沢末窯産と考えられる蓋で、古代Ⅳ２新期に想定される末２号窯尾根部出土品に類例がある。121は「－」、123は「＝」、124は「×」の線刻が内面に見える。135は底部糸切りの須恵器有台碗である。平安時代後期の製品であろうか。136～178は須恵器有台坏である。136～141は古代Ⅱ期頃が想定される。ただし138は口縁端部形態からⅣ期まで下る可能性がある。141は外底面に「＝」状の線刻が見えるが、意図的なものかは不明である。142～178は古代Ⅳ期頃が想定される。144は「＝」、147・163・171・175は「－」、152は輪花状の線刻が外底面に見られるが、164の外底面に見える「＝」状の線刻は意図的なものかは不明である。150は口縁に「＝」状の線刻が見える。167は内外面全体に灯明痕が見える。169の図で表現している小さな打ち欠き痕は意図的なものかは不明である。179～238は須恵器無台坏である。古代Ⅱ～Ⅴ期の製品があり、Ⅲ～Ⅳ期が定量を占める。192は「＋」状、220・221は「＋」、223は「－」状、224・225・229は「－」の線刻が外底面に見える。218・219・224・226に灯明痕が認められ、218・224は口縁端部に帯状に灯明痕が付着しているのに対して、219は口縁端部の小さな割れ目にのみ付着している。228・229は漆膜が付着している。229は現状で部分的な付着に留まるが、口縁部内面の底部境から１/３程上方にかけてヨゴレが見られることから、当初はこのヨゴレの高さまで漆溶液が入れられていたものと推

測できる。239～243は須恵器無台盤であり、末窯産古代Ⅳ～Ⅴ期のものである。244～246は内外面赤彩を施す土師器碗である。244は丁寧にミガキ調整を施した精美なものである。247・248はそれぞれ柱状高台状、柱状高台の土師器碗と考えられ、249～251は内面黒色処理を施した土師器有台碗である。平安時代後半の製品であろう。252～262は煮炊具である土師器甕・鍋である。252は内面下半にヨゴレが付着している。253は外面底部付近に煤が、内底部にはコゲ、内面全体にヨゴレが付着している。254は外面と口縁端部内面に煤が付着している。255は内底面にコゲが付着している。262は外面に煤が、内面には部分的にヨゴレが付着している。263は須恵器高坏脚部で、裾端部の破断箇所は打ち欠きによって整形している。264は須恵器鉄鉢である。265～276は貯蔵具である須恵器壺・瓶・甕である。265は長頸瓶の口縁部から肩部であるが、頸部の接合痕はロクロによる胴部成形時に頸部の穴に該当する箇所を別の粘土で塞いだ上で胴部の形を整え、口縁部分を取り付ける際に塞いだ粘土部分を穿孔したことを示す痕跡である。

277はてづくね土師器小皿に手捏の台を付けて、高坏形態に仕上げたものである。小皿の形態から13世紀代のものと考えられる。278～280はてづくね土師器皿で、12世紀後葉から13世紀代のものであろう。281～283は大宰府分類(太宰府市教育委員会2000)青磁碗のⅠ類である。284は同分類白磁皿Ⅵ１ｂ類であろうか。285は古瀬戸瓶類の口縁部であり、中期の製品であろうか。286～290は珠洲焼で珠洲焼編年Ⅰ・Ⅱ期が想定される。

**SD244(第21～28図)**　291～438の弥生時代から平安時代初頭頃の遺物が出土している。293を除く291～338は古墳時代の壺・甕である。291は壺の口縁部から頸部付近で、頸部付近の破断箇所は全周打ち欠いて整った円形に整形している。302は口縁部外面の強い指頭圧痕により、厚みの凹凸が大きくなっている。303～305は山陰系の甕である。320～323は布留甕である。324は小型の甕で、外面には全体的に強く煤が付着しており、内面底部付近はコゲが、胴部中位から上位にかけてはヨゴレが付着している。325は球形の体部をもつ甕で、外面には全体的に煤が強く付着しており、内面底部付近にはコゲが、胴部中位から口縁部にかけてはヨゴレが付着している。330は長胴気味の胴部をもつ甕で、外面全体に煤が付着しているが、口縁部から頸部にかけてはより強く付着している。内面には薄くヨゴレが付着する程度である。332は中型の甕で、外面全体に強く煤が付着し、内面は底部付近にヨゴレが付着している。335は長胴気味の胴部を持つ甕で、外面には強く煤が付着し、内面の口縁部から頸部と胴部下半にはヨゴレが、胴部上位中位境にはパッチ状のコゲが付着している。339は広口であり、甑と想定している。349～354は移動式竈の部位と考えられ、全体的にハケ目調整を施している。349は竈の掛け口と考えられる。350は焚口上部の庇部分と考えられ、内面には煤が付着している。351は正面から見て焚口右側の部位と考えられる。352～354は接地部が残っており、353は正面から見て左側の庇接地部付近と考えられる。355・356は鉢で、355は底部に穿孔が見られる。357～361は小型丸底壺で、357は手捏形の小型壺である。362は内外面赤彩する小型の鉢である。367～372は高坏であり、367を除いて古墳時代のものである。371は柱状の脚部をもつもので、脚部外面と坏部内面を赤彩するが、坏部外面については破損のため不明である。373～395は古墳時代中・後期の土師器碗であり、383～395内面黒色処理を施しており、383～386は台付碗である。386は碗部見込みに十字の線刻が見える。396～409は古墳時代中・後期の須恵器坏蓋である。396・398・399は古墳 TK47、397は TK23～47、400～402は MT15、403～406は TK10、407・408は TK43、409は TK43～209型式が概ね想定される。410～424は上記の蓋に対応する坏身である。410・412は古墳 TK23～47、411・414・416は TK47、413・415・417・418は TK10、419～422は TK43型式が想定される。425～428は古墳時代中・後期の高坏である。425は台形、426は三角形、427は小さな方形の透かしが脚部に見られる。429は非常

に緻密な胎土の瑳と考えられるものであり、底部にはタタキ目が見える。

430～437は奈良時代から平安時代初頭頃の製品である。430は須恵器蓋で、古代Ⅲ～Ⅳ１期頃が想定される。431・432は須恵器有台坏で、431はⅡ～Ⅲ期、432はⅣ１期が想定される。431の内底面には墨痕が広く認められるため、転用硯の可能性がる。432は内底面に漆膜が付着している。433～435は須恵器無台坏で、古代Ⅳ期が想定される。434は内底面に漆塗膜が付着しており、432と共に漆容器として使用されていたものであろう。436・437は内外面赤彩を施す土師器碗であり、436は内外面にミガキ調整を丁寧に施している。437は内底面にミガキ調整と連弧状の暗文を施しており丁寧な造りである。また、破断箇所を打ち欠いて研磨しているような痕跡があり、円盤状に加工している可能性がある。

438は口縁部に強い１段ナデを施し、内面はミガキ調整を施す器台状の土師器である。底部穿孔径は９～10㎜で、胎土は比較的精良だが、やや大きめの砂粒と若干の小礫が混ざる。外底部には接着面で径３㎝程の脚部がついていたことが破断痕跡から推定できる。形態的には鎌倉時代頃の土師器小皿に類似するが、器壁の厚さや胎土、内面の調整が異なっており、古墳時代の器台の可能性を考えておきたい。

**SD240・244（第29図）**　SD240と244の合流点付近で出土した遺物で、439～444が出土している。439～444は古墳時代中・後期の須恵器坏蓋および坏身である。439・440・444は古墳 TK10、441～443は TK43型式が想定される。

## 第５節　遺構外

**遺構外（第29図）**　445～453が出土している。445は古墳時代後期の須恵器坏身で古墳 MT15型式が想定される。

446～449は平安時代初頭前後の須恵器有台坏と無台坏であり、古代Ⅳ期が想定される。448と449の外底面には袋文字「人」の墨書が見られる。450・451は龍泉窯系青磁碗であり、450は大宰府分類Ⅱb類である。452・453は奈良・平安時代の須恵器貯蔵具である壺と甕である。

【参考文献】

折戸靖幸・川畑誠　1994「高松・押水窯跡群における８世紀中葉の画期」『北陸古代土器研究』第４号

田嶋明人　1988「古代土器編年軸の設定」『北陸古代土器研究の現状と課題』北陸古代土器研究会

田辺昭三　1981『須恵器大成』

藤澤良祐　2008『中世瀬戸窯の研究』高志書院

望月精司　1994「南加賀古窯跡群における８世紀中葉の画期」『北陸古代土器研究』第４号

吉岡康暢　1994『中世須恵器の研究』吉川弘文館

石川県立埋蔵文化財センター　1994『正友ヤチヤマ窯跡』

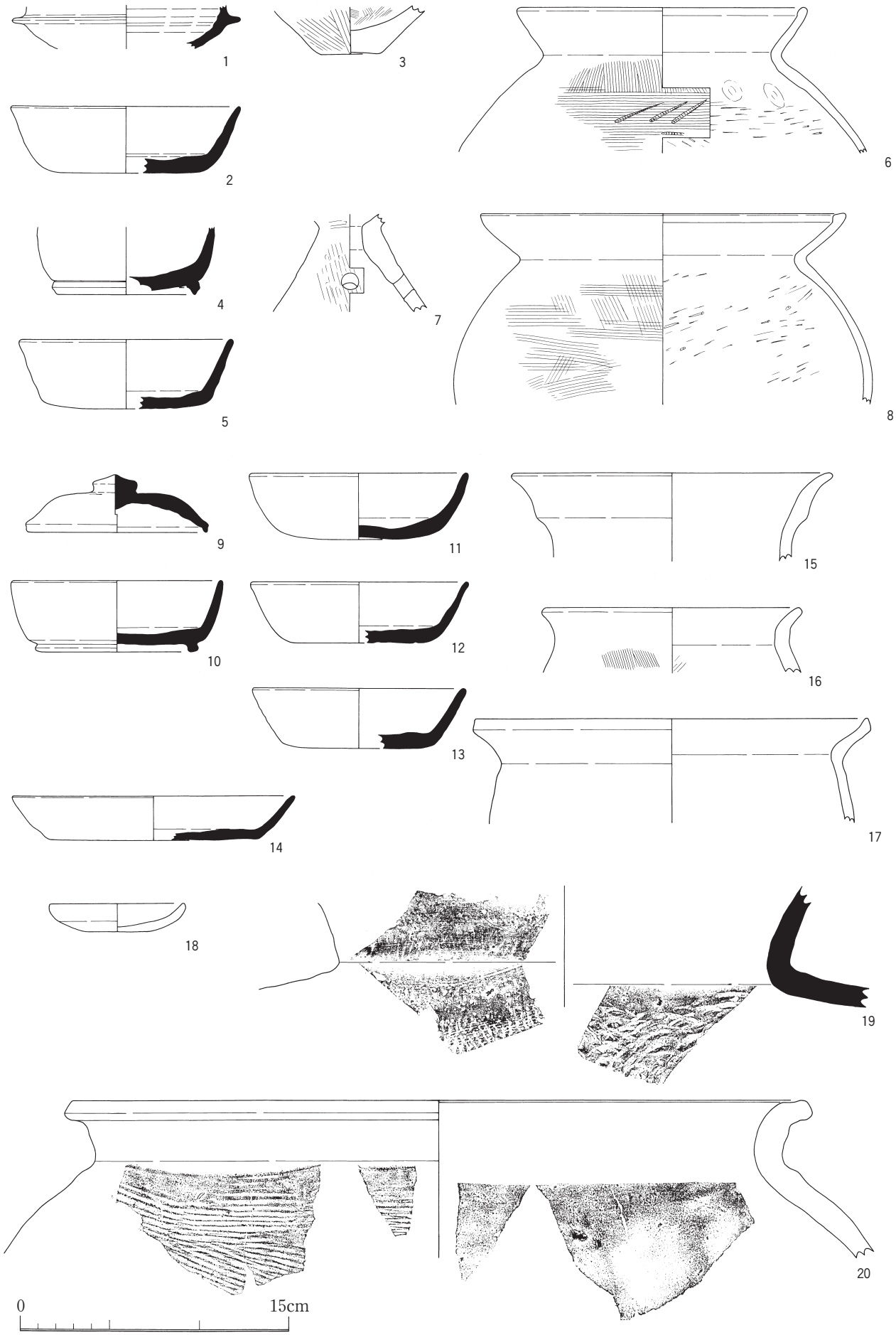
石川県教育委員会　2006『金沢市畝田西遺跡群Ⅳ』

石川県教育委員会　2006『金沢市畝田西遺跡群Ⅴ』

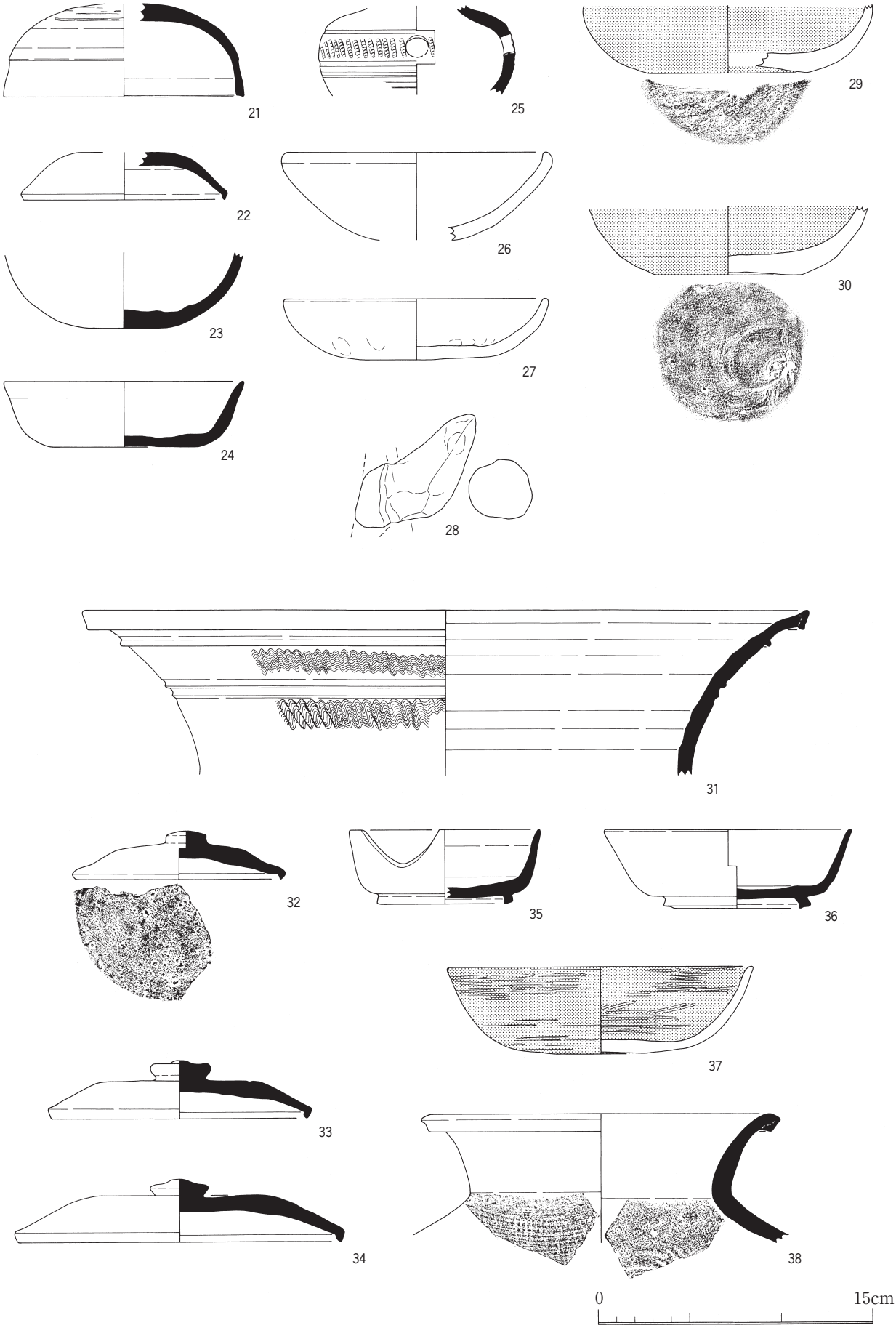
金沢市教育委員会　1989『金沢市末古窯跡群』

小松市教育委員会　1990『二ツ梨東山古窯跡・矢田野向山古窯跡』

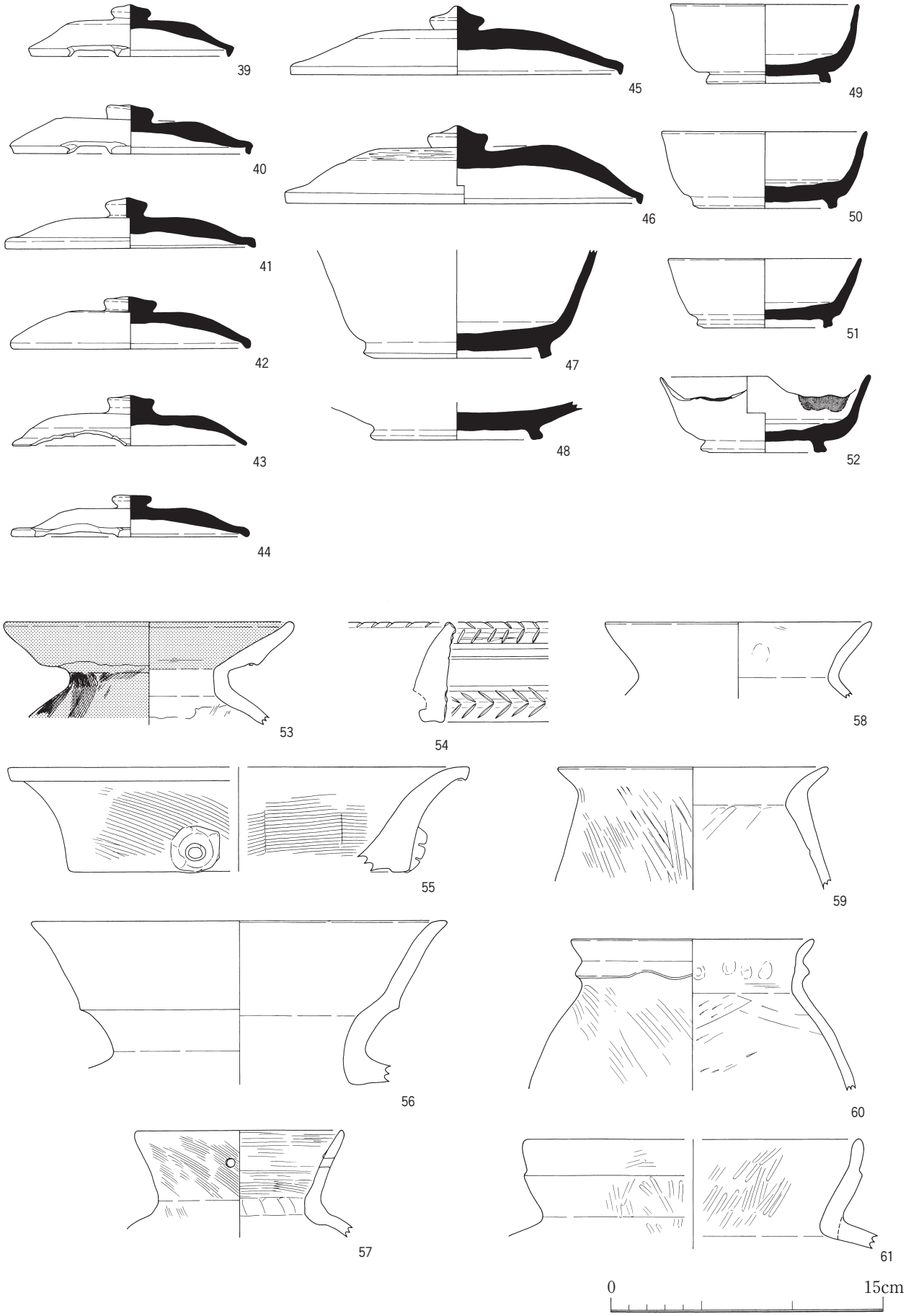
太宰府市教育委員会　2000『大宰府条坊跡ＸＶ－陶磁器分類編－』



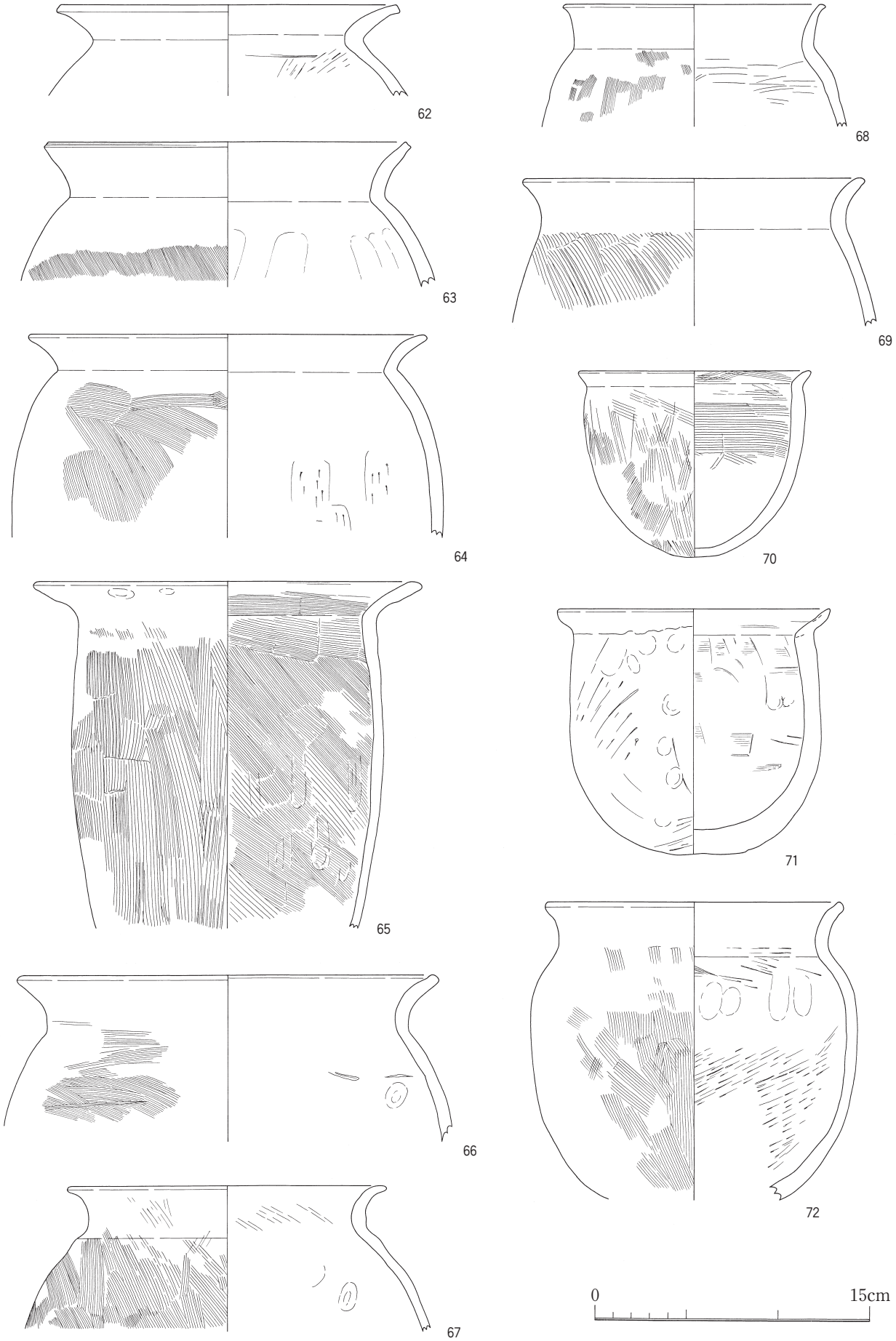

第６図　SB508（１）・ピット（２～８）・SK203（９）・SK208（10～17）・SE251（18）・SE252（19・20）
出土土器・陶磁器〔S＝１／３〕



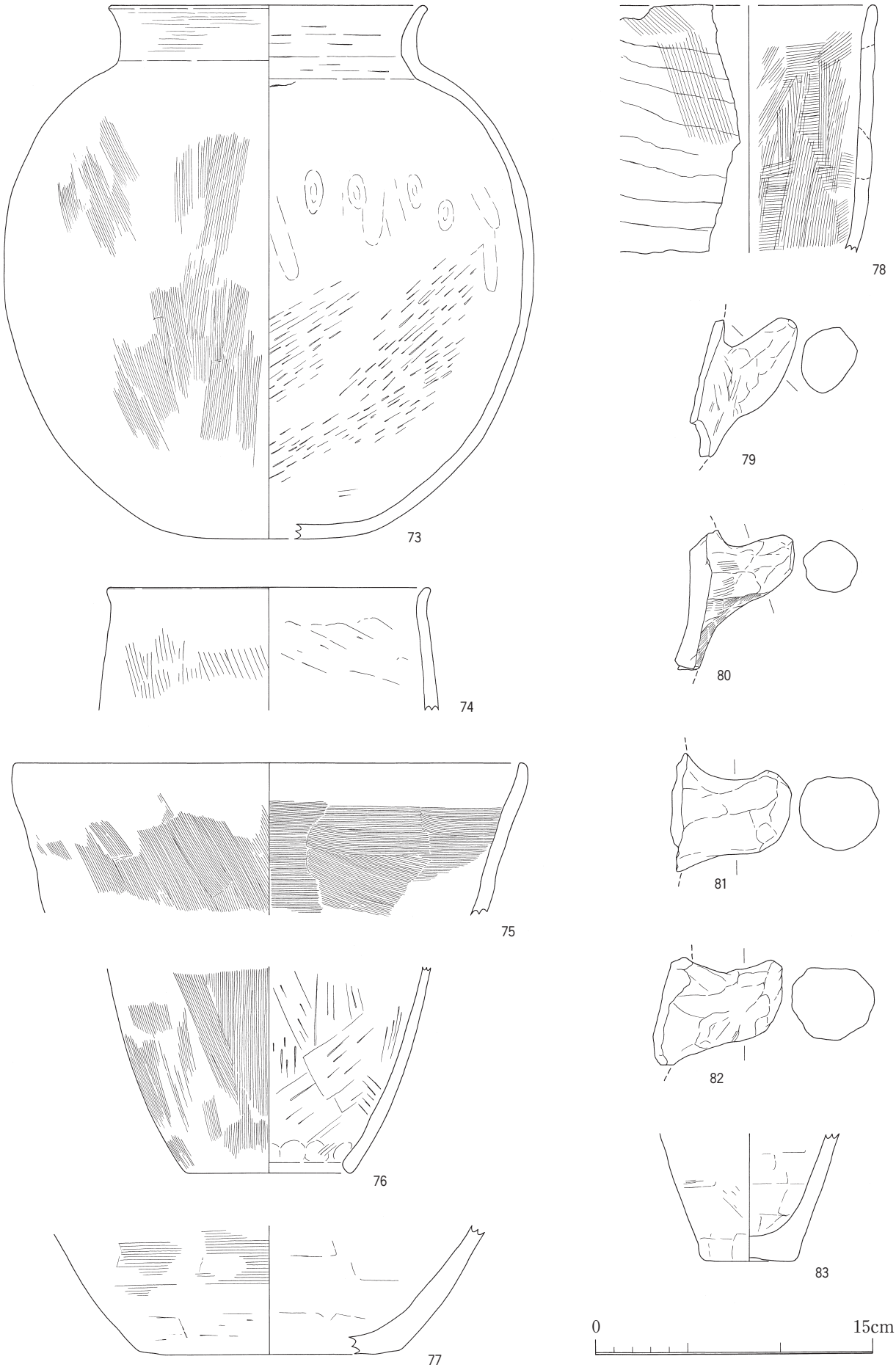

第７図　SD222（21～30）、SD222・SD303（31～38）出土土器・陶磁器〔S＝１／３〕



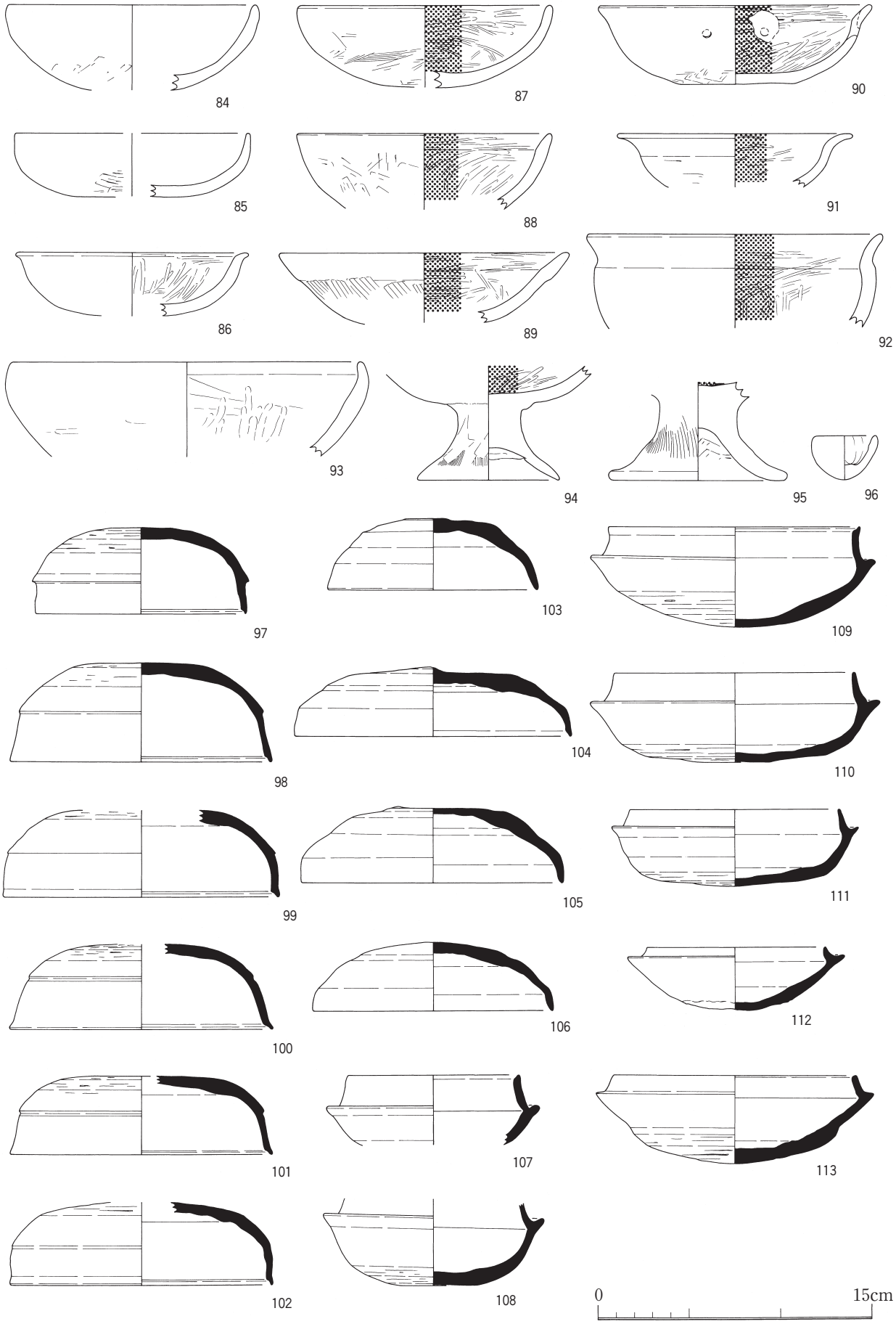

第８図　SD303（39～52）出土土器・陶磁器・SD240（53～61）出土土器・陶磁器（１）〔S＝１／３〕



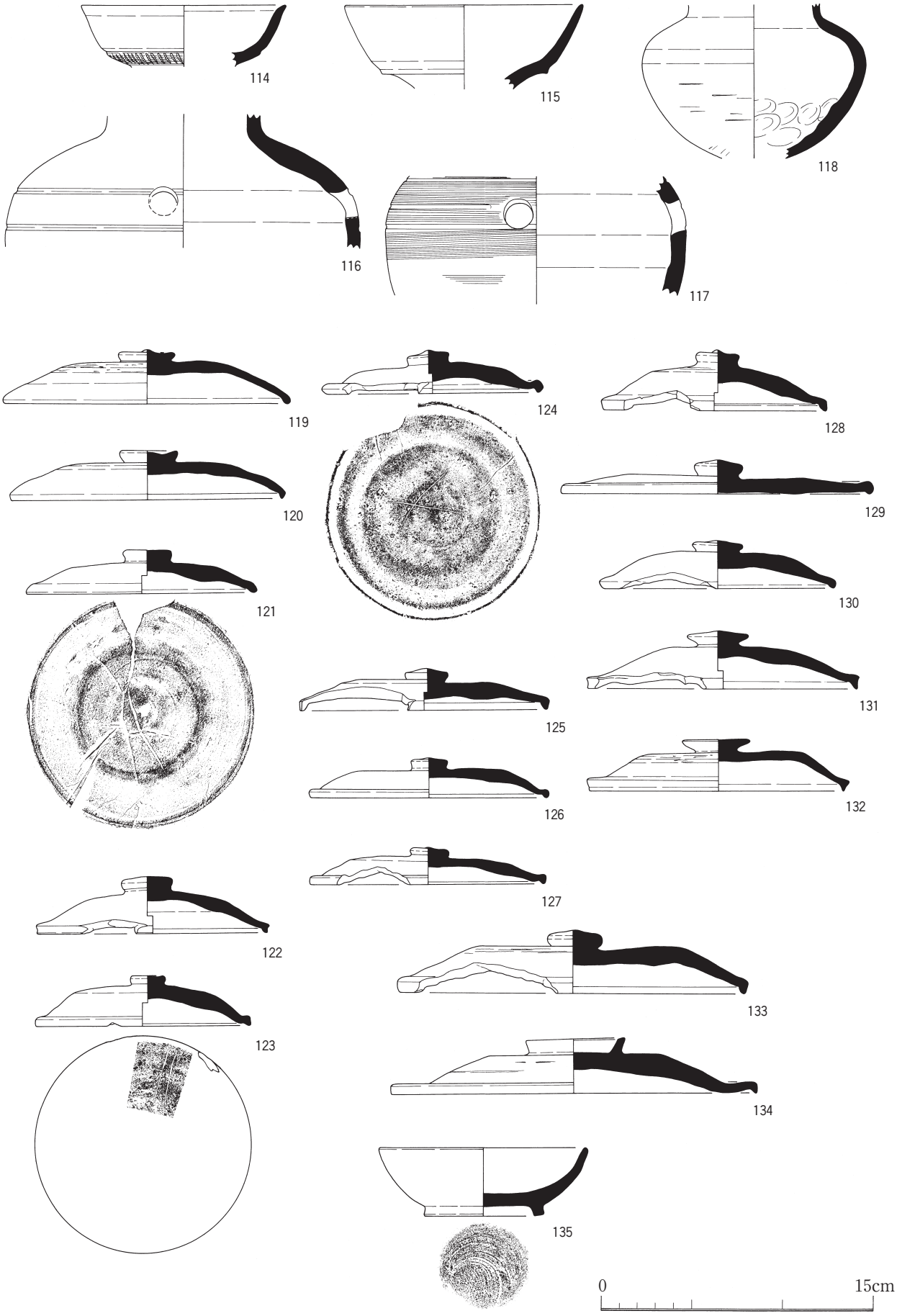

第９図　SD240出土土器・陶磁器（２）〔S＝１／３〕



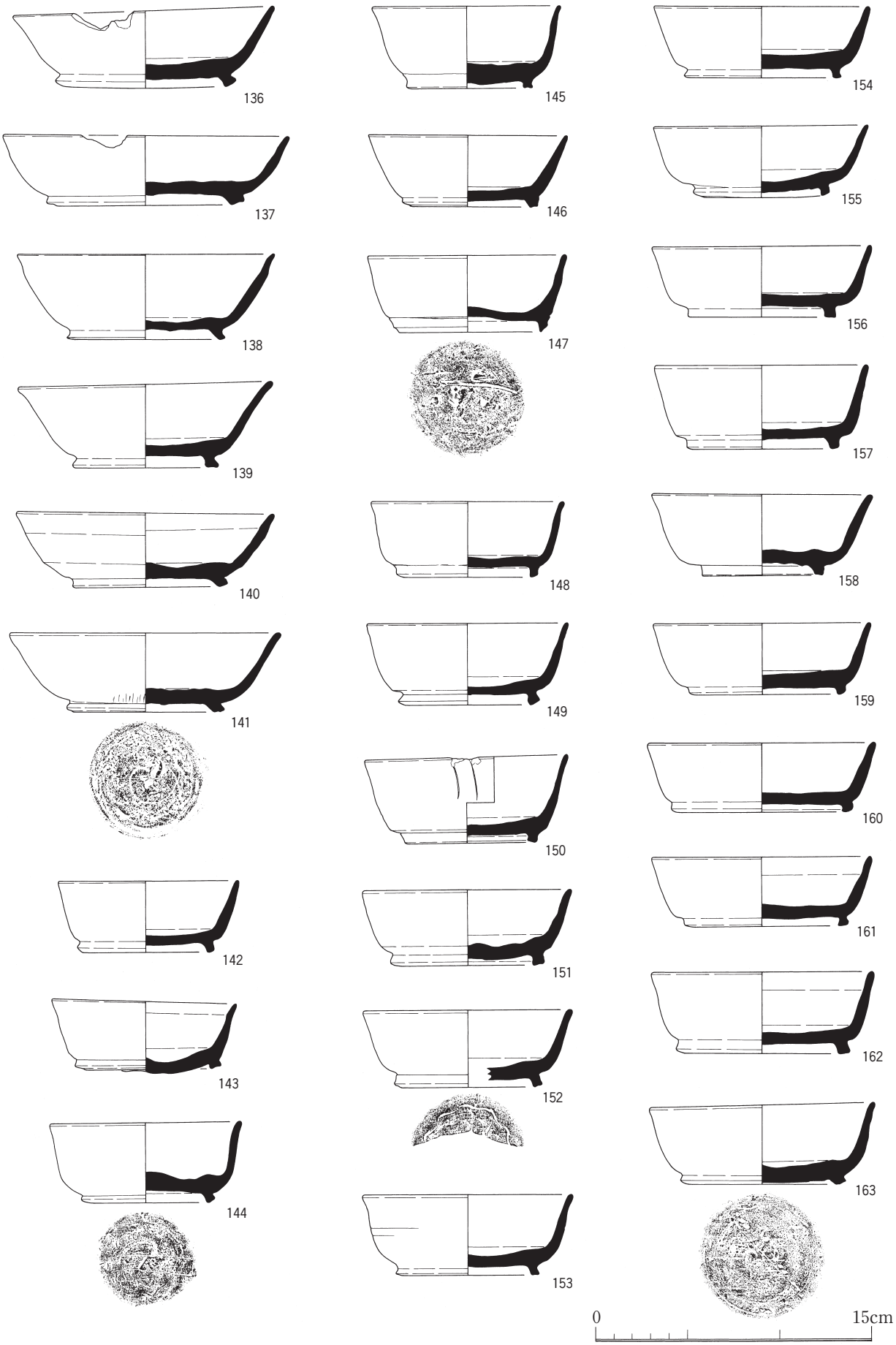

第10図　SD240出土土器・陶磁器（３）〔S＝１／３〕



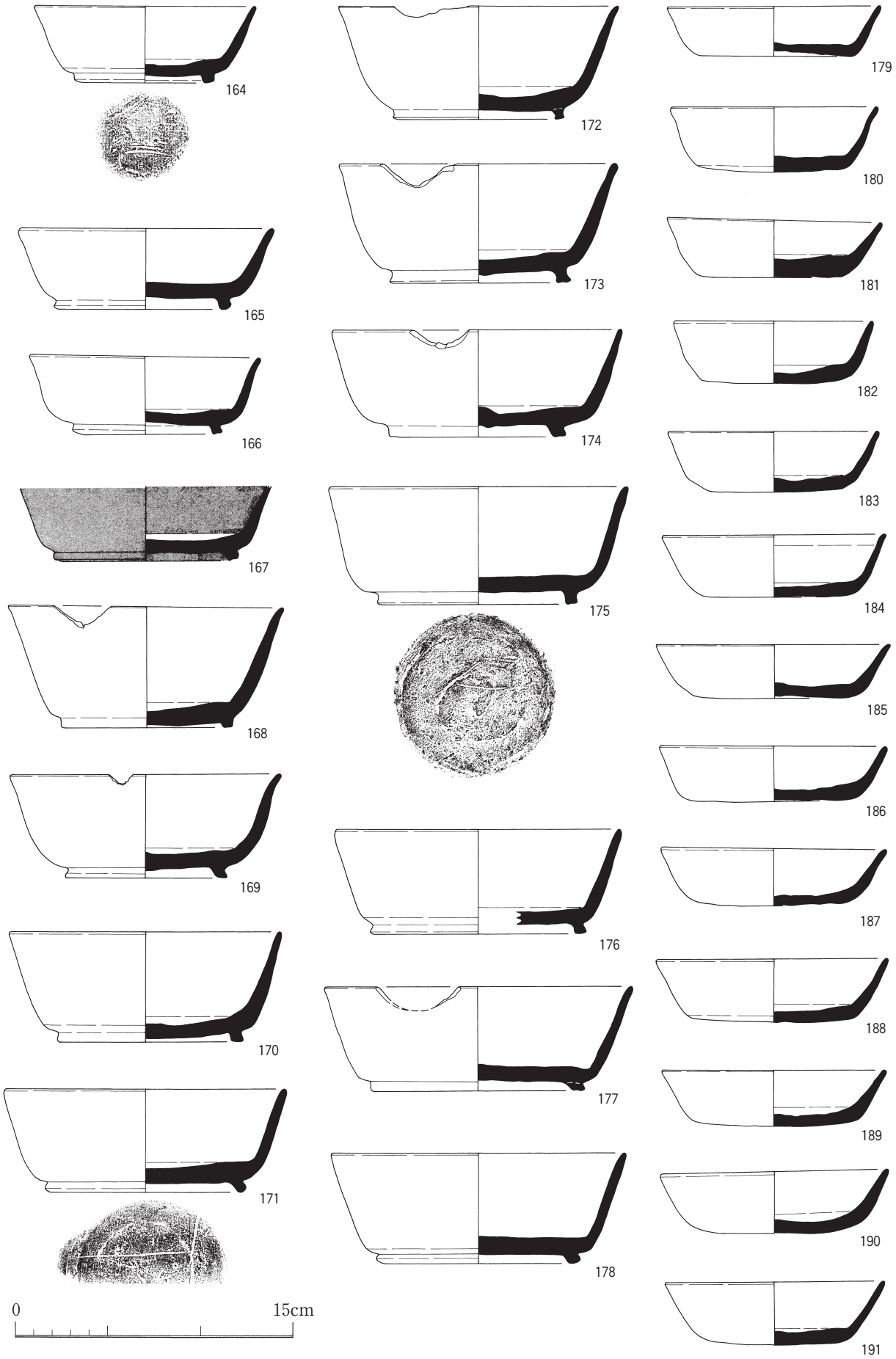

第11図　SD240出土土器・陶磁器（４）〔S＝１／３〕



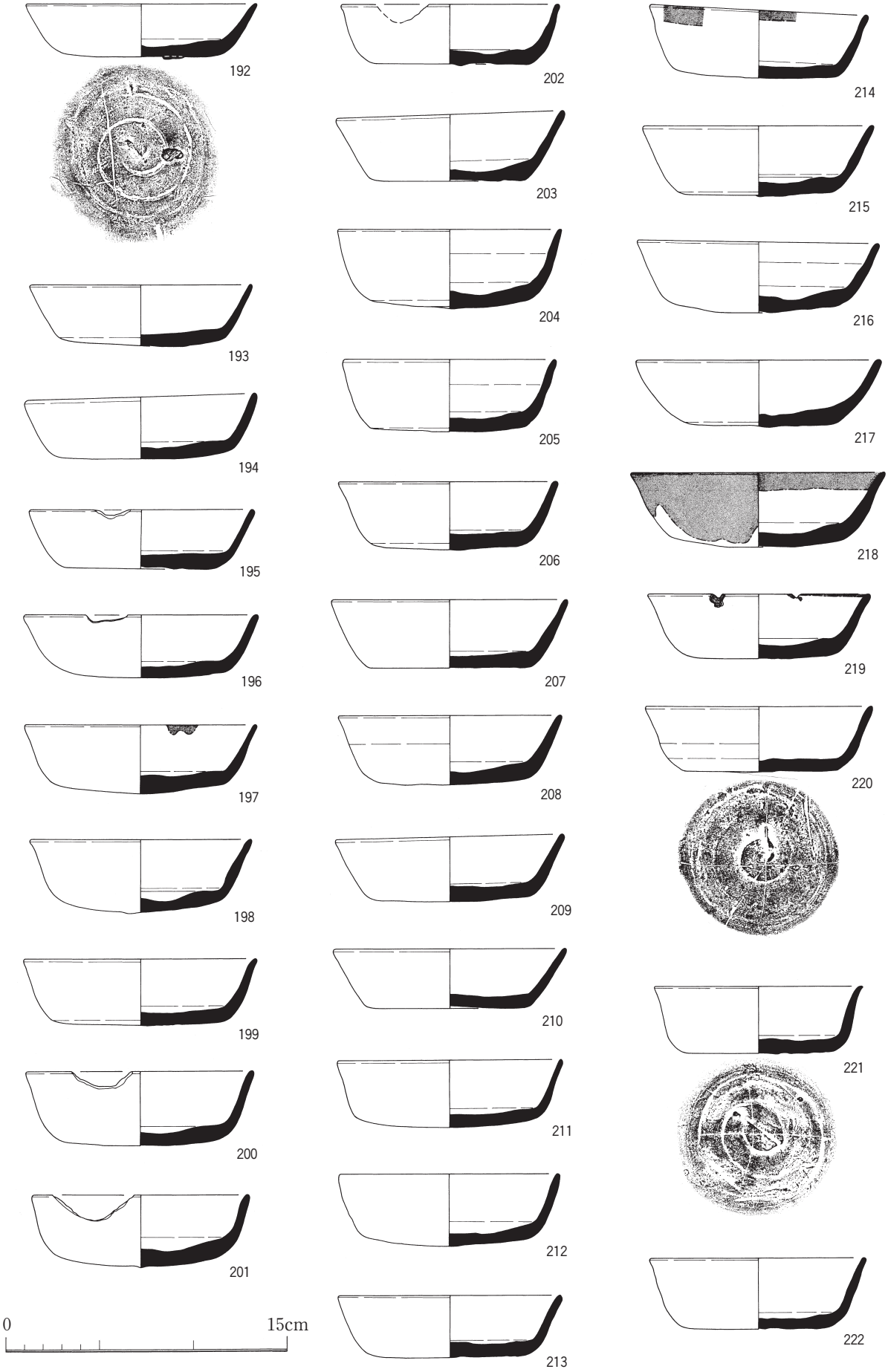

第12図　SD240出土土器・陶磁器（５）〔S＝１／３〕



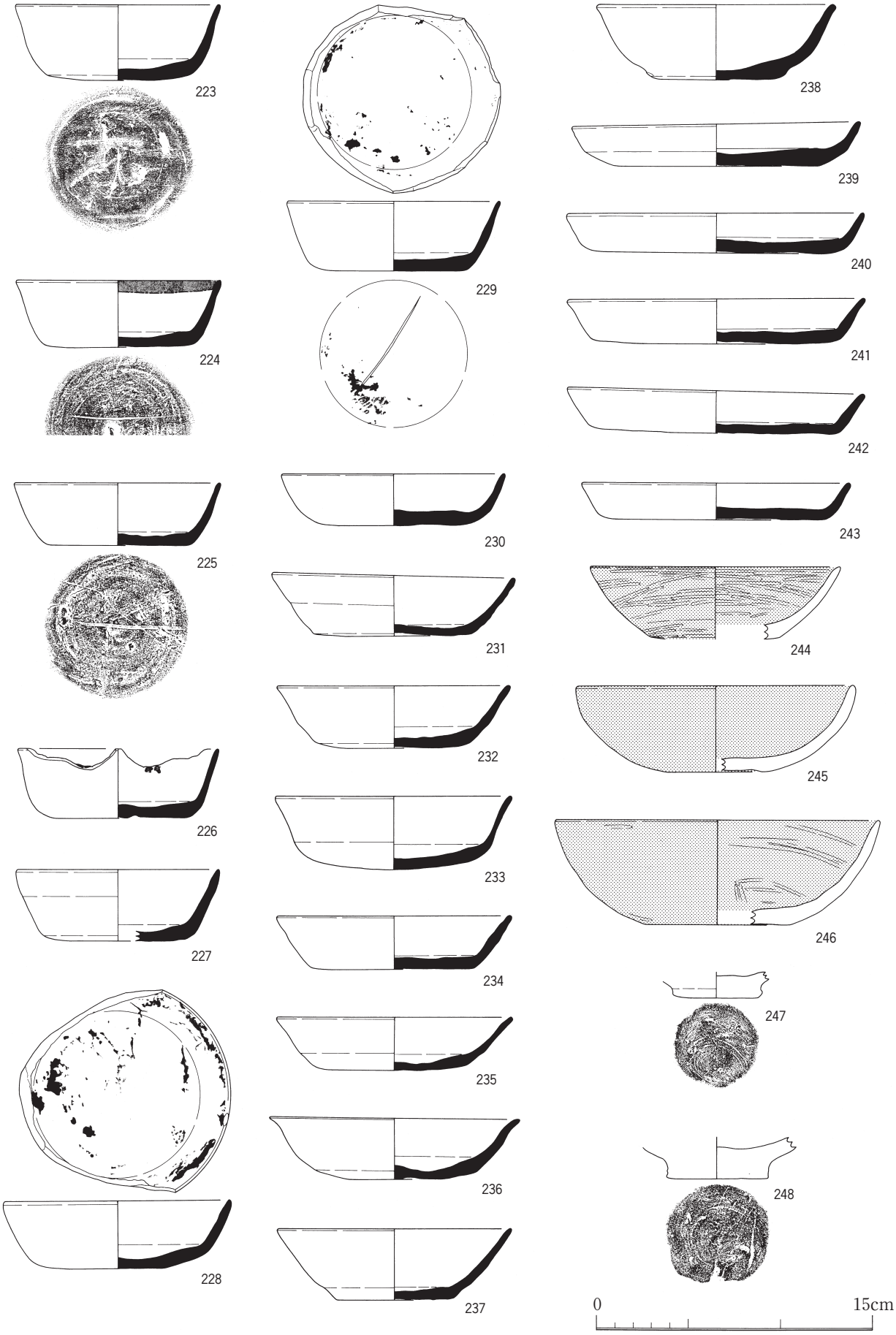

第13図　SD240出土土器・陶磁器（６）〔S＝１／３〕



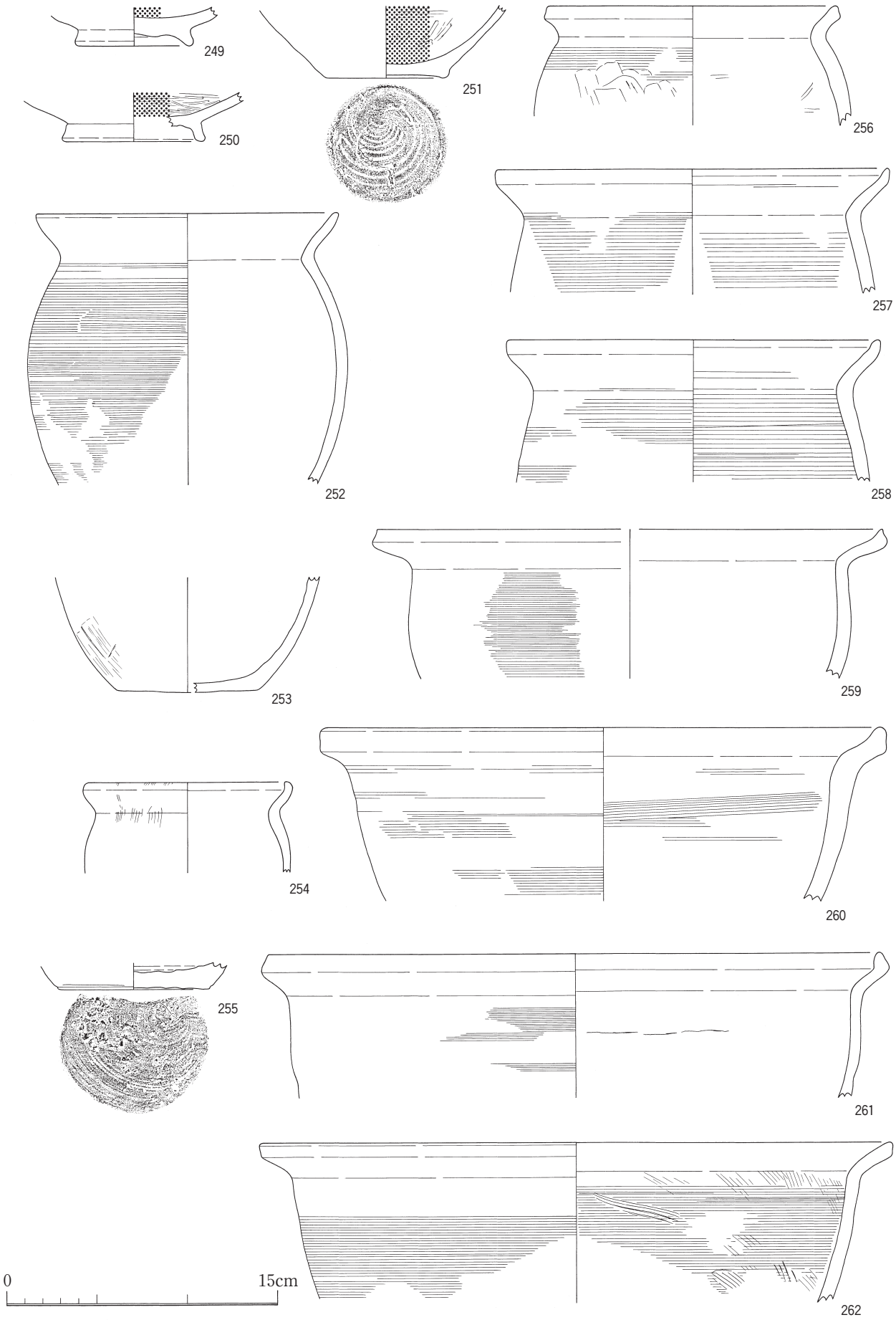

第14図　SD240出土土器・陶磁器（７）〔S＝１／３〕



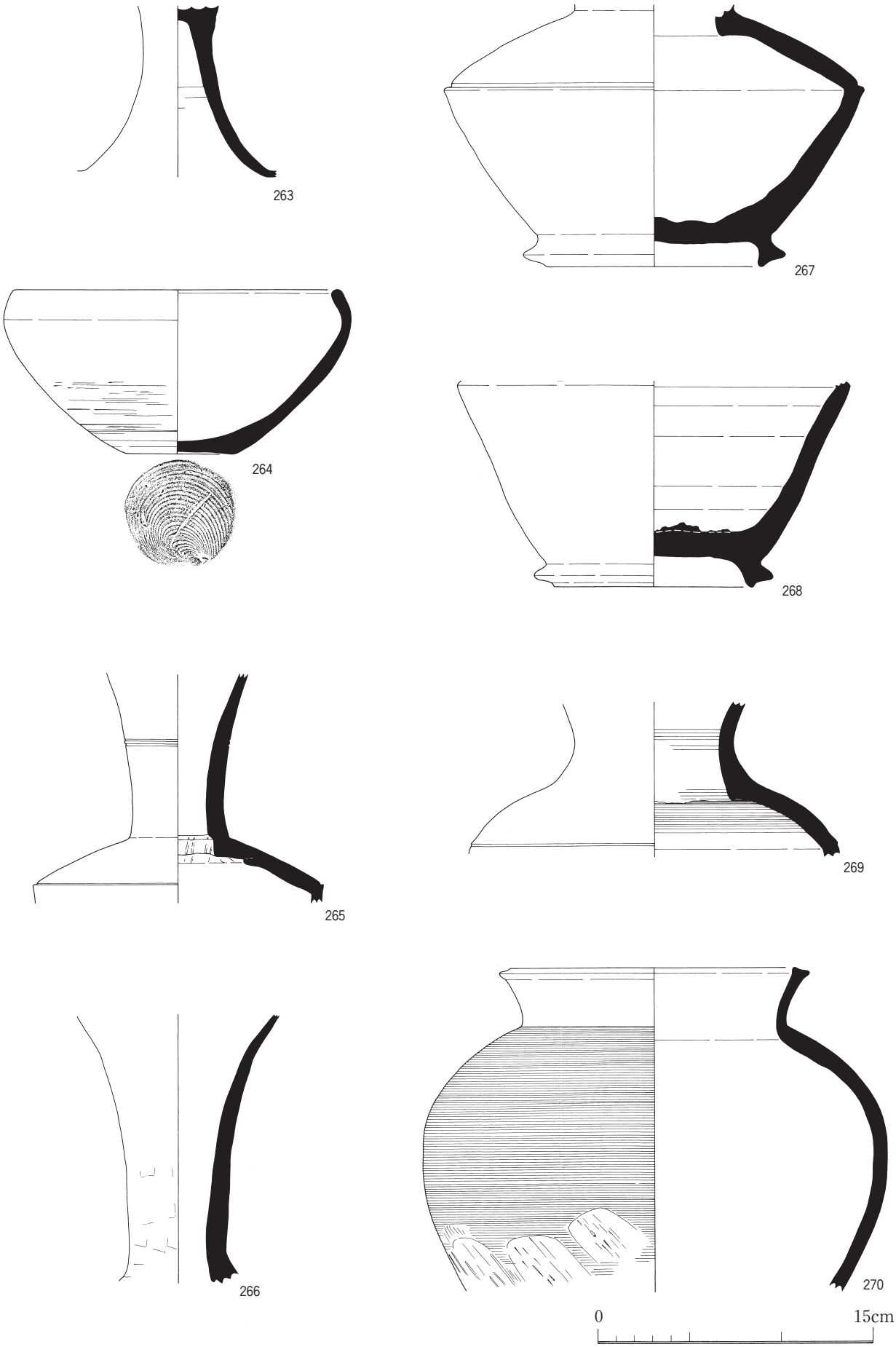

第15図　SD240出土土器・陶磁器（８）〔S＝１／３〕



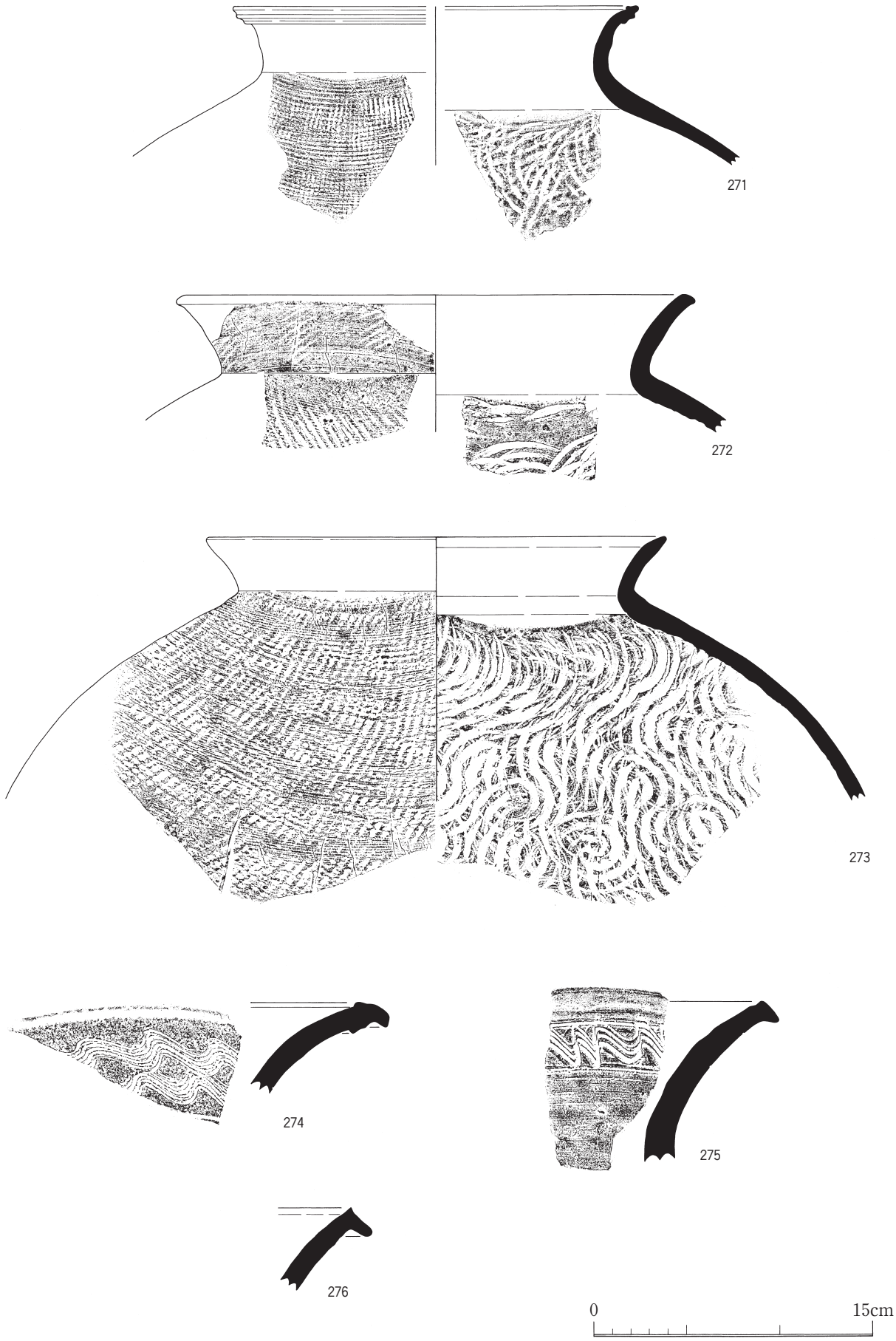

第16図　SD240出土土器・陶磁器（９）〔S＝１／３〕



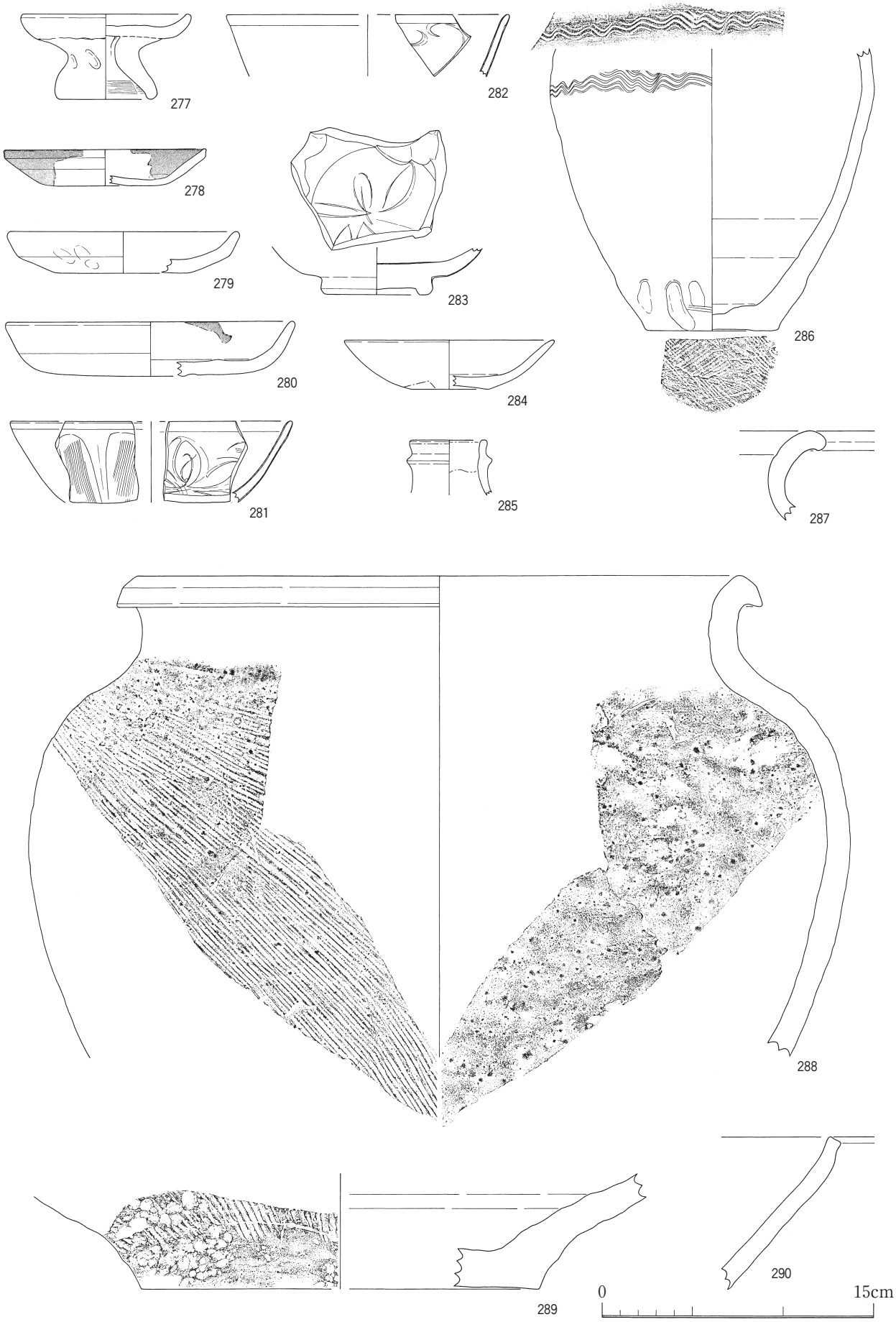

第17図　SD240出土土器・陶磁器（10）〔S＝１／３〕



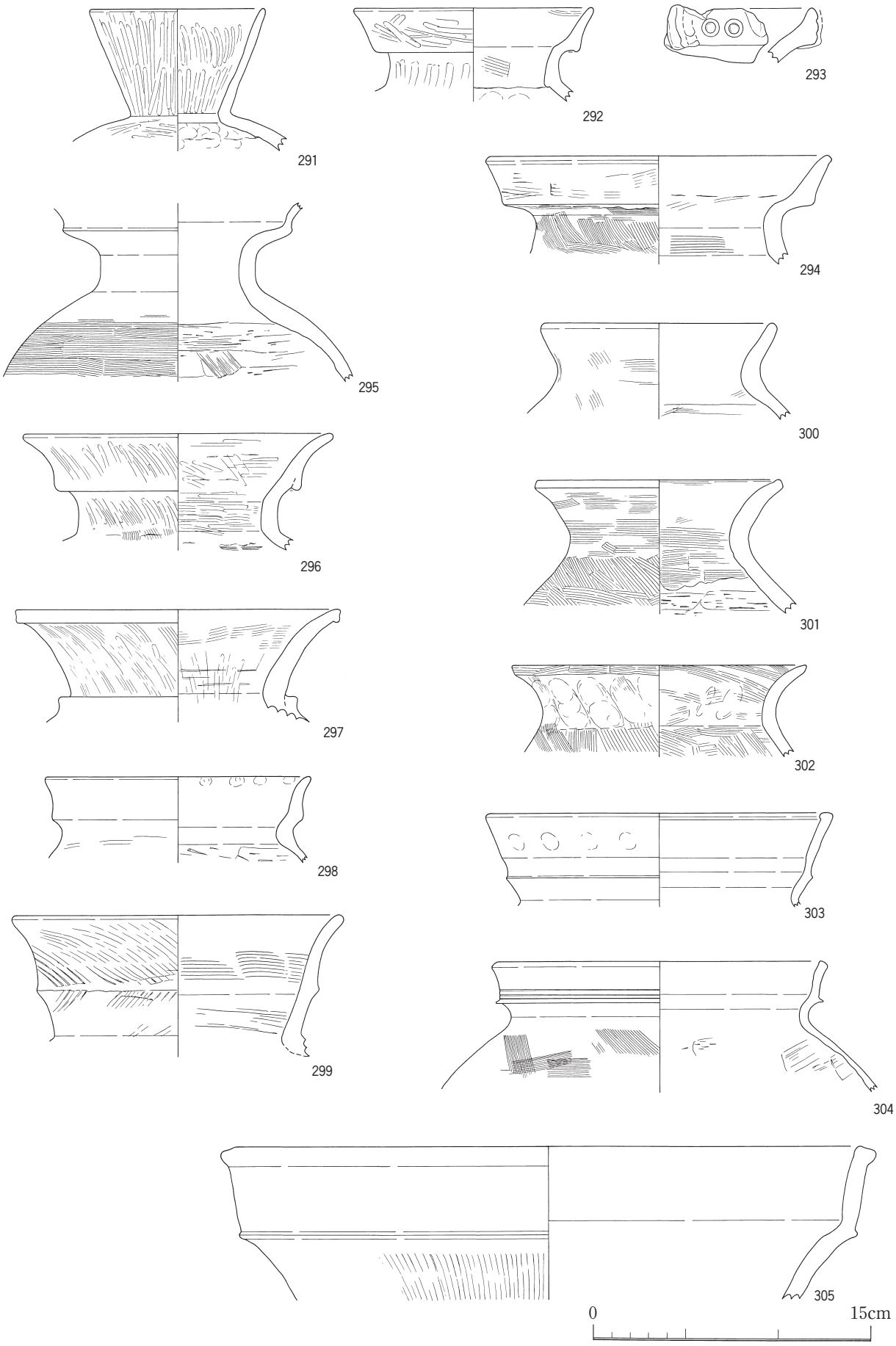

第18図　SD240出土土器・陶磁器（11）〔S＝１／３〕



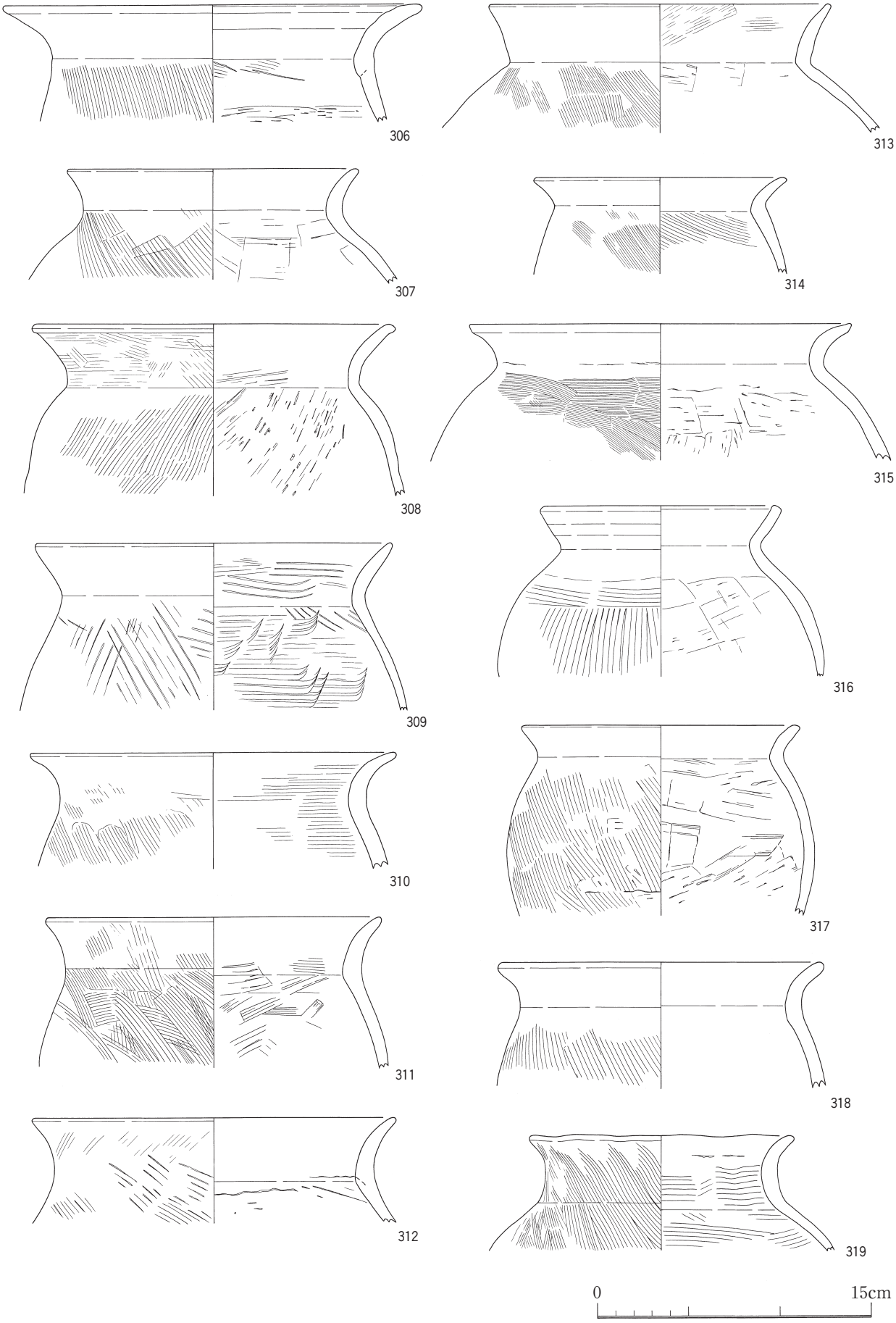

第19図　SD240出土土器・陶磁器（12）〔S＝１／３〕



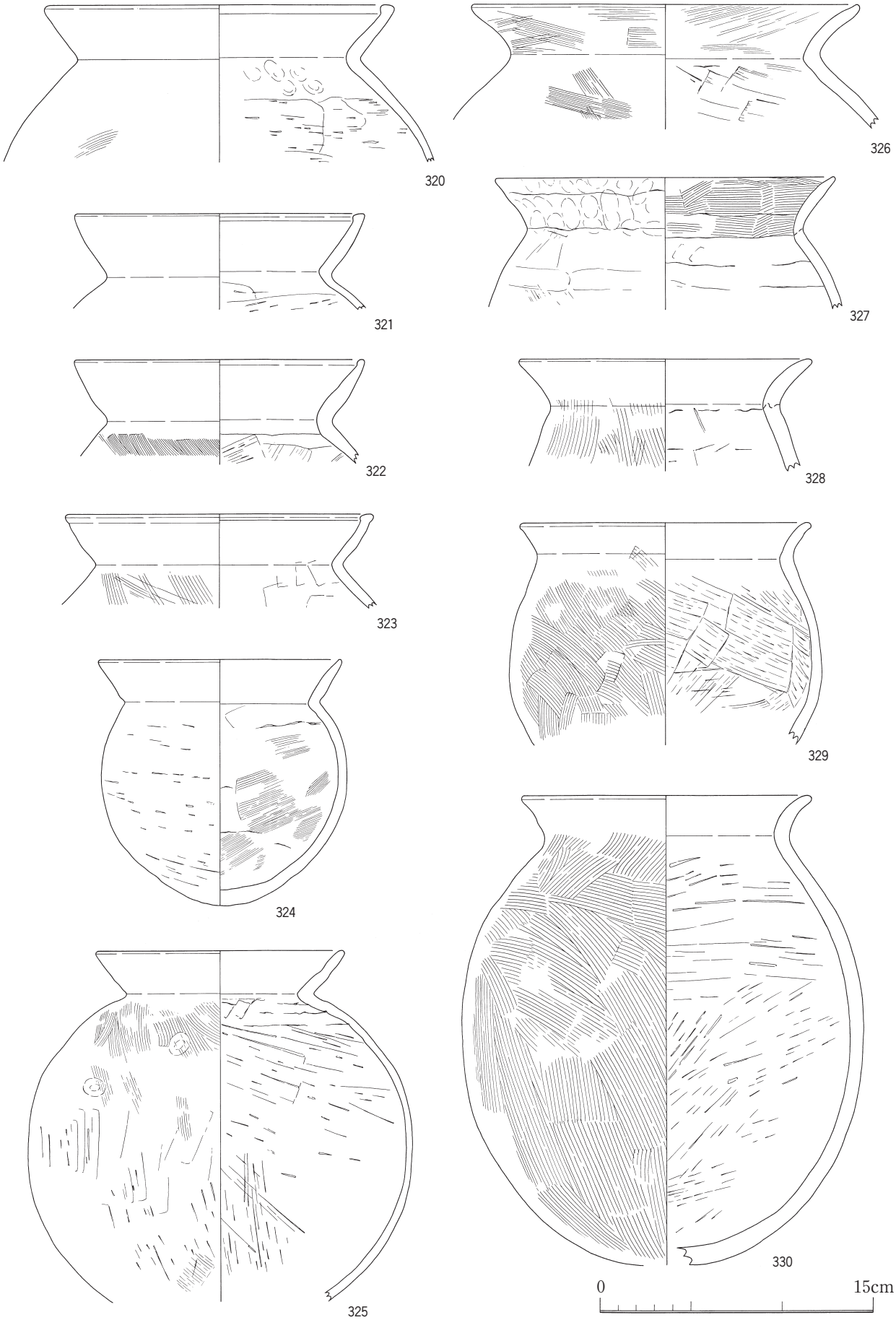

第20図　SD240出土土器・陶磁器（13）〔S＝1／3〕



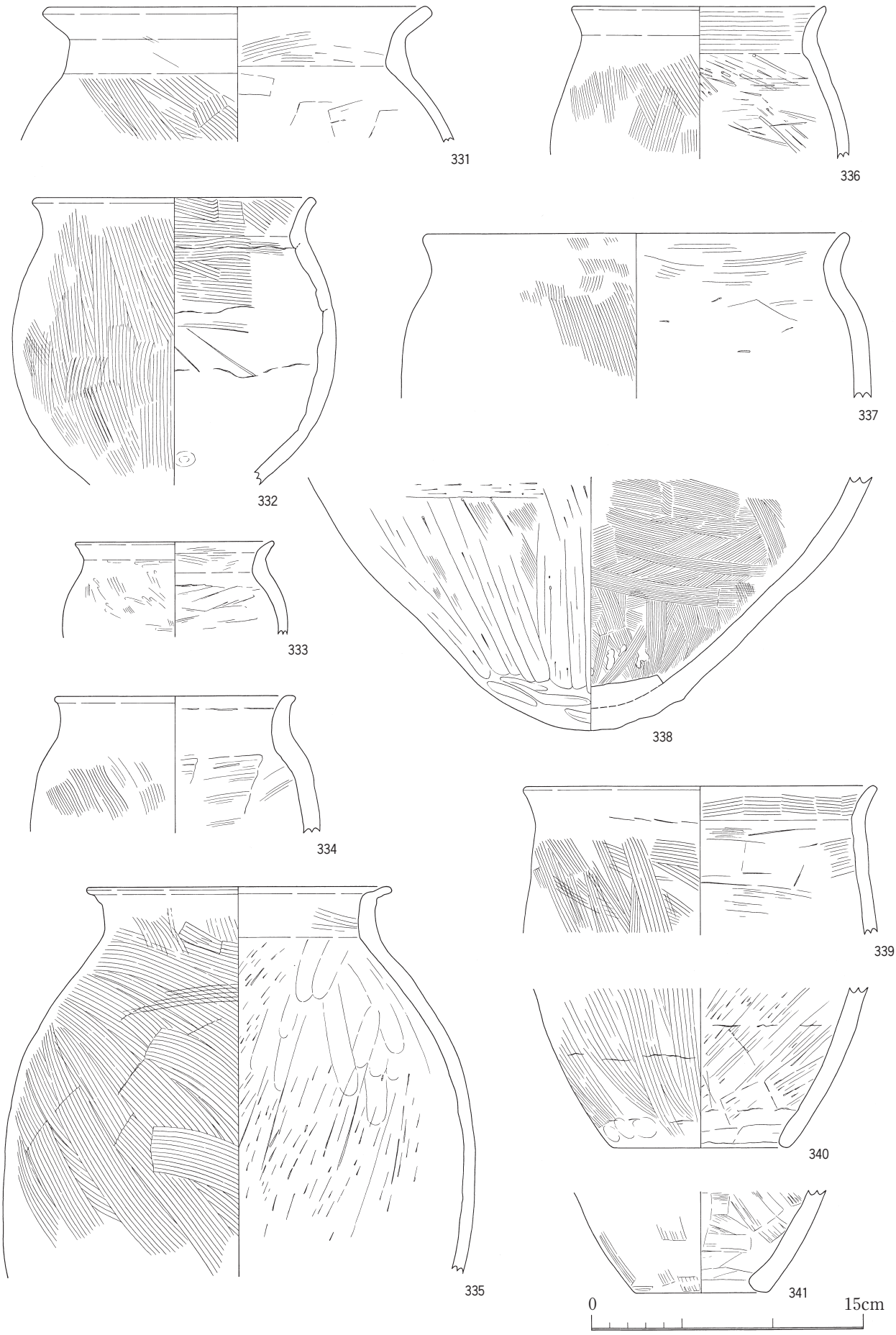

第21図　SD244出土土器・陶磁器（１）〔S＝１／３〕



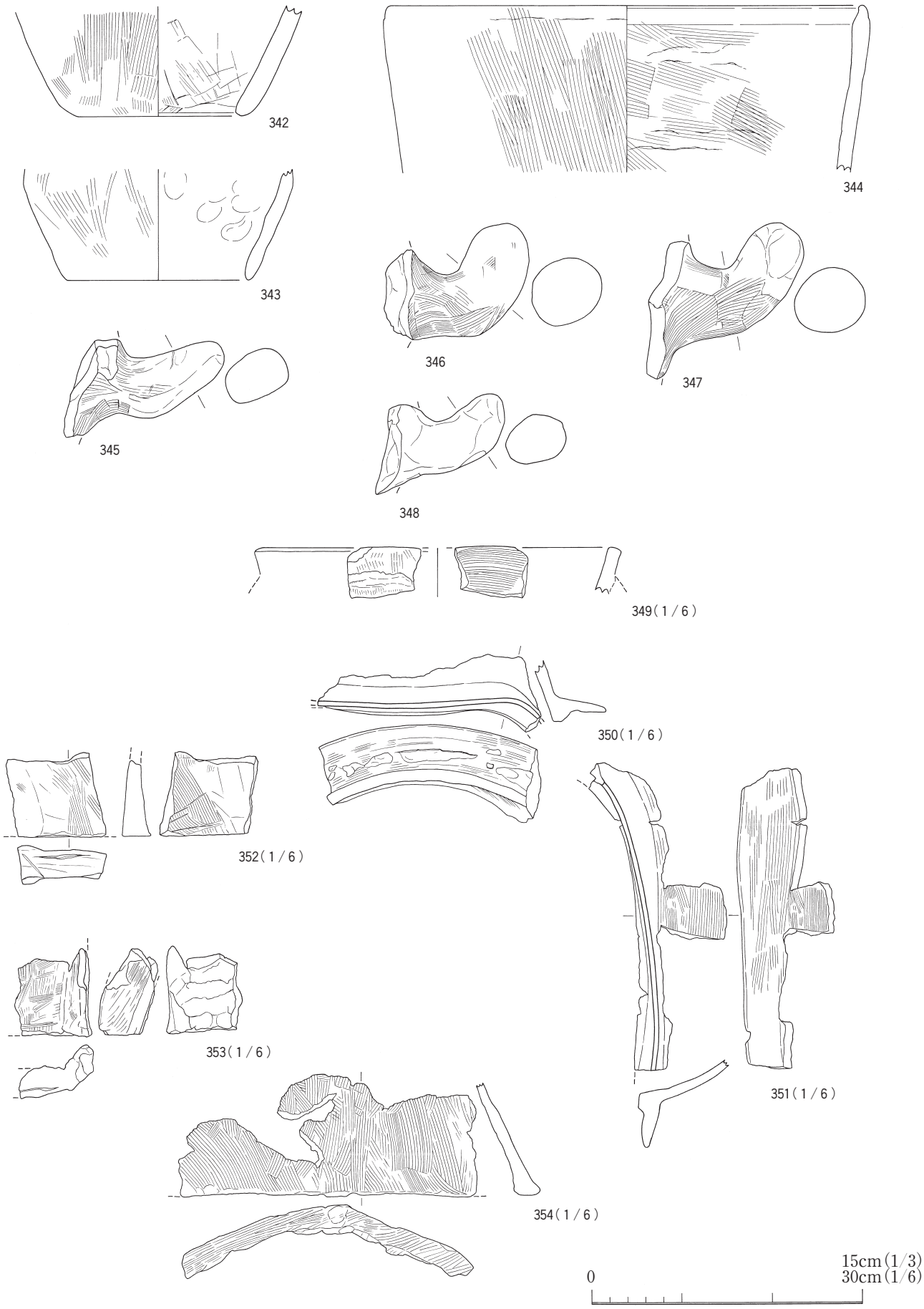

第22図　SD244出土土器・陶磁器（２）〔S＝１／３〕



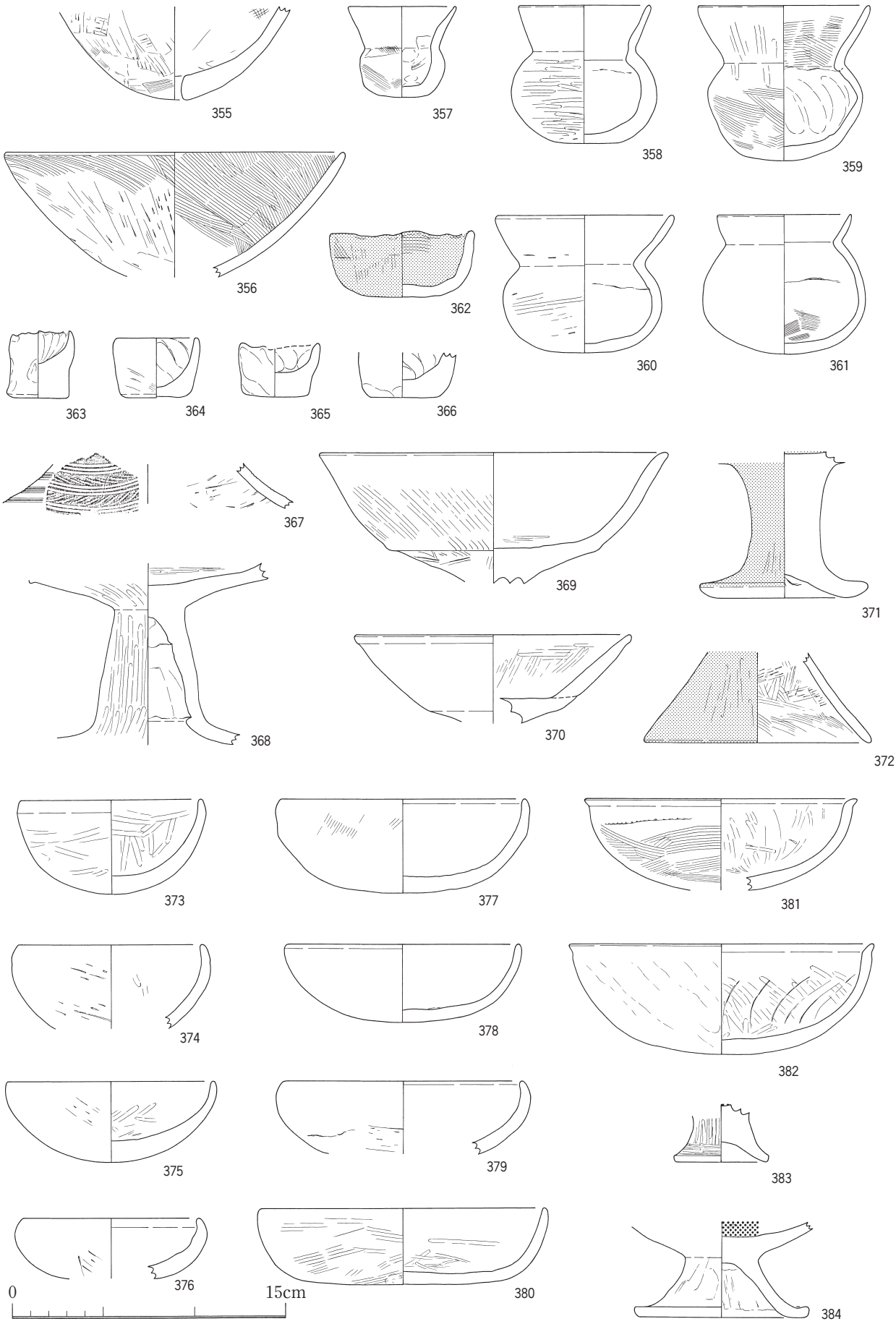

第23図　SD244出土土器・陶磁器（３）〔S＝１／３〕



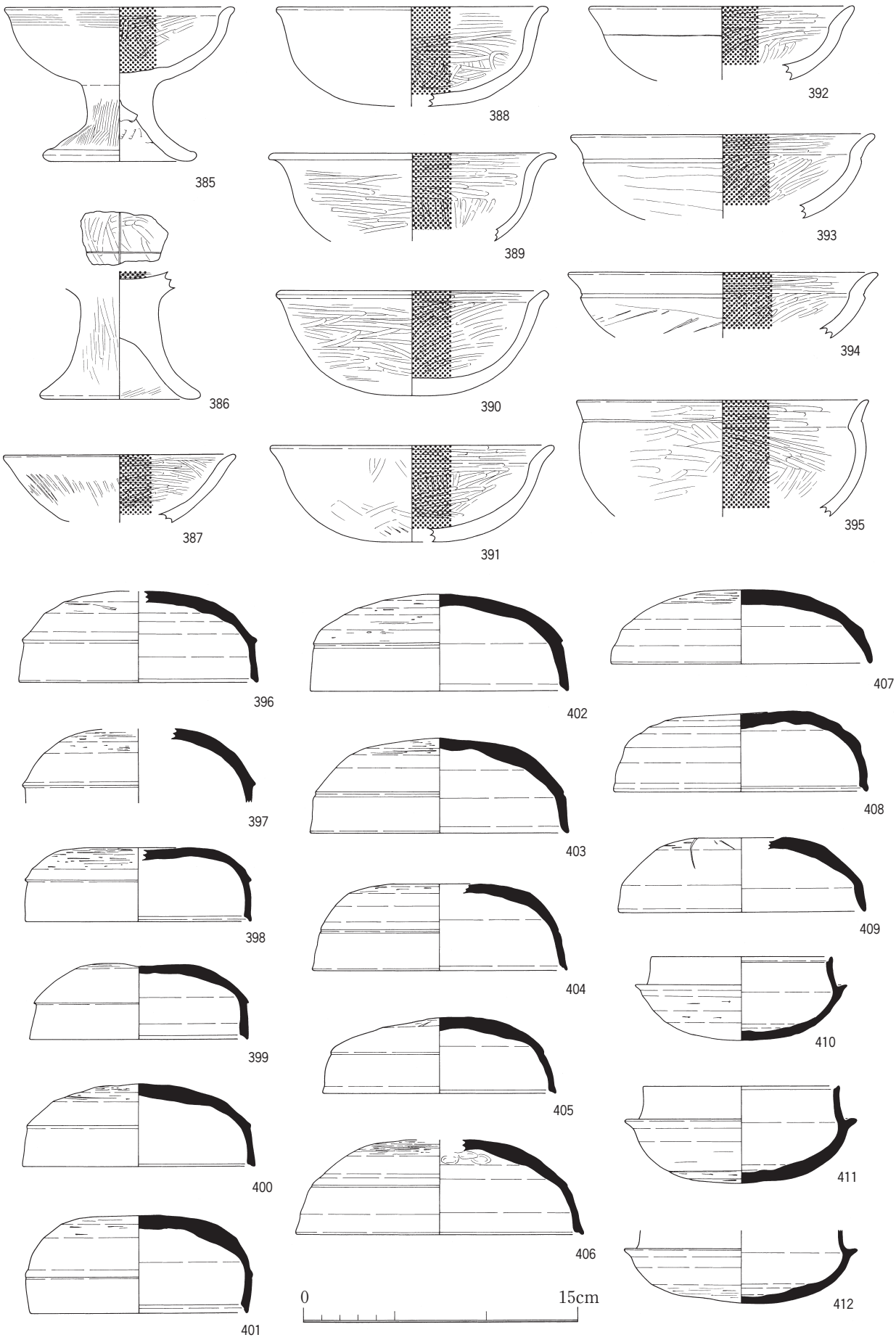

第24図　SD244出土土器・陶磁器（４）〔S＝１／３〕



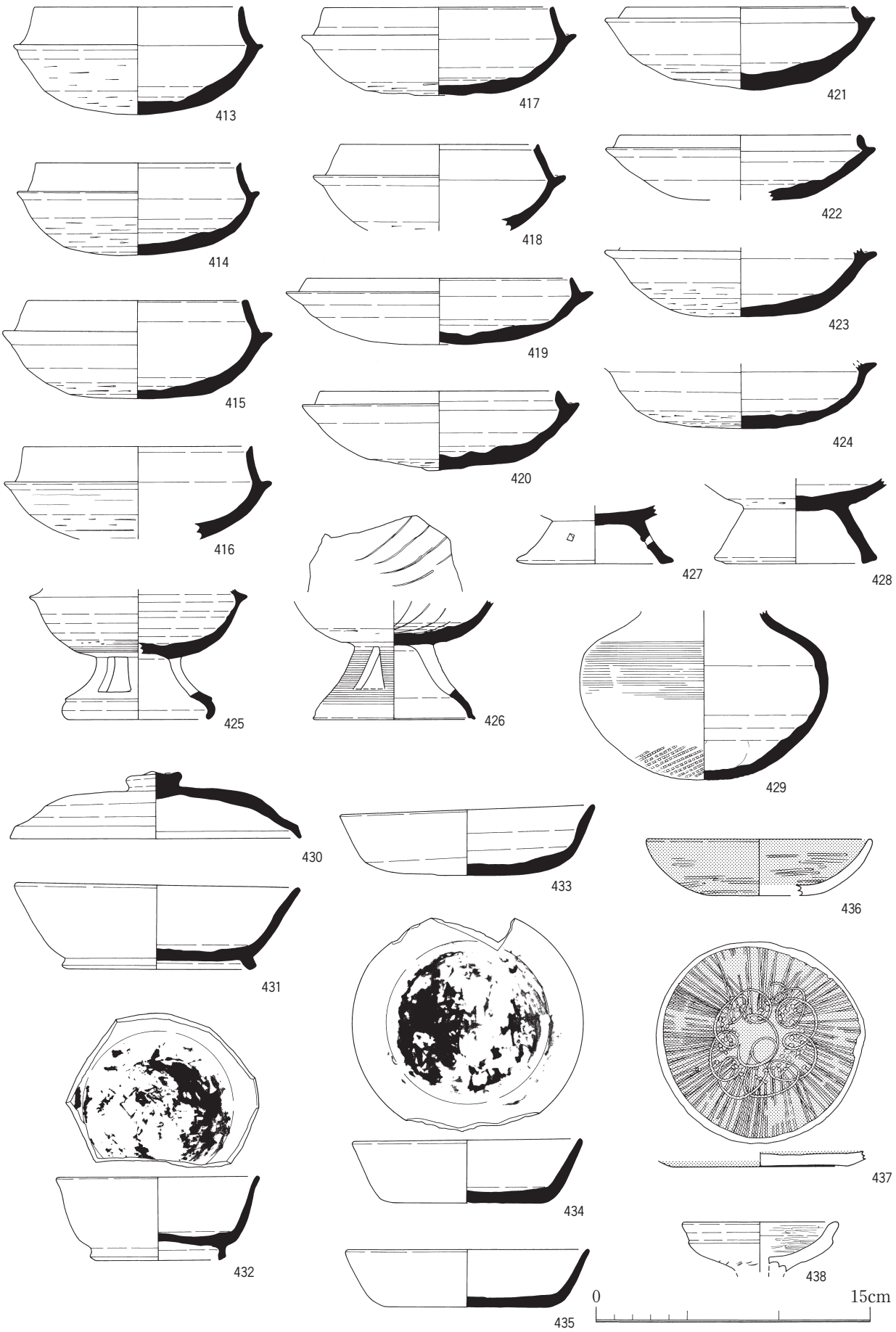

第25図　SD244出土土器・陶磁器（５）〔S＝１／３・６〕



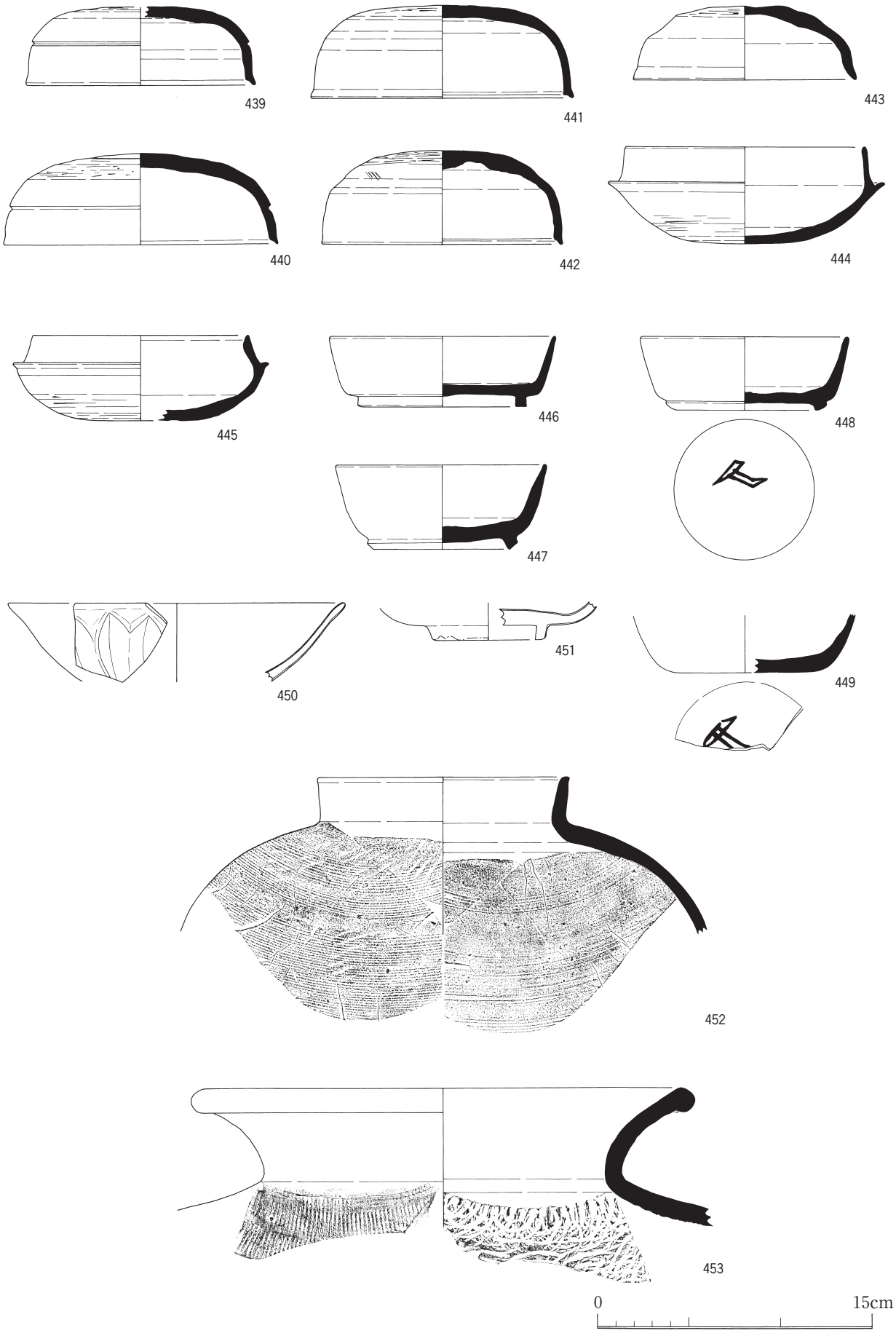

第26図　SD244出土土器・陶磁器（６）〔S＝１／３〕




第27図　SD244出土土器・陶磁器（７）〔S＝１／３〕




第28図　SD244出土土器・陶磁器（８）〔S＝１／３〕




第29図　SD240・244（439～444）、遺構外（445～453）出土土器・陶磁器〔S＝1／3〕

## 第２表　土器・陶磁器観察表（１）

| 番号 | 遺構 | 器種 | 法量 | | | | | 遺存／12 | 胎土 | | | | 調整 | | | | | 色調 | | 産地 | 備考 | 実測番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 口径長 | 器高幅 | 胴径厚 | 底径摘径 | 頸径受径 | | 砂 | 骨 | 礫 | 赤 | 口縁外面 | 胴部外面 | 口縁内面 | 胴部内面 | 底部外面 | 外面 | 内面 | | | |
| 1 | 2区 SB508 | 須恵器 坏身 | | (24) | | | 受 128 | 口1 | ◎ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | | 灰 | 灰白 | | P4 | TM140 |
| 2 | 2区 P15 | 須恵器 無台坏 | 126 | 37 | | 86 | | 口1 以下 | ○ | | ○ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 灰白 | 灰白 | | | TM139 |
| 3 | 2区 P17 | 土師器 甕 | | (36) | | 34 | | 底12 | ◎ | ○ | △ | △ | | ハケ | | ハケ | ナデ | 淡橙褐 | 黒 | | | TM141 |
| 4 | 2区 P19 | 須恵器 有台坏 | | (38) | | 77 | | 底3 | ○ | | ◎ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ナデ | 灰 | 灰白 | | | TM138 |
| 5 | 2区 P19 | 須恵器 無台坏 | 117 | 39 | | 92 | | 口2 | ◎ | | ○ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 白灰 | 白灰 | | | TM137 |
| 6 | 2区 P22 | 土師器 甕 | 158 | (81) | | | 134 | 口3 | ◎ | △ | ○ | ○ | ナデ | ハケ・キザミ | ナデ | ケズリ後ナデ | | 淡黄褐 | 淡黄褐 | | | TM143 |
| 7 | 2区 P25 | 土師器 器台 | | (54) | | | | 頸4 | ◎ | | ○ | ◎ | | ミガキ | | マメツ | | 淡橙褐 | 淡橙褐 | | | TM142 |
| 8 | 2区 P25 | 土師器 甕 | 204 | (107) | 234 | | 160 | 口1 以下 | ◎ | | △ | ◎ | ナデ | ハケ | ナデ | ケズリ | | 淡橙褐 | 淡橙褐 | | | TM144 |
| 9 | 2区 SK208 | 須恵器 蓋 | 100 | 32 | | ツマミ 25 | | 口2 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰白 | 灰白 | | | TM224 |
| 10 | 2区 SK208 | 須恵器 有台坏 | 116 | 40 | | 90 | | 底10 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 灰 | 灰 | | SK240と接合 | TM222 |
| 11 | 2区 SK208 | 須恵器 無台坏 | 120 | 37 | | 80 | | 底2 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 淡黄褐 | 淡橙褐 | | | TM221 |
| 12 | 2区 SK208 | 須恵器 無台坏 | 120 | 34 | | 76 | | 底5 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰白 | 灰 | | | TM219 |
| 13 | 2区 SK208 | 須恵器 無台坏 | 116 | 34 | | 74 | | 底4 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ナデ | 灰白 | 灰白 | | | TM220 |
| 14 | 2区 SK208 | 須恵器 盤 | 156 | 25 | | 118 | | 底6 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰白 | 灰白 | | 遺構外 Y14W と接合 | TM223 |
| 15 | 2区 SK208 | 土師器 甕 | 176 | (49) | | | 134 | 口4 | ○ | | △ | ◎ | マメツ | | マメツ | | | 橙褐 | 橙褐 | | | TM225 |
| 16 | 2区 SK208 | 土師器 甕 | 142 | (36) | | | 131 | 口1 | ◎ | | △ | | ナデ | ハケ | ナデ | ナデ | | 淡橙褐 | 淡橙褐 | | | TM226 |
| 17 | 2区 SK208 | 土師器 甕 | 218 | (58) | | | 190 | 口1 | ○ | | △ | | ナデヵ | ナデヵ | ナデヵ | ナデヵ | | 淡黄褐 | 淡橙褐 | | | TM227 |
| 18 | 2区 SE251 | 土師器 皿 | 74 | 16 | | 35 | | 口10 | △ | | | △ | 横ナデ | | 横ナデ | | 指痕 | 淡橙灰褐 | 淡橙灰褐 | | | FJ46 |
| 19 | 2区 SE252 | 須恵器 甕 | | | | | | 頸2 | ◎ | | ○ | | ロクロナデ | タタキ | ロクロナデ | タタキ | | 灰 | 灰 | | | FJ47 |
| 20 | 2区 Y12 SE252 | 珠洲 甕 | 418 | (88) | | | 386 | 口1 | ◎ | | △ | | ロクロナデ | タタキ | ロクロナデ | タタキ | | 淡灰 | 淡灰 | | 内外面自然釉、SD240と接合、289と同一ヵ | E163 |
| 21 | 2区 AB5 SD222 | 須恵器 蓋 | 132 | (51) | | | | 口4 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ | 灰 | 灰 | | 内外面煤付着 | E64 |
| 22 | 1区 AA6 SD222 | 須恵器 蓋 | 110 | 26 | | 52 | | 口4 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | 灰 | 灰 | | SD303、外面重焼痕 | S118 |
| 23 | 2区 AA6 SD222 | 須恵器 無台坏 | | (42) | | 65 | | 底7 | ○ | | ○ | | | ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ | 淡褐 | 淡褐 | | | OH59 |
| 24 | 1区 AA6 SD222 | 須恵器 無台坏 | 130 | 36 | | 80 | | 口3 | △ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ | 灰 | 灰 | | 底部外面墨痕 | OH58 |
| 25 | 2区 AB5 SD222 | 須恵器 壺 | | (48) | 108 | | | 胴3 | ○ | | △ | | | ロクロナデ・列点文 | | ロクロナデ | | 灰白 | 灰 | | 1区 SD222と接合、内外面自然釉 | TM90 |
| 26 | 2区 AB5 SD222 | 土師器 碗 | 142 | (48) | | | | 口2 | ◎ | | | | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | | 淡桃灰褐 | 淡桃灰褐 | | | EE70 |
| 27 | 2区 AA6 SD222 | 土師器 皿 | 142 | 33 | | 84 | | 口1 以下 | ○ | | | | ナデ | ナデ・指痕 | ナデ | ナデ・指痕 | ナデ | 淡灰黄 | 淡灰黄 | | | S122 |
| 28 | 2区 SD222 | 土師器 把手 | 長 54 | 幅 35 | 厚 33 | | | | △ | | | ○ | | | | | | 淡桃灰 | 淡桃灰 | | | EE76 |
| 29 | 1区 AA6 SD222 | 赤彩 碗 | | (37) | | 88 | | 底5 | △ | | | | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | 糸切リ | 淡桃褐 | 淡桃褐 | | | EE74 |
| 30 | 1区 AA8 SD222 | 赤彩 碗 | | (38) | | 80 | | 底9 | ○ | | △ | | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | 糸切リ | 淡橙褐 | 淡橙褐 | | | EE73 |
| 31 | 1区 AB5 SD222 | 須恵器 甕 | 396 | (90) | | | | 口1 以下 | △ | | △ | △ | ロクロナデ・波状文 | | ロクロナデ | | | 灰 | 灰白 | | | TM92 |
| 32 | 1区 AA6 SD222 | 須恵器 蓋 | 112 | 27 | | ツマミ 22 | | 口3 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | 暗灰 | 暗灰 | | SD303、内面にヘラ記号 | S117 |
| 33 | 1区 AA6 SD222 | 須恵器 蓋 | 140 | 32 | | ツマミ 33 | | 口1 | △ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | 灰 | 灰 | | SD303 | S116 |
| 34 | 1区 AA6 SD222 | 須恵器 蓋 | 176 | 35 | | ツマミ 32 | | 口1 | ○ | | △ | | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ | 灰 | 灰 | | SD303 | S120 |
| 35 | 1区 AA6 SD222 | 須恵器 有台坏 | 104 | 41 | | 74 | | 口2 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 暗灰 | 灰 | | SD303、打欠 | S115 |
| 36 | 1区 AA6 SD222 | 須恵器 有台坏 | 134 | 43 | | 80 | | 口1 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 暗灰 | | SD303 | S119 |
| 37 | 1区 AA6 SD222 | 赤彩 碗 | 166 | 48 | | 114 | | 口4 | ○ | | | | ミガキ・ケズリ | ミガキ・ケズリ | ミガキ | ミガキ | ミガキ | 淡橙褐 | 淡橙褐 | | SD303 | S121 |
| 38 | 1区 AA8 SD222 | 須恵器 甕 | 186 | 71 | | | 142 | 口2 | ○ | | △ | | ロクロナデ | タタキ | ロクロナデ | タタキ | | 灰 | 淡灰 | | SD303 | S114 |
| 39 | 2区 SD303 | 須恵器 蓋 | 114 | 29 | | ツマミ 22 | | 口11 | ◎ | | △ | △ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | 灰 | 灰 | 高松 | №105、打欠、内面墨痕 | E182 |
| 40 | 2区 SD303 | 須恵器 蓋 | 130 | 27 | | ツ マ ミ25 | | 口11 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリヵ | 淡灰 | 淡灰 | 高松 | №107、打欠、重焼痕 | E191 |
| 41 | 2区 AA9 SD303 | 須恵器 蓋 | 138 | 28 | | ツマミ 24 | | 口12 | △ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰褐 | 灰褐 | 末 | №7 | E173 |
| 42 | 2区 SD303 | 須恵器 蓋 | 130 | 29 | | ツマミ 29 | | 口12 | △ | | | | ロクロナデ | ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ | 灰 | 灰 | 末 | №2、重焼痕、内面朱墨ヵ | E168 |
| 43 | 2区 SD303 | 須恵器 蓋 | 128 | 28 | | ツマミ 26 | | 口10 | ○ | △ | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | 末 | №64、打欠ヵ、重焼痕 | E171 |
| 44 | 2区 SD303 | 須恵器 蓋 | 129 | 23 | | ツマミ 22 | | 口1 | △ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | 末 | №109、打欠、重焼痕 | E175 |
| 45 | 2区 SD303 | 須恵器 蓋 | 184 | 38 | | ツマミ 30 | | 口8 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | №101 | E184 |
| 46 | 2区 Y17 SD303 | 須恵器 蓋 | 186 | 43 | | ツマミ 33 | | 口6 | ◎ | | ○ | | ロクロナデ | ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ | 灰 | 灰 | 高松 | №28 | E185 |
| 47 | 2区 Y18 SD303 | 須恵器 有台坏 | | (60) | | 104 | | 底12 | ○ | | △ | | | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰白 | 灰白 | 高松 | №202 | TM200 |
| 48 | 2区 SD303 | 須恵器 有台坏ヵ | | (21) | | 95 | | 底10 | ○ | | △ | | | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | №72 | TM203 |
| 49 | 2区 SD303 | 須恵器 有台坏 | 103 | 44 | | 69 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | №38・39、重焼痕、付着物 | TM202 |
| 50 | 2区 Y17 SD303 | 須恵器 有台坏 | 111 | 43 | | 79 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰白 | 高松 | №36 | TM207 |
| 51 | 2区 Y17 SD303 | 須恵器 有台坏 | 106 | 38 | | 74 | | 底6 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | №32、底部外面に墨痕ヵ | TM204 |

## 第２表　土器・陶磁器観察表（２）

| 番号 | 遺構 | 器種 | 法量 | | | | | 遺存／12 | 胎土 | | | | 調整 | | | | | 色調 | | 産地 | 備考 | 実測番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 口径長 | 器高幅 | 胴径厚 | 底径摘径 | 頸径受径 | | 砂 | 骨 | 礫 | 赤 | 口縁外面 | 胴部外面 | 口縁内面 | 胴部内面 | 底部外面 | 外面 | 内面 | | | |
| 52 | 2区 Y17 SD303 | 須恵器 有台坏 | 114 | 43 | | 70 | | 底11 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | №37、底部外面に墨痕ヵ、打欠 | TM212 |
| 53 | 2区 SD240 | 土師器 壺 | 158 | (57) | | | 88 | 口1 | ○ | | △ | △ | ナデ | ハケ | ナデ | ハケ | | 淡赤橙灰 | 淡赤橙灰 | | 外面、内面口縁部赤彩 | S62 |
| 54 | 2区 SD240 | 弥生 壺 | | | | | | 口1 以下 | ○ | | | | ナデ・キザミ | | ナデ | | | 淡橙褐 | 淡橙褐 | | | OH47 |
| 55 | 2区 SD240 | 土師器 壺 | | | | | | 口1 以下 | ○ | | | ◎ | ナデ・ハケ・円形浮文 | | ナデ・ハケ | | | 濃橙褐 | 濃橙褐 | | | OH46 |
| 56 | 2区 SD240 | 土師器 壺 | 227 | (90) | | | 139 | 口2 | ○ | | | | ナデ・キザミ | ナデ | ナデ | ナデ | | 橙茶褐 | 橙茶褐 | | | OH44 |
| 57 | 2区 SD240 | 土師器 壺 | 114 | (59) | | | 82 | 口3 | ○ | | △ | | ハケ | ハケ | ハケ | ナデ | | 淡褐 | 淡褐 | | 孔1コ残 | OH45 |
| 58 | 2区 SD240 | 土師器 甕 | 146 | (42) | | | 110 | 口3 | △ | | △ | | ナデ・指痕・マメツ | ナデ・マメツ | ハケ・ナデ・マメツ | ハケ・ナデ・マメツ | | 橙灰褐 | 灰褐 | | 内外面に黒斑 | S63 |
| 59 | 2区 SD240 | 土師器 甕 | 148 | (67) | | | 126 | 口3 | ○ | | △ | ○ | ナデ・ハケ | ナデ・ハケ | ナデ | マメツ | | 淡橙桃 | 淡橙灰 | | 外面煤付着 | S60 |
| 60 | 2区 SD240 | 土師器 甕 | 132 | (84) | | | 122 | 口3 | ○ | | △ | △ | ナデ | ハケ | ナデ・ハケ・指痕 | ケズリ | | 淡橙灰 | 淡橙灰 | | | S61 |
| 61 | 2区 SD240 | 土師器 壺 | | | | | | 口1 以下 | ○ | | | | ミガキ | ミガキ | ミガキ | ナデ | | 橙褐 | 橙褐 | | | OH48 |
| 62 | 2区 SD240 | 土師器 甕 | 188 | (50) | | | 148 | 口1 以下 | ○ | | | △ | ナデ | ナデ | ナデ | ケズリ | | 淡橙灰 | 淡橙灰 | | 口縁煤付着 | S59 |
| 63 | 2区 SD240 | 土師器 甕 | 195 | (79) | | | 172 | 口3 | ◎ | | | | ナデ | ナデ・ハケ | ナデ | ナデ・ケズリ | | 灰褐 | 灰褐 | | 上層 | OH31 |
| 64 | 2区 SD240 | 土師器 甕 | 214 | (111) | | | 185 | 口1 | ○ | | | | ナデ | ナデ・ケズリ | ナデ | ナデ・ハケ | | 淡橙褐 | 淡橙褐 | | 外面煤付着 | OH32 |
| 65 | 2区 SD240 | 土師器 甕 | 206 | (190) | 172 | | 163 | 口3 | ○ | △ | △ | △ | ナデ・指痕 | ハケ | ハケ後ナデ | ハケ・指痕 | | 淡橙灰褐 | 淡橙灰褐 | | 内外面口縁煤付着 | S55 |
| 66 | 2区 SD240 | 土師器 甕 | 226 | (91) | | | 198 | 口1 | ○ | | △ | △ | ナデ・ハケ | ナデ・ハケ | ナデ | ナデ | | 淡橙灰 | 淡橙灰 | | 外面煤付着 | S58 |
| 67 | 2区 SD240 | 土師器 甕 | 172 | (80) | | | 152 | 口2 | ○ | | △ | △ | ナデ・ハケ | ナデ・ハケ | ハケ後ナデ | ハケ後ナデ・指痕 | | 灰褐 | 淡茶褐 | | 外面口縁煤、内面胴部ヨゴレ付着 | S54 |
| 68 | 2区 SD240 | 土師器 甕 | 142 | (67) | | | 124 | 口2 | △ | | | | ナデ | ハケ | ナデ | ハケヵ | | 灰褐 | 灰褐 | | 外面煤付着 | S57 |
| 69 | 2区 SD240 | 土師器 甕 | 184 | (81) | | | 166 | 口2 | ○ | △ | △ | △ | ナデ | ハケ | ナデ | ナデ | | 淡灰褐 | 淡灰褐 | | 外面煤・内面一部ヨゴレ付着 | S56 |
| 70 | 2区 SD240 | 土師器 小甕 | 126 | 102 | 122 | 25 | 118 | 口3 | ○ | △ | △ | △ | ナデ | ハケ | ハケ | ハケ・ナデ | | 橙褐 | 淡灰褐 | | 河上層、外面一部・内面口縁に黒斑 | S53 |
| 71 | 2区 SD240 | 土師器 小甕 | 148 | 135 | 140 | 40 | 132 | 口5 | △ | | ○ | △ | ナデ | ケズリ・指痕 | ナデ | ナデ・ハケ | | 淡桃灰 | 淡桃灰 | | 外面一部黒斑、胴部焼成後穿孔 | S65 |
| 72 | 2区 SD240 | 土師器 甕 | 160 | (164) | 180 | | 148 | 口10 | ◎ | | ○ | | ナデ | ハケ | ナデ | ケズリ・ナデ | | 淡黄褐 | 淡黄褐 | | 外面煤、内面ヨゴレ付着 | TM127 |
| 73 | 2区 SD240 | 土師器 甕 | 168 | 290 | 288 | 100 | 163 | 底5 | ◎ | | ○ | △ | ハケ後ナデ | ハケ後ナデ | ケズリ後ナデ | ケズリ後ナデ | ナデ | 淡橙褐 | 灰黄褐 | | 外面煤、内面コゲ・ヨゴレ付着 | TM126 |
| 74 | 2区 SD240 | 土師器 甑 | 173 | (66) | | | | 口3 | ◎ | | ◎ | △ | ナデ | ハケ | ナデ | ケズリ | | | | | 鉄分付着 | FJ41 |
| 75 | 2区 SD240 | 土師器 甑 | 273 | (83) | | | | 口2 | ○ | | | | ナデ | ハケ | ナデ | ハケ | | 黄褐 | 黄褐 | | 上層 | OH29 |
| 76 | 2区 SD240 | 土師器 甑 | | (112) | | 90 | | 底6 | ○ | | ○ | | | ハケ | | ケズリ | | 黄橙褐 | 黄橙褐 | | | OH30 |
| 77 | 2区 SD240 | 土師器 鍋ヵ | | (76) | | 140 | | 底1 | △ | | | △ | | ハケ・ナデ・ケズリ | | ケズリ・ナデ | | 淡灰褐 | 淡灰褐 | | | F7 |
| 78 | 2区 SD240 | 土師器 甑 | | | | | | 口1 以下 | ○ | | | | ハケ後ナデ | ハケ後ナデ | ハケ後ナデ | ハケ | | 黄褐 | 茶褐 | | 外面煤、内面ヨゴレ付着 | OH33 |
| 79 | 2区 SD240 | 土師器 把手 | 長 63 | 幅 41 | 厚 31 | | | | ◎ | | △ | ○ | | | | | | 淡橙褐 | 淡橙灰褐 | | | FJ45 |
| 80 | 2区 SD240 | 土師器 把手 | 長 46 | 幅 29 | 厚 29 | | | | ◎ | | ○ | ○ | | ハケ・ナデ | | ハケ・ケズリ | | 淡桃灰褐 | 暗灰 | | | FJ42 |
| 81 | 2区 SD240 | 土師器 把手 | 長 64 | 幅 43 | 厚 40 | | | | ○ | | | | | | | ケズリ | | | | | 鉄分付着 | FJ44 |
| 82 | 2区 SD240 | 土師器 把手 | 長 63 | 幅 45 | 厚 38 | | | | ◎ | | △ | △ | | ナデヵ | | ケズリ | | 淡灰褐 | 淡灰褐 | | | FJ43 |
| 83 | 2区 SD240 | 土師器 小甕 | | (69) | | 53 | | 底12 | △ | △ | | △ | | ケズリ・ナデ | | ケズリ・ナデ | | 橙灰褐 | 橙灰褐 | | | F6 |
| 84 | 2区 SD240 | 土師器 碗 | 136 | (46) | | | | 口2 | ○ | △ | | △ | 横ナデ | ケズリヵ | ナデ | ナデ | | 橙灰褐 | 橙灰褐 | | | FJ39 |
| 85 | 2区 SD240 | 土師器 碗 | | | | | | 底2 | ○ | | | | 横ナデ | ケズリ・ナデ | ナデ | ナデ | | 淡橙褐 | 淡橙灰褐 | | | FJ40 |
| 86 | 2区 SD240 | 土師器 碗 | 125 | 35 | | 58 | | 口2 | ○ | | △ | ○ | ナデ | ナデ | ミガキ | ミガキ | | 灰褐 | 灰褐 | | 内外面赤彩ヵ | FJ37 |
| 87 | 2区 SD240 | 内黒 碗 | 137 | 45 | | 40 | | 底3 | ○ | | △ | | ハケ・ケズリ・ナデ | ハケ・ケズリ・ナデ | ナデ | ミガキ | | 灰褐 | 黒 | | 外面に黒斑 | FJ33 |
| 88 | 2区 SD240 | 内黒 碗 | 138 | (42) | | | | 口3 | | ○ | | △ | 横ナデ | ケズリ・ナデ | ミガキ | ミガキ | | 淡黄褐 | 黒 | | | FJ32 |
| 89 | 2区 SD240 | 内黒 碗 | 156 | 38 | | | | 口3 | △ | ○ | | △ | 横ナデ | ハケ・ナデ | ミガキ | ミガキ | | 灰褐 | 黒 | | 外面口縁黒斑 | FJ29 |
| 90 | 2区 SD240 | 内黒 碗 | 149 | 43 | | 65 | | 口3 | △ | ○ | | △ | 横ナデ | ナデ・ケズリ | ミガキ | ミガキ | | 灰褐 | 黒 | | 外面口縁黒斑、焼成後穿孔(1コ) | FJ30 |
| 91 | 2区 SD240 | 内黒 碗 | 126 | (30) | | | | 口1 | △ | ○ | | ○ | 横ナデ | ケズリ・ナデ | ミガキ | ミガキ | | 淡灰褐 | 黒 | | 外面口縁黒斑 | FJ34 |
| 92 | 2区 SD240 | 内黒 碗 | 160 | (52) | | | | 口1 | △ | ○ | | △ | 横ナデ | ケズリ・ナデ | ミガキ | ミガキ | | 灰褐 | 黒 | | 外面口縁黒斑 | FJ31 |
| 93 | 2区 SD240 | 土師器 碗 | 192 | (52) | | | | 口1 以下 | ○ | | | | ナデ・ミガキヵ | ナデ・ミガキヵ | ナデ・ミガキヵ | ナデ・ミガキヵ | | 淡橙灰褐 | 濃灰褐 | | 口縁内外面煤付着 | S64 |
| 94 | 2区 SD240 | 内黒 台付碗 | | (63) | | 78 | | 底1 | △ | | | △ | | ナデ・ケズリ | | ミガキ・ケズリ・ナデ | | 淡桃灰褐 | 黒 | | | FJ36 |
| 95 | 2区 SD240 | 内黒 台付碗 | | (53) | | 99 | | 底7 | △ | | | △ | | ナデ・ハケ | | ミガキ・ケズリ・ナデ | | 淡灰褐 | 黒 | | | FJ35 |
| 96 | 2区 SD240 | 土師器 手捏 | 34 | 24 | | 5 | | 口12 | ○ | △ | | | | | 指痕 | 指痕 | | 淡黄灰 | 淡黄灰 | | | E246 |
| 97 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 136 | 47 | | | | 口1 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ | 灰 | 暗灰 | | | S150 |
| 98 | 2区 SD244 | 須恵器 蓋 | 142 | 55 | | | | 口3 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ | 灰 | 淡灰 | | | S134 |
| 99 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 150 | (48) | | | | 口3 | △ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ | 白黄灰 | 白黄灰 | | | S137 |
| 100 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 142 | (57) | | | | 口3 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ | 暗灰 | 暗灰 | | | S138 |
| 101 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 144 | 43 | | | | 口1 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ | 灰 | 灰 | | | S133 |
| 102 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 142 | (46) | | | | 口3 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ | 灰 | 灰 | | 外面弱い沈線 | S129 |

## 第２表　土器・陶磁器観察表（３）

| 番号 | 遺構 | 器種 | 法量 | | | | | 遺存／12 | 胎土 | | | | 調整 | | | | | 色調 | | 産地 | 備考 | 実測番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 口径長 | 器高幅 | 胴径厚 | 底径摘径 | 頸径受径 | | 砂 | 骨 | 礫 | 赤 | 口縁外面 | 胴部外面 | 口縁内面 | 胴部内面 | 底部外面 | 外面 | 内面 | | | |
| 103 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 114 | 39 | | | | 口4 | △ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ヘラ起シ | 暗灰 | 淡灰 | | | S131 |
| 104 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 152 | 38 | | | | 口1 | △ | | △ | | ヘラ切り後ナデ | ヘラ切り後ナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | 淡灰 | 淡灰 | | 外面自然釉 | S130 |
| 105 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 142 | 42 | | | | 口5 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ヘラ起シ | 灰 | 灰 | | 外面自然釉 | S132 |
| 106 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 124 | 38 | | | | 口1以下 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ヘラ起シ・ナデ | 灰 | 灰 | | | S135 |
| 107 | 2区 SD240 | 須恵器 坏身 | 94 | (38) | | | 受116 | 口3 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | | 灰 | 灰 | | | S147 |
| 108 | 2区 SD240 | 須恵器 坏身 | | (47) | | | 受120 | 底7 | △ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ | 暗灰 | 暗灰 | | | S149 |
| 109 | 2区 SD240 | 須恵器 坏身 | 136 | 55 | | | 受156 | 口6 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ | 灰 | 灰 | | 重焼痕 | S141 |
| 110 | 2区 SD240 | 須恵器 坏身 | 132 | 49 | | | 受158 | 口4 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ | 灰 | 灰 | | | S142 |
| 111 | 2区 SD240 | 須恵器 坏身 | 115 | 42 | | | 受135 | 底12 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ | 暗灰 | 暗灰 | | | S143 |
| 112 | 2区 SD240 | 須恵器 坏身 | 98 | 35 | | | 受119 | 口12 | △ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・工具痕 | 暗灰 | 灰 | | 重焼痕 | S144 |
| 113 | 2区 SD240 | 須恵器 坏身 | 132 | 49 | | | 受152 | 口1以下 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ | 灰 | 灰 | | | S148 |
| 114 | 2区 SD240 | 須恵器 高坏ヵ | 112 | (34) | | | | 口2 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | | 暗灰 | 暗灰 | | 遺構外 Y14W と接合 | S140 |
| 115 | 2区 SD240 | 須恵器 壺・壺 | 132 | (46) | | | | 口1以下 | △ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | | 淡灰 | 白灰 | | | S139 |
| 116 | 2区 SD240 | 須恵器 壺 | | (73) | 197 | | 84 | 胴5 | ○ | | | | | ロクロナデ | | ロクロナデ | | 茶灰 | 褐灰 | | | OH74 |
| 117 | 2区 SD240 | 須恵器 壺 | | (66) | 167 | | | 胴3 | ○ | | | | | カキメ | | カキメ | | 淡灰 | 淡灰 | | | OH75 |
| 118 | 2区 SD240 | 須恵器 小壺 | | (85) | 124 | | 72 | 胴3 | ○ | | △ | | | ロクロナデ・ケズリ | | ロクロナデ・指痕 | | 灰 | 灰 | | | OH84 |
| 119 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 158 | 30 | | ツマミ31 | | 口8 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ | 暗茶灰 | 暗茶灰 | 末 | | E170 |
| 120 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 150 | 27 | | ツマミ33 | | 口3 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 内面墨痕 | E180 |
| 121 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 128 | 24 | | ツマミ27 | | 口1以下 | | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ケズリ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 内面線刻 | E177 |
| 122 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 126 | 22 | | ツマミ28 | | 口11 | ○ | | | △ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 淡灰白 | 淡灰白 | 高松 | 打欠、内面墨痕 | E183 |
| 123 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 119 | 28 | | ツマミ19 | | 口12 | ○ | | △ | △ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ケズリ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 打欠、内面ヘラ記号 | E178 |
| 124 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 123 | 24 | | ツマミ23 | | 口11 | ○ | | ○ | ○ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | 緑灰 | 赤灰 | 高松 | 打欠、内面ヘラ記号 | E179 |
| 125 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 136 | 28 | | ツマミ24 | | 口10 | ◎ | | ○ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ | 灰 | 灰 | 高松 | 打欠 | E188 |
| 126 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 130 | 22 | | ツマミ20 | | 口11 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | 淡灰 | 淡灰 | 高松 | | E172 |
| 127 | 2区 AA9 SD240 | 須恵器 蓋 | 138 | 21 | | ツマミ21 | | 口11 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ケズリ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | ２区 SD303と接合、打欠 | E190 |
| 128 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 122 | 34 | | ツマミ24 | | 口10 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ | 灰 | 灰 | 高松 | カワ上層と接合、打欠 | E189 |
| 129 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 170 | 19 | | ツマミ27 | | 口12 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 灰 | 末 | 内面付着物 | E169 |
| 130 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 126 | 27 | | ツマミ28 | | 口11 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | 灰褐 | 灰褐 | 末 | 打欠 | E174 |
| 131 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 150 | 27 | | ツマミ34 | | 口10 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 暗灰 | 暗灰 | 高松 | 打欠 | E187 |
| 132 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 140 | 29 | | ツマミ38 | | 口10 | ◎ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ | 暗灰 | 暗灰 | 高松 | 2区 SD244と接合 | E181 |
| 133 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 190 | 35 | | ツマミ30 | | 口10 | ○ | | ○ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ケズリ | 淡灰 | 淡灰 | 高松 | 2区 SK208と接合、打欠 | E186 |
| 134 | 2区 SD240 | 須恵器 蓋 | 204 | 31 | | ツマミ55 | | 口4 | ○ | | | | ロクロナデ | ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ | 灰 | 灰 | 末 | 2区 AA9SD303・SD303№145と接合 | E176 |
| 135 | 2区 SD240 | 須恵器 有台碗 | 114 | 38 | | 67 | | 口10 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 灰赤 | 灰赤 | 末 | №16、外面重焼痕 | S76 |
| 136 | 2区 SD240 | 須恵器 有台坏 | 141 | 41 | | 98 | | 口11 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | 暗灰 | 暗灰 | 高松 | 打欠 | FJ80 |
| 137 | 2区 SD240 | 須恵器 有台坏 | 154 | 38 | | 107 | | 口11 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | 暗灰 | 灰 | | 打欠 | FJ77 |
| 138 | 2区 SD240 | 須恵器 有台坏 | 138 | 47 | | 86 | | 底7 | ○ | | ○ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | 暗灰 | 褐灰 | 高松 | | FJ83 |
| 139 | 2区 SD240 | 須恵器 有台坏 | 136 | 47 | | 79 | | 底9 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | 灰 | 灰 | 高松ヵ | | TM176 |
| 140 | 2区 SD240 | 須恵器 有台坏 | 139 | 42 | | 85 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | 暗灰 | 暗灰 | | 底部外面墨痕ヵ | TM174 |
| 141 | 2区 SD240 | 須恵器 有台坏 | 146 | 43 | | 86 | | 底12 | ○ | △ | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | 灰 | 灰 | | 底部外面ヘラ記号 | TM175 |
| 142 | 2区 SD240 | 須恵器 有台坏 | 98 | 39 | | 74 | | 口3 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | 濃灰 | 濃灰 | 末 | | S80 |
| 143 | 2区 SD240 | 須恵器 有台坏 | 99 | 39 | | 79 | | 底12 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | | FJ76 |
| 144 | 2区 SD240 | 須恵器 有台坏 | 103 | 44 | | 76 | | 底11 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | 灰 | 灰 | | 底部外面ヘラ記号ヵ | TM169 |
| 145 | 2区 SD240 | 須恵器 有台坏 | 100 | 45 | | 68 | | 底11 | ○ | | ○ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | | TM150 |
| 146 | 2区 SD240 | 須恵器 有台坏 | 116 | 39 | | 73 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | 濃灰赤 | 濃灰赤 | 末 | | S78 |
| 147 | 2区 SD240 | 須恵器 有台坏 | 107 | 42 | | 76 | | 底10 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | | | | 底部外面ヘラ記号 | TM170 |
| 148 | 2区 SD240 | 須恵器 有台坏 | 102 | 42 | | 77 | | 底12 | ○ | △ | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | 暗灰 | 灰 | | | TM173 |
| 149 | 2区 SD240 | 須恵器 有台坏 | 108 | 44 | | 77 | | 底12 | ○ | | ○ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | 灰 | 白灰 | 高松 | 外面重焼痕 | TM146 |
| 150 | 2区 SD240 | 須恵器 有台坏 | 108 | 48 | | 72 | | 底12 | ◎ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 口縁部にヘラ記号・打欠 | TM147 |
| 151 | 2区 SD240 | 須恵器 有台坏 | 112 | 41 | | 84 | | 底11 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | 灰 | 灰白 | | 外面重焼痕 | TM171 |
| 152 | 2区 SD240 | 須恵器 有台坏 | 112 | 42 | | 80 | | 底6 | △ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | 灰 | 灰 | | 底部外面輪花状線刻、内面付着物（煤ヵ） | TM168 |
| 153 | 2区 SD240 | 須恵器 有台坏 | 112 | 44 | | 77 | | 口3 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | 白灰 | 白灰 | | | TM153 |
| 154 | 2区 SD240 | 須恵器 有台坏 | 117 | 39 | | 85 | | 口10 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | 灰 | 灰 | 末 | 2ヶ所打欠 | S79 |

## 第２表　土器・陶磁器観察表（４）

| 番号 | 遺構 | 器種 | 法量 | | | | | 遺存／12 | 胎土 | | | | 調整 | | | | | 色調 | | 産地 | 備考 | 実測番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 口径長 | 器高幅 | 胴径厚 | 底径摘径 | 頸径受径 | | 砂 | 骨 | 礫 | 赤 | 口縁外面 | 胴部外面 | 口縁内面 | 胴部内面 | 底部外面 | 外面 | 内面 | | | |
| 155 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 117 | 40 | | 75 | | 底12 | ◎ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 白灰 | 白灰 | 高松 | | TM149 |
| 156 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 118 | 39 | | 80 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ・工具痕 | 灰 | 灰 | 末 | 上層 | S81 |
| 157 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 115 | 46 | | 83 | | 底12 | ◎ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 打欠 | TM152 |
| 158 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 118 | 45 | | 66 | | 底12 | ○ | | ○ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | | TM151 |
| 159 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 118 | 39 | | 85 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 濃灰 | 灰 | 末 | 外面重焼痕 | S82 |
| 160 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 122 | 38 | | 90 | | 口6 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | 末 | | S77 |
| 161 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 118 | 38 | | 89 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 濃灰 | 濃灰 | 末 | | S75 |
| 162 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 120 | 45 | | 95 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ・工具痕 | 灰 | 灰 | 末 | 外面重焼痕 | S83 |
| 163 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 121 | 45 | | 90 | | 口11 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 灰 | 灰白 | | 底部外面ヘラ記号ヵ | TM172 |
| 164 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 118 | 42 | | 76 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 白灰 | | 底部外面ヘラ記号ヵ | TM148 |
| 165 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 132 | 44 | | 96 | | 口5 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 淡青灰 | 淡灰 | 末 | 外面重焼痕、底部外面墨痕ヵ | S74 |
| 166 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 124 | 44 | | 82 | | 口6 | ◎ | | ○ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 白灰 | 高松 | | TM154 |
| 167 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | | (40) | | 100 | | 底7 | ○ | | | | | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰褐 | 灰褐 | 末 | 河上層、底部外面灯明痕ヵ | S84 |
| 168 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 147 | 60 | | 93 | | 底12 | ○ | | ○ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 打欠 | FJ86 |
| 169 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 144 | 56 | | 86 | | 底12 | ○ | | ○ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 打欠ヵ | FJ85 |
| 170 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 146 | 60 | | 101 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | 末 | | S70 |
| 171 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 152 | 56 | | 110 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 淡灰 | 淡灰 | 末 | 底部外面ヘラ記号、外面重焼痕 | S71 |
| 172 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 150 | 62 | | 93 | | 口3 | ○ | | ○ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 打欠 | FJ82 |
| 173 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 148 | 65 | | 98 | | 底12 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 打欠 | FJ79 |
| 174 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 154 | 58 | | 95 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 暗灰 | 暗灰 | | 打欠 | FJ81 |
| 175 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 160 | 64 | | 109 | | 底12 | ○ | | ○ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 暗灰 | 暗灰 | 高松 | 底部外面ヘラ記号 | FJ84 |
| 176 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 154 | 57 | | 118 | | 口7 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ナデヵ | 灰 | 灰 | 末 | AA9SD222と接合、外面全体降灰 | S73 |
| 177 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 165 | 56 | | 116 | | 口11 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 灰 | 灰 | 辰口 or 高松 | 打欠 | FJ78 |
| 178 | 2区SD240 | 須恵器有台坏 | 158 | 60 | | 110 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 淡灰 | 淡灰 | 末 | 重焼痕、内外面付着物 | S72 |
| 179 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 114 | 28 | | 85 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 暗灰 | 暗灰 | 高松 | 重焼痕 | S95 |
| 180 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 110 | 35 | | 82 | | 底12 | ○ | ○ | ○ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 打欠、重焼痕 | FJ72 |
| 181 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 115 | 31 | | 80 | | 口6 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 暗灰 | 暗灰 | 高松 | 重焼痕 | FJ73 |
| 182 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 106 | 34 | | 81 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 濃灰 | 濃灰 | 高松 | | S88 |
| 183 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 112 | 33 | | 74 | | 底12 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 淡褐灰 | 淡褐灰 | 高松ヵ | 底部外面墨痕ヵ | FJ75 |
| 184 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 120 | 34 | | 84 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 淡灰 | 淡灰 | 高松 | 重焼痕 | S109 |
| 185 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 125 | 30 | | 87 | | 底6 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 淡灰褐 | 淡灰褐 | 高松ヵ | 底部外面墨痕ヵ | FJ74 |
| 186 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 122 | 31 | | 94 | | 底12 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 重焼痕 | E152 |
| 187 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 120 | 32 | | 84 | | 底10 | △ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰白 | 灰白 | 末 | | TM187 |
| 188 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 124 | 35 | | 92 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰白 | 灰白 | 高松 | | S98 |
| 189 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 120 | 31 | | 90 | | 底12 | △ | △ | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰白 | 灰白 | 末 | №1、重焼痕 | TM158 |
| 190 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 123 | 35 | | 56 | | 口12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 淡橙灰 | 暗灰褐 | 高松 | 重焼痕 | E141 |
| 191 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 116 | 34 | | 74 | | 底12 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 淡灰 | 淡灰 | 高松 | 重焼痕 | S93 |
| 192 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 122 | 28 | | 91 | | 底12 | △ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ | 淡黄灰 | 淡黄灰 | 高松 | 底部外面ヘラ記号 | E142 |
| 193 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 118 | 33 | | 89 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 暗灰 | 暗灰 | 高松 | | S94 |
| 194 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 121 | 35 | | 94 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 淡橙褐 | 淡橙褐 | 高松 | 重焼痕 | E148 |
| 195 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 118 | 32 | | 86 | | 底12 | △ | ◎ | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ | 灰 | 灰 | 高松 | №2、打欠 | FJ71 |
| 196 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 124 | 34 | | 90 | | 底12 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 打欠、重焼痕、内面煤付着 | S105 |
| 197 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 123 | 37 | | 94 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 淡灰 | 淡灰 | 高松 | 内面3ヵ所灯明痕ヵ | E149 |
| 198 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 118 | 40 | | 86 | | 底12 | △ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 白灰 | 白灰 | 末 | 重焼痕 | TM167 |
| 199 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 122 | 36 | | 88 | | 口5 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 淡灰 | 淡灰 | 高松 | | S110 |
| 200 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 120 | 40 | | 86 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 淡灰 | 淡灰 | 高松 | 打欠、重焼痕 | S104 |
| 201 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 116 | 39 | | 90 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰白 | 灰白 | 高松 | 打欠、重焼痕 | S111 |
| 202 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 116 | 33 | | 87 | | 底8 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 打欠 | S108 |
| 203 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 121 | 38 | | 84 | | 口12 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | | 打欠、重焼痕 | E155 |
| 204 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 120 | 42 | | 86 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰白 | 灰白 | 高松 | | S103 |
| 205 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 114 | 39 | | 82 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 重焼痕 | S89 |
| 206 | 2区SD240 | 須恵器無台坏 | 116 | 37 | | 86 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 重焼痕 | S96 |

## 第２表　土器・陶磁器観察表（５）

| 番号 | 遺構 | 器種 | 法量 | | | | | 遺存／12 | 胎土 | | | | 調整 | | | | | 色調 | | 産地 | 備考 | 実測番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 口径長 | 器高幅 | 胴径厚 | 底径摘径 | 頸径受径 | | 砂 | 骨 | 礫 | 赤 | 口縁外面 | 胴部外面 | 口縁内面 | 胴部内面 | 底部外面 | 外面 | 内面 | | | |
| 207 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 124 | 37 | | 87 | | 底6 | ○ | △ | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 重焼痕 | S107 |
| 208 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 118 | 37 | | 88 | | 底12 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 淡灰 | 淡灰 | 高松 | 重焼痕、底部外面工具痕 | S86 |
| 209 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 121 | 36 | | 86 | | 口12 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 淡黄灰 | 淡黄灰 | 高松 | 重焼痕 | E147 |
| 210 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 122 | 32 | | 82 | | 口6 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 2区遺構外 Y14Wと接合、重焼痕 | E146 |
| 211 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 118 | 36 | | 92 | | 口7 | ○ | △ | ○ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 暗灰 | 暗灰 | 高松 | 重焼痕 | E151 |
| 212 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 116 | 39 | | 90 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 淡灰白 | 淡灰白 | 高松 | 内外面煤付着、重焼痕 | E143 |
| 213 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 116 | 33 | | 90 | | 底12 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 淡灰黄 | 淡灰黄 | 高松 | 重焼痕、見込墨痕 | E144 |
| 214 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 117 | 49 | | 86 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 淡灰 | 淡灰 | 高松 | 重焼痕<br>内外面に灯明痕 | E154 |
| 215 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 122 | 38 | | 85 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 内外面吹出物 | S97 |
| 216 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 129 | 39 | | 86 | | 底12 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 淡黄灰 | 淡黄灰 | 高松 | | E145 |
| 217 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 130 | 36 | | 82 | | 口12 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 淡灰褐 | 淡灰褐 | 高松 | | S102 |
| 218 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 136 | 40 | | 92 | | 底12 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 淡黄灰 | 淡黄灰 | 高松 | 内外面灯明痕 | E150 |
| 219 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 118 | 35 | | 86 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰白 | 灰白 | | 重焼痕、内外面灯明痕 | S126 |
| 220 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 120 | 35 | | 83 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰赤 | 灰赤 | 高松 | 底部外面ヘラ記号「十」 | S85 |
| 221 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 120 | 36 | | 80 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 淡灰 | 灰 | 高松 | 重焼痕、底部外面ヘラ記号「十」 | S106 |
| 222 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 114 | 38 | | 80 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 白灰 | 灰 | 末 | | TM166 |
| 223 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 110 | 41 | | 82 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 白灰 | 白灰 | 高松 | 底部外面にヘラ記号ヵ | S91 |
| 224 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 110 | 37 | | 80 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 重焼痕、底部外面ヘラ記号「一」<br>内面灯明痕 | S90 |
| 225 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 112 | 34 | | 78 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 重焼痕、底部外面ヘラ記号「一」 | S92 |
| 226 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 108 | 38 | | 78 | | 口8 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | | 内外面灯明痕、打欠 | S127 |
| 227 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 110 | 39 | | 80 | | 口4 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 重焼痕 | S87 |
| 228 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 122 | 37 | | 96 | | 底12 | △ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 淡灰黄 | 淡灰黄 | | 重焼痕、内外面漆付着 | E243 |
| 229 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 114 | 38 | | 76 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 淡灰黄 | 淡灰黄 | | 底部外面ヘラ記号「一」、内外面漆付着 | E242 |
| 230 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 121 | 28 | | 80 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 緑灰 | 緑灰 | 高松 | 重焼痕 | E153 |
| 231 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 130 | 35 | | 87 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 白灰 | 白灰 | 末 | 重焼痕 | TM164 |
| 232 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 125 | 34 | | 84 | | 口5 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | 末 | | TM163 |
| 233 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 126 | 40 | | 92 | | 底10 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 白灰 | 白灰 | 高松 | 重焼痕 | S99 |
| 234 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 126 | 39 | | 87 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 白灰 | 白灰 | 末 | 重焼痕 | TM155 |
| 235 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 127 | 30 | | 80 | | 底12 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 淡褐灰 | 淡褐灰 | 末ヵ | | TM165 |
| 236 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 136 | 34 | | 86 | | 底8 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 灰 | 灰 | 高松 | 胴部・底部外面煤 or 灯明痕ヵ | S100 |
| 237 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 126 | 39 | | 64 | | 底9 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 灰白 | 灰白 | 高松 | 重焼痕 | S101 |
| 238 | 2区 SD240 | 須恵器 無台坏 | 128 | 41 | | 72 | | 口3 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 白灰 | 白灰 | | 内外面吹出物 | S136 |
| 239 | 2区 SD240 | 須恵器 盤 | 155 | 24 | | 110 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 白灰 | 白灰 | 末ヵ | 重焼痕 | TM162 |
| 240 | 2区 SD240 | 須恵器 盤 | 160 | 22 | | 130 | | 底7 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 灰 | 灰 | 末 | 底部外面工具痕 | TM157 |
| 241 | 2区 SD240 | 須恵器 盤 | 160 | 25 | | 136 | | 底8 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 白灰 | 白灰 | 末 | 重焼痕 | TM160 |
| 242 | 2区 SD240 | 須恵器 盤 | 160 | 24 | | 136 | | 底9 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 白灰 | 白灰 | 末 | 2区 SD303 2区№50接合、重焼痕 | TM161 |
| 243 | 2区 SD240 | 須恵器 盤 | 144 | 20 | | 118 | | 底9 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | 末 | 上層、重焼痕 | TM156 |
| 244 | 2区 SD240 | 赤彩 無台碗 | 135 | 39 | | 70 | | 口3 | △ | | | | ミガキ | ミガキ | ミガキ | ミガキ | | 暗赤褐 | 暗赤褐 | | | E235 |
| 245 | 2区 SD240 | 赤彩 無台碗 | 150 | 47 | | 56 | | 底10 | △ | | | | ミガキヵ | ミガキヵ | ミガキヵ | ミガキヵ | マメツ | 赤褐 | 赤褐 | | | E237 |
| 246 | 2区 SD240 | 赤彩 無台碗 | 176 | 57 | | 80 | | 底12 | △ | | △ | | ミガキ | ミガキ | ミガキ | ミガキ | | 赤褐 | 赤褐 | | | E236 |
| 247 | 2区 SD240 | 土師器 無台碗 | | (14) | | 46 | | 底12 | ○ | | △ | △ | | ナデ | | ナデ | 糸切リ | 淡橙黄 | 淡橙黄 | | | E247 |
| 248 | 2区 SD240 | 土師器 柱高台碗 | | (22) | | 56 | | 底12 | △ | △ | △ | | | ナデ | | ナデ | 糸切リ | 淡橙褐 | 淡橙褐 | | | E248 |
| 249 | 2区 SD240 | 内黒 有台碗 | | (21) | | 64 | | 底12 | △ | | | △ | | ナデ | | ミガキヵ | マメツ | 暗黄褐 | 黒 | | 外面煤付着ヵ | E238 |
| 250 | 2区 SD240 | 内黒 有台碗 | | (27) | | 76 | | 底1以下 | △ | | | | | ナデ | | ミガキ | | 黄褐 | 黒 | | 外面鉄分付着 | E239 |
| 251 | 2区 SD240 | 内黒 有台碗 | | (40) | | 66 | | 底12 | ○ | | | ○ | | ナデ | | ミガキ | 糸切リ | 淡黄褐 | 黒 | | | E240 |
| 252 | 2区 SD240 | 土師器 甕 | 168 | (150) | 178 | | 140 | 口1 | ○ | | △ | △ | ナデ | カキメ | ナデ | ナデ<br>ヨゴレ | | 淡褐灰 | 淡橙 | | | S37 |
| 253 | 2区 SD240 | 土師器 甕 | | (64) | | 78 | | 底6 | ◎ | △ | | △ | | ハケヵ | | ナデ | マメツ | 淡橙灰 | 淡黄白 | | 内外面煤付着、底部内面炭化物付着 | E251 |
| 254 | 2区 SD240 | 土師器 甕 | 112 | (50) | 114 | | 102 | 口4 | ○ | | △ | △ | ハケ | ハケヵ | ナデ | ナデ | | 淡橙灰 | 淡灰褐 | | 内外面煤付着 | S124 |
| 255 | 2区 SD240 | 土師器 甕 | | (25) | | 84 | | 底8 | △ | | △ | ○ | | | | ナデ | 糸切リ | 橙褐 | 橙褐 | | 底部内面コゲ・外面灯明痕ヵ | E244 |
| 256 | 2区 SD240 | 土師器 甕 | 160 | (66) | | | 148 | 口3 | ○ | | ○ | △ | ナデ | カキメ後ケズリ | マメツ | ハケヵ | | 淡灰褐 | 淡灰褐 | | 内外面口縁煤付着 | S43 |

## 第２表　土器・陶磁器観察表（６）

| 番号 | 遺構 | 器種 | 法量 | | | | | 遺存／12 | 胎土 | | | | 調整 | | | | | 色調 | | 産地 | 備考 | 実測番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 口径長 | 器高幅 | 胴径厚 | 底径摘径 | 頸径受径 | | 砂 | 骨 | 礫 | 赤 | 口縁外面 | 胴部外面 | 口縁内面 | 胴部内面 | 底部外面 | 外面 | 内面 | | | |
| 257 | 2区 SD240 | 土師器甕 | 216 | (69) | | | 188 | 口1 | ○ | | △ | △ | ナデ | カキメ | ナデ | カキメ | | 淡灰褐 | 淡灰褐 | | 外面煤付着 | S38 |
| 258 | 2区 SD240 | 土師器甕 | 226 | (79) | | | 178 | 口3 | ○ | | ○ | △ | ナデ | カキメ | ナデ・カキメ | ナデ・カキメ | | 淡橙灰 | 淡橙灰 | | 外面一部煤付着 | S39 |
| 259 | 2区 SD240 | 土師器鍋 | | | | | | 口1以下 | △ | | | | ナデ | カキメ | ナデ | ナデ | | 淡灰 | 淡灰 | | 2区 AA9SD222と接合 | E136 |
| 260 | 2区 SD240 | 土師器鍋 | 310 | (97) | | | | 口1 | ○ | | ○ | △ | ナデ | カキメ | ナデ・カキメ | ナデ・カキメ | | 淡桃灰 | 淡桃灰 | | | S41 |
| 261 | 2区 SD240 | 土師器鍋 | 330 | (80) | | | 320 | 口1 | ○ | | △ | △ | ナデ | カキメ | ナデ | カキメ$_{ヵ}$ | | 淡桃白灰 | 淡桃白灰 | | | S42 |
| 262 | 2区 SD240 | 土師器鍋 | 350 | (89) | | | | 口2 | ○ | | △ | △ | ナデ | カキメ | ナデ・ハケ | カキメ・ハケ | | 淡橙灰 | 淡橙灰 | | 外面煤・内面ヨゴレ付着 | S40 |
| 263 | 2区 SD240 | 須恵器高坏 | | (94) | | | | 頸12 | ○ | | | | | ナデ | | ナデ | | 灰 | 灰 | | 裾端部全周打欠 | E138 |
| 264 | 2区 SD240 | 須恵器鉄鉢 | 176 | 90 | 190 | 60 | | 底12 | ○ | | | | ロクロナデ | ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | 糸切り | 灰 | 灰 | | | E137 |
| 265 | 2区 SD240 | 須恵器長頸瓶 | | (125) | | | 50 | 頸12 | △ | △ | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ・工具痕・指痕 | | 灰 | 灰 | | 2区 AA9SD222、1区 ST203と接合 | FJ67 |
| 266 | 2区 SD240 | 須恵器長頸瓶 | | (145) | | | 53 | 頸12 | ◎ | | | | | ロクロナデ・工具痕$_{ヵ}$ | | ロクロナデ | | 暗灰 | 暗灰 | | | E139 |
| 267 | 2区 SD240 | 須恵器壺・瓶 | | (98) | 220 | 143 | 87 | 底2 | ○ | | △ | | | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切り・ナデ | 灰白 | 灰白 | | カワ上層 | E135 |
| 268 | 2区 SD240 | 須恵器壺・瓶 | | (113) | 214 | 130 | | 底6 | △ | | | | | ロクロナデ | | ロクロナデ | ナデ | 灰褐 | 灰褐 | | | E134 |
| 269 | 2区 SD240 | 須恵器壺 | | (85) | | | 87 | 頸1 | △ | | | | | ロクロナデ | | カキメ | | 淡灰 | 淡灰 | | | E140 |
| 270 | 2区 SD240 | 須恵器甕 | 155 | (176) | 253 | | 144 | 口1 | ○ | | △ | | ロクロナデ | カキメ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | | 暗灰 | 灰 | | | OH87 |
| 271 | 2区 SD240 | 須恵器甕 | | | | | | 口1以下 | △ | | △ | | ロクロナデ | タタキ | ロクロナデ | タタキ | | 灰 | 暗灰 | | | OH90 |
| 272 | 2区 SD240 | 須恵器甕 | 264 | (74) | | | 230 | 口1 | ○ | | △ | | ロクロナデ・タタキ後ナデ | カキメ後タタキ | ロクロナデ | タタキ | | 灰 | 灰 | | | OH92 |
| 273 | 2区 SD240 | 須恵器甕 | 244 | (140) | | | 212 | 口2 | ○ | | △ | | ロクロナデ | タタキ | ロクロナデ | タタキ | | 灰 | 灰 | | | OH91 |
| 274 | 2区 SD240 | 須恵器壺 | | | | | | 口1 | ◎ | | ◎ | | ロクロナデ・波状文 | | ロクロナデ | | | 暗灰 | 灰 | | | OH89 |
| 275 | 2区 SD240 | 須恵器壺 | | | | | | 口1以下 | △ | | △ | | ロクロナデ・波状文 | | ロクロナデ | | | 灰 | 灰 | | | OH88 |
| 276 | 2区 SD240 | 須恵器甕 | | | | | | 口1以下 | ○ | | ○ | | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 灰 | 灰 | | | OH93 |
| 277 | 2区 SD240 | 土師器台付皿 | 90 | 47 | | 56 | | 底11 | △ | | | △ | ナデ | 指痕 | ナデ | シボリ・ハケ | | 淡桃黄 | 淡桃黄 | | | E241 |
| 278 | 2区 SD240 | 土師器皿 | 110 | 20 | | 60 | | 口2 | △ | | | | 横ナデ・面トリ | | ナデ | 指痕 | | 淡黄灰 | 淡黄灰 | | 内外面に灯明痕 | E249 |
| 279 | 2区 SD240 | 土師器皿 | 124 | 23 | | 70 | | 口2 | △ | | | △ | 横ナデ | 指痕 | ハケ後ナデ | | | 淡灰褐 | 淡橙灰 | | | E279 |
| 280 | 2区 SD240 | 土師器皿 | 156 | 29 | | 120 | | 口2 | △ | △ | | ○ | 横ナデ | | ナデ | | | 淡灰橙 | 淡灰橙 | | 内外面に灯明痕 | E245 |
| 281 | 2区主 Y12 SD240 | 磁器碗 | | | | | | 口1以下 | | | | | | | | | | 青磁釉 | 青磁釉 | | 胎土色灰色 | E160 |
| 282 | 2区 SD240 | 磁器碗 | | | | | | 口1以下 | | | | | | | | | | 青磁釉 | 青磁釉 | | 胎土色灰白色 | E159 |
| 283 | 2区主 Y12 SD240 | 磁器碗 | | (26) | | 62 | | 底8 | | | | | | | | | | 青磁釉 | 青磁釉 | | 胎土色淡灰色、外面、底部無釉 | E157 |
| 284 | 2区 SD240 | 白磁皿 | 114 | 27 | | 44 | | 底3 | | | | | | | | | 糸切り | 透明釉 | 透明釉 | | 胎土色灰白色、底部無釉、貫入 | E156 |
| 285 | 2区 SD240 | 陶器瓶子 | 40 | (30) | | | | 口2 | | | | | | | | | | 灰釉 | 灰釉無釉 | 瀬戸 | 胎土色淡灰黄色、口縁部無釉 | E158 |
| 286 | 2区 SD240 | 珠洲壺 | | (156) | 180 | 74 | | 底4 | △ | | | | | ロクロナデ・波状文・指痕 | | ロクロナデ | | 暗灰 | 暗灰 | | | E161 |
| 287 | 2区主 Y12 SD240 | 珠洲甕 | | | | | | 口1以下 | ○ | △ | △ | | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 灰 | 灰 | | | E165 |
| 288 | 2区 SD240 | 珠洲甕 | 334 | (266) | 456 | | 330 | 口2 | ○ | | △ | | ロクロナデ | タタキ | ロクロナデ | タタキ | | 灰 | 灰 | | | E166 |
| 289 | 2区 SD240 | 珠洲甕 | | | | | | 底1以下 | ◎ | △ | | | | タタキ・ナデ | | ナデ | | 灰 | 灰 | | 20と同一$_{ヵ}$ | E164 |
| 290 | 2区 SD240 | 珠洲鉢 | | | | | | 口1以下 | △ | △ | | | ロクロナデ | | ロクロナデ | | | 灰 | 灰 | | | E162 |
| 291 | 2区 SD244 | 土師器壺 | 94 | (77) | | | 54 | 口11 | △ | ◎ | △ | △ | ミガキ | ミガキ | ナデ・ミガキ | ナデ・指痕 | | 淡橙灰 | 暗灰褐 | | 体部断面全周打欠$_{ヵ}$ | TM108 |
| 292 | 2区 SD244 | 土師器壺 | 128 | (50) | | | 91 | 口8 | ○ | | △ | △ | ミガキ | ミガキ | ナデ | ハケ後ナデ・指痕 | | 淡黄褐 | 淡黄褐 | | | TM109 |
| 293 | 2区 SD244 | 土師器壺 | | | | | | 口1以下 | ◎ | | | ◎ | ナデ$_{ヵ}$・竹管文 | | ナデ$_{ヵ}$ | | | 明橙黄 | 明橙黄 | | | E102 |
| 294 | 2区 SD244 | 土師器甕 | 182 | (59) | | | 159 | 口2 | ◎ | ○ | △ | △ | ハケ後ナデ | ハケ | ハケ後ナデ | ハケ | | 淡橙桃 | 淡黄茶褐 | | 内面黒斑・煤付着 | E94 |
| 295 | 2区 SD244 | 土師器壺 | | (97) | | | 84 | 頸4 | ○ | | | ○ | | ハケ後ナデ・ハケ | | ナデ・ケズリ | | 明橙褐 | 淡黄褐 | | | E85 |
| 296 | 2区 SD244 | 土師器壺 | 166 | (63) | | | 117 | 口2 | ◎ | ○ | ◎ | △ | ミガキ | ハケ後ミガキ | ミガキ | ハケ後ミガキ・ハケ後ナデ | | 淡黄褐 | 淡黄褐 | | | TM110 |
| 297 | 2区 SD244 | 土師器壺 | 174 | (61) | | | 116 | 口8 | ◎ | | ◎ | | ナデ・ハケ後ミガキ$_{ヵ}$ | | ハケ後ミガキ$_{ヵ}$ | | | 淡褐 | 淡褐 | | | TM111 |
| 298 | 2区 SD244 | 土師器甕 | 142 | (47) | | | 124 | 口2 | ○ | △ | | △ | ナデ | ハケ | ナデ・指痕 | ケズリ | | 淡桃褐 | 淡桃灰褐 | | 外面煤付着 | S36 |
| 299 | 2区 SD244 | 土師器壺 | 176 | (71) | | | 134 | 口2 | ◎ | | △ | ○ | ハケ後ナデ | | ハケ | | | 淡黄桃 | 淡黒褐 | | | E93 |
| 300 | 2区 SD244 | 土師器甕 | 124 | (52) | | | 110 | 口3 | ○ | | | △ | ナデ・ハケ | ナデ・ハケ | ハケ後ナデ | ケズリ | | 茶褐 | 淡灰褐 | | 外面煤付着 | S31 |
| 301 | 2区 SD244 | 土師器壺 | 130 | (72) | | | 96 | 口2 | ◎ | | | ◎ | ナデ・ハケ | ハケ | ハケ後ナデ | ハケ・ケズリ | | 桃褐 | 明黄褐 | | 内面黒斑 | E84 |
| 302 | 2区 SD244 | 土師器甕 | 160 | (50) | | | 126 | 口5 | ○ | | | △ | ハケ・指痕 | ハケ | ハケ・指痕 | ハケ | | 淡黄褐 | 淡黄褐 | | 外面煤付着 | E90 |
| 303 | 2区 SD244 | 土師器甕 | 184 | (51) | | | 150 | 口2 | ○ | | | △ | ナデ | | ハケ後ナデ | | | 黄茶褐 | 暗黄褐 | | 外面煤付着 | E87 |
| 304 | 2区 SD244 | 土師器壺 | 176 | (70) | | | 160 | 口1以下 | ◎ | | | ○ | ナデ | ハケ | ナデ | ケズリ | | 淡橙褐 | 淡橙褐 | | 外面煤付着 | E88 |
| 305 | 2区 SD244 | 土師器甕 | 340 | (83) | | | | 口1以下 | △ | | | | ナデ・ハケ後ナデ | | ナデ | | | 淡黄灰褐 | 黒褐 | | | E97 |
| 306 | 2区 SD244 | 土師器甕 | 227 | (65) | | | 176 | 口3 | ○ | | ○ | | ナデ | ハケ | ナデ | ハケ後ナデ・ケズリ | | 橙褐 | 橙褐 | | 外面煤付着 | OH38 |
| 307 | 2区 SD244 | 土師器甕 | 160 | (63) | | | 142 | 口5 | ○ | | | ○ | ナデ | ハケ | ナデ | ケズリ | | 淡黄桃 | 淡黄桃 | | 外面黒斑 | E99 |

## 第２表　土器・陶磁器観察表（７）

| 番号 | 遺構 | 器種 | 法量 | | | | | 遺存／12 | 胎土 | | | | 調整 | | | | | 色調 | | 産地 | 備考 | 実測番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 口径長 | 器高幅 | 胴径厚 | 底径摘径 | 頸径受径 | | 砂 | 骨 | 礫 | 赤 | 口縁外面 | 胴部外面 | 口縁内面 | 胴部内面 | 底部外面 | 外面 | 内面 | | | |
| 308 | 2区SD244 | 土師器甕 | 192 | (94) | | | 160 | 口4 | ◎ | | ◎ | | ハケ後ナデ | ハケ | ナデ・ケズリ後ナデ | ケズリ | | 黄褐 | 褐灰 | | 外面煤付着 | TM61 |
| 309 | 2区SD244 | 土師器甕 | 193 | (92) | | | 166 | 口3 | ○ | | ○ | | ナデ | ハケ | ハケ後ナデ・ハケ | ハケ | | 淡灰褐 | 淡灰褐 | | 外面煤付着 | OH35 |
| 310 | 2区SD244 | 土師器甕 | 200 | (64) | | | 168 | 口1 | ◎ | △ | △ | △ | ナデ | ハケ | ナデ | ハケ | | 淡灰褐 | 淡灰褐 | | | S35 |
| 311 | 2区SD244 | 土師器甕 | 182 | (83) | | | 163 | 口1以下 | △ | | | | ハケ後ナデ | ハケ | ハケ後ナデ | ケズリ | | 淡黄茶褐 | 淡茶褐 | | | E96 |
| 312 | 2区SD244 | 土師器甕 | 197 | (57) | | | 175 | 口5 | △ | | ○ | △ | ハケ後ナデ | ハケ | ナデ | ケズリ | | 淡橙褐 | 淡橙褐 | | 内面ヨゴレ付着 | OH36 |
| 313 | 2区SD244 | 土師器甕 | 186 | (71) | | | 164 | 口7 | ◎ | | ◎ | △ | ナデ | ハケ | ハケ後ナデ | ケズリ後ナデ・ナデ | | 淡灰褐 | 灰褐 | | 2区 SD222と接合、外面一部煤付着 | TM59 |
| 314 | 2区SD244 | 土師器甕 | 139 | (52) | | | 116 | 口11 | ○ | ◎ | ○ | △ | ナデ | ハケ | ナデ | ハケ | | 淡橙褐 | 淡橙褐 | | 外面煤付着 | OH34 |
| 315 | 2区SD244 | 土師器甕 | 208 | (75) | | | 178 | 口2 | ○ | | ○ | △ | ナデ | ハケ | ナデ | ケズリ | | 淡桃灰褐 | 淡桃灰褐 | | 外面煤付着 | FJ21 |
| 316 | 2区SD244 | 土師器甕 | 126 | (94) | | | 110 | 口2 | △ | | | | ハケ後ナデ | ハケ | ナデ | ケズリ後ナデ | | 淡灰褐 | 淡灰褐 | | | E95 |
| 317 | 2区SD244 | 土師器甕 | 148 | (105) | 169 | | 135 | 口4 | ◎ | ○ | ◎ | △ | ナデ | ケズリ後ハケ | ナデ | ケズリ後ハケ・ケズリ | | 桃灰褐 | 灰褐 | | 外面一部黒斑、内面ヨゴレ・コゲ付着 | FJ23 |
| 318 | 2区SD244 | 土師器甕 | 174 | (69) | | | 154 | 口3 | ○ | ○ | △ | ◎ | ナデ | ハケ | ナデ | ナデ | | 淡橙灰褐 | 桃灰褐 | | | FJ22 |
| 319 | 2区SD244 | 土師器甕 | 142 | (63) | | | 127 | 口10 | △ | | ○ | | ハケ | ハケ | ハケ後ナデ | ハケ・ハケ後ナデ | | 淡橙褐 | 淡橙褐 | | 内面ヨゴレ付着 | OH39 |
| 320 | 2区SD244 | 土師器甕 | 188 | (86) | | | 156 | 口2 | ○ | | △ | ○ | ナデ | ハケ | ナデ | ナデ・指痕ケズリ | | 淡橙 | 淡橙 | | | S34 |
| 321 | 2区SD244 | 土師器甕 | 158 | (53) | | | 124 | 口2 | ○ | | △ | △ | ナデ | ナデ | ナデ | ケズリ | | 淡橙灰褐 | 淡橙灰褐 | | 外面煤付着 | S32 |
| 322 | 2区SD244 | 土師器甕 | 156 | (56) | | | 124 | 口2 | ◎ | | △ | △ | ナデ | ハケ | ナデ | ケズリ | | 暗茶褐 | 暗茶褐 | | | E101 |
| 323 | 2区SD244 | 土師器甕 | 166 | (52) | | | 136 | 口2 | ◎ | | △ | ○ | ナデ | ハケ | ナデ | ケズリ | | 淡桃茶褐 | 淡桃茶褐 | | 外面煤付着 | E91 |
| 324 | 2区SD244 | 土師器小甕 | 132 | 136 | 135 | 17 | 107 | 口7 | ○ | △ | ◎ | | ナデ | ケズリ後ナデ | ナデ | ハケ後ナデ | | 淡黄褐 | 淡黄褐 | | 外面煤・内面ヨゴレ・コゲ付着 | TM84 |
| 325 | 2区SD244 | 土師器甕 | 134 | (193) | 212 | | 103 | 口5 | ○ | | ○ | | ナデ | ハケ後ナデ・ケズリ後ナデ | ナデ | ケズリ後ナデ | | 橙褐 | 橙褐 | | 外面煤、内面にヨゴレ・コゲ付着 | TM83 |
| 326 | 2区SD244 | 土師器甕 | 222 | (68) | | | 171 | 口1以下 | ○ | | △ | △ | ハケ後ナデ | ハケ | ハケ後ナデ | ケズリ | | 淡桃褐 | 淡桃黄 | | | E92 |
| 327 | 2区SD244 | 土師器甕 | 197 | (72) | | | 152 | 口2 | △ | | △ | △ | ナデ・指痕 | ケズリ後ナデ | ハケ | ナデ | | 暗橙褐 | 暗橙褐 | | 外面煤・内面ヨゴレ付着 | E93 |
| 328 | 2区SD244 | 土師器甕 | 158 | (62) | | | 126 | 口3 | △ | △ | | △ | ナデ | ハケ | ナデ | ナデ | | 淡桃黄 | 淡桃黄 | | 内面黒斑 | E100 |
| 329 | 2区SD244 | 土師器甕 | 156 | (122) | 174 | | 141 | 口2 | ○ | ○ | △ | △ | ナデ | ハケ | ナデ | ケズリ | | 淡黄橙褐 | 淡黄橙褐 | | | TM82 |
| 330 | 2区SD244 | 土師器甕 | 156 | (259) | 221 | | 135 | 口5 | ◎ | | ◎ | △ | ナデ | ハケ | ナデ | ケズリ | | 淡黄褐 | 淡黄褐 | | 外面煤・内面ヨゴレ付着 | TM81 |
| 331 | 2区SD244 | 土師器甕 | 216 | (75) | | | 186 | 口2 | ○ | △ | | | ハケ後ナデ | ハケ | ハケ後ナデ | ケズリ | | 淡黄褐 | 黒褐 | | 外面煤・内面ヨゴレ付着・黒斑 | E89 |
| 332 | 2区SD244 | 土師器甕 | 152 | (159) | 178 | | 145 | 口2 | ○ | | ○ | △ | ナデ | ハケ | ハケ | ハケ・ハケ後ナデ | | 暗褐 | 暗褐 | | 外面煤・内面ヨゴレ付着 | TM62 |
| 333 | 2区SD244 | 土師器小甕 | 108 | (52) | | | 100 | 口7 | △ | | △ | △ | ハケ後ミガキ | ハケ後ミガキ | ハケ後ナデ | ケズリ | | 灰褐 | 灰褐 | | 外面煤・内面煤・ヨゴレ付着 | FJ24 |
| 334 | 2区SD244 | 土師器甕 | 132 | (76) | | | 126 | 口1 | ○ | | ○ | | ナデ | ハケ | ナデ | ケズリ | | 灰茶褐 | 灰茶褐 | | 内外面煤付着 | S33 |
| 335 | 2区SD244 | 土師器甕 | 164 | (214) | 260 | | 150 | 口5 | ◎ | △ | ○ | ○ | ナデ | ハケ | ハケ後ナデ | ケズリ後ナデ | | 淡黄褐 | 淡黄褐 | | 外面煤・内面煤・ヨゴレ付着 | TM85 |
| 336 | 2区SD244 | 土師器甕 | 138 | (84) | 166 | | 130 | 口4 | ◎ | ◎ | ◎ | △ | ナデ | ハケ | ハケ後ナデ | ケズリ後ナデ | | 橙褐 | 淡褐 | | | TM60 |
| 337 | 2区SD244 | 土師器甕 | 231 | (92) | | | 226 | 口4 | | △ | | ◎ | ハケ | ハケ | ハケ | ケズリ | | 淡橙褐 | 淡橙褐 | | | OH37 |
| 338 | 2区SD244 | 土師器甕 | | (140) | | | | 底10 | ○ | | △ | △ | | ハケ後ケズリ | | ハケ | ナデ | 淡褐 | 淡褐 | | | OH40 |
| 339 | 2区SD244 | 土師器甑 | 186 | (42) | | | 182 | 口1 | ◎ | ◎ | | | ナデ | ハケ | ハケ | ケズリ | | 赤茶褐 | 黒褐 | | 内面黒斑 | E86 |
| 340 | 2区SD244 | 土師器甑 | | (88) | | 94 | | 底5 | ○ | | | | | ハケ・指痕 | | ケズリ | | 暗灰黄 | 暗灰黄 | | 外面煤付着 | E108 |
| 341 | 2区SD244 | 土師器甑 | | (56) | | 72 | | 底3 | ○ | | △ | ◎ | | ハケ | | ケズリ | | 淡黄褐 | 淡黄褐 | | 外面黒斑 | E103 |
| 342 | 2区SD244 | 土師器甑 | | (61) | | 92 | | 底2 | ○ | ○ | | ◎ | | ハケ | | ケズリ | | 暗黄褐 | 暗黄褐 | | | E106 |
| 343 | 2区SD244 | 土師器甑 | | (62) | | 100 | | 底1 | ◎ | | | ○ | | ハケ | | ナデ・指痕 | | 淡灰 | 淡灰 | | | E107 |
| 344 | 2区SD244 | 土師器甑 | 262 | (93) | | | | 口1 | ○ | | | ◎ | ナデ | ハケ | ナデ | ハケ | | 淡橙褐 | 淡褐 | | 内面黒斑 | TM145 |
| 345 | 2区SD244 | 土師器把手 | 長87 | 幅37 | 厚25 | | | | ◎ | ○ | | ○ | | ハケ | | | | 淡桃黄 | 淡桃黄 | | | E119 |
| 346 | 2区SD244 | 土師器把手 | 長82 | 幅41 | 厚35 | | | | ○ | | △ | | | ハケ | | | | 淡桃灰褐 | 淡桃灰褐 | | | E122 |
| 347 | 2区SD244 | 土師器把手 | 長95 | 幅40 | 厚35 | | | | ○ | | △ | | | ハケ | | | | 淡橙黄 | 淡橙黄 | | 外面煤付着 | E121 |
| 348 | 2区SD244 | 土師器把手 | 長65 | 幅34 | 厚26 | | | | △ | | | | | ハケ | | | | 淡桃茶褐 | 淡桃茶褐 | | | E120 |
| 349 | 2区SD244 | 土師器竈 | | | | | | 口1 | ○ | | ○ | ◎ | ハケ | | ハケ | | | 淡橙褐 | 淡褐 | | | OH41 |
| 350 | 2区SD244 | 土師器竈 | 長(247) | 幅(70) | 厚(11) | | | | ○ | | ○ | ◎ | | ハケ | | ハケ | | 淡橙褐 | 淡褐 | | | OH42−2 |
| 351 | 2区SD244 | 土師器竈 | 長(350) | 幅(110) | 厚(10) | | | | ○ | | ○ | ○ | | ハケ | | ハケ | | 淡橙褐 | 淡褐 | | | OH42−1 |
| 352 | 2区SD244 | 土師器竈 | 長(100) | 幅(94) | 厚(43) | | | | ○ | | ○ | | | ハケ | | ハケ | | 橙褐 | 橙褐 | | 内外面錆付着 | OH43 |
| 353 | 2区SD244 | 土師器竈 | 長(96) | 幅(85) | 厚(32) | | | | ○ | | ○ | ○ | | ハケ | | ハケ | | 淡橙褐 | 淡褐 | | | OH42−3 |
| 354 | 2区SD244 | 土師器竈 | 長(331) | 幅(122) | 厚(28) | | | | ○ | | ○ | △ | | ハケ | | ハケ | | 淡黄褐 | 淡橙褐 | | 外面煤付着 | OH42−4 |
| 355 | 2区SD244 | 土師器有孔鉢 | | (51) | | | | 底12 | ◎ | | △ | ○ | | ハケ後ケズリ | | ハケ後ナデ | | 淡黄褐 | 淡黄褐 | | 底部孔1コ | E123 |
| 356 | 2区SD244 | 土師器鉢 | 184 | (69) | | | | 口4 | ◎ | | | ◎ | ハケ | ケズリ | ハケ | ハケ | | 淡黄桃 | 淡桃灰 | | | E105 |
| 357 | 2区SD244 | 土師器小壺 | 60 | 50 | 47 | 20 | 40 | 底12 | ◎ | | | △ | ナデ | ハケ | ナデ | ナデ・指痕 | ナデ | 淡黄橙 | 淡黄橙 | | | E118 |
| 358 | 2区SD244 | 土師器小壺 | 72 | 76 | 80 | 36 | 56 | 底12 | ○ | | △ | | ナデ | ミガキ | ナデ | ナデ | ミガキ | 淡黄褐 | 淡黄褐 | | 内外面黒斑 | TM105 |

## 第２表　土器・陶磁器観察表（８）

| 番号 | 遺構 | 器種 | 法量 | | | | | 遺存／12 | 胎土 | | | | 調整 | | | | | 色調 | | 産地 | 備考 | 実測番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 口径長 | 器高幅 | 胴径厚 | 底径摘径 | 頸径受径 | | 砂 | 骨 | 礫 | 赤 | 口縁外面 | 胴部外面 | 口縁内面 | 胴部内面 | 底部外面 | 外面 | 内面 | | | |
| 359 | 2区 SD244 | 土師器 小壷 | 94 | 86 | 85 | 30 | 67 | 底12 | △ | ○ | | ○ | ミガキ | ハケ | ハケ | ナデ | ハケ・指痕 | 淡黄褐 | 淡黄褐 | | | TM104 |
| 360 | 2区 SD244 | 土師器 小壷 | 95 | 76 | 87 | 30 | 69 | 底12 | ○ | | △ | ○ | ナデ | ハケ | ナデ | ナデ | ナデ | 淡橙褐 | 淡橙褐 | | | TM106 |
| 361 | 2区 SD244 | 土師器 小壷 | 74 | 77 | 90 | 20 | 64 | 底12 | ◎ | ○ | ○ | ◎ | マメツ | マメツ | マメツ | ナデ・ハケ後ナデ | マメツ | 淡橙褐 | 淡橙褐 | | | TM107 |
| 362 | 2区 SD244 | 土師器 小型鉢 | 78 | 36 | | 50 | | 底9 | ○ | ◎ | | | ハケ後ナデ | ハケ後ナデ | ハケ後ナデ | ハケ後ナデ | ナデ | 淡黄褐 | 淡黄褐 | | 内外面赤彩 | TM103 |
| 363 | 2区 SD244 | 土師器 手捏 | 32 | 37 | | 34 | | 口12 | △ | △ | | | ナデ・指痕 | ナデ・指痕 | ナデ・指痕 | ナデ・指痕 | ナデ・指痕 | 暗灰褐 | 暗灰褐 | | | E117 |
| 364 | 2区 SD244 | 土師器 手捏 | 42 | 23 | | 38 | | 底12 | △ | | | | ハケ後ナデ | ハケ後ナデ | ナデ・指痕 | ナデ・指痕 | ナデ | 淡黄褐 | 淡黄褐 | | 外面黒斑 | E116 |
| 365 | 2区 SD244 | 土師器 手捏 | 41 | 30 | | 36 | | 底12 | ○ | | | ◎ | ハケ後ナデ | ハケ後ナデ | ナデ・指痕 | ナデ・指痕 | ナデ | 淡黄灰 | 淡黄灰 | | | E115 |
| 366 | 2区 SD244 | 土師器 手捏 | | (25) | | 36 | | 底12 | ◎ | △ | | | ナデ・指痕 | ナデ・指痕 | ナデ・指痕 | ナデ・指痕 | ナデ | 淡黄灰 | 淡黄灰 | | | E114 |
| 367 | 2区 SD244 | 弥生 高坏 | | | | | | 脚1以下 | ◎ | | | | | ナデ・キザミ | | ケズリ | | 赤褐 | 赤褐 | | 外面凹線8条 | E104 |
| 368 | 2区 SD244 | 土師器 高坏 | | (100) | | | | 頸12 | ○ | ◎ | | ◎ | | ミガキ | | ミガキ | ナデ | 橙褐 | 橙褐 | | | TM68 |
| 369 | 2区 SD244 | 土師器 高坏 | 188 | (72) | | | | 口3 | ○ | ◎ | △ | ○ | ハケ後ナデ | ハケ後ナデ | ミガキ | ミガキ | | 淡灰褐 | 淡褐 | | | TM67 |
| 370 | 2区 SD244 | 土師器 高坏 | 150 | (49) | | | | 口2 | △ | ◎ | △ | ○ | ナデ | ナデ | ミガキ | ミガキ | | 淡褐 | 淡褐 | | 外面黒斑 | TM66 |
| 371 | 2区 SD244 | 土師器 高坏 | | (80) | | 92 | | 底3 | ◎ | | ◎ | ○ | | ミガキ | | ナデ | | 淡橙褐 | 淡橙褐 | | 外面赤彩 | TM70 |
| 372 | 2区 SD244 | 土師器 高坏 | | (50) | | 124 | | 底5 | ○ | | | ○ | | ミガキ | | ケズリ・ハケ | | 淡褐 | 淡褐 | | 外面赤彩 | TM69 |
| 373 | 2区 SD244 | 土師器 碗 | 99 | 52 | | 18 | | 底7 | ○ | | ○ | | ミガキ | ミガキ | ミガキ | ミガキ | ナデ | 褐 | 淡黄褐 | | | TM99 |
| 374 | 2区 SD244 | 土師器 碗 | 100 | (46) | | | | 口2 | ◎ | | ○ | | ナデ | ケズリ後ナデ | ナデ | ミガキ | | 淡黄褐 | 淡黄褐 | | 外面煤付着 | TM101 |
| 375 | 2区 SD244 | 土師器 碗 | 114 | 44 | | 18 | | 底9 | △ | | | △ | ナデ | ナデ | ナデ | ミガキ | ナデ | 淡黄褐 | 褐灰 | | | TM100 |
| 376 | 2区 SD244 | 土師器 碗 | 96 | (33) | | | | 口3 | ○ | | | | ナデ | ケズリ後ナデ | ナデ | ナデ | | 暗灰 | 暗灰 | | | TM102 |
| 377 | 2区 SD244 | 土師器 碗 | 134 | 42 | | 60 | | 口4 | ◎ | | | ○ | ハケ後ナデ | ハケ後ナデ | ナデ | ナデ | | 淡橙褐 | 淡橙褐 | | | TM98 |
| 378 | 2区 SD244 | 土師器 碗 | 128 | 43 | | 30 | | 口9 | ○ | ○ | △ | ○ | マメツ | マメツ | マメツ | マメツ・指痕 | マメツ | 橙 | 橙 | | 外面黒斑 | TM96 |
| 379 | 2区 SD244 | 土師器 碗 | 130 | (40) | | | | 口3 | △ | | | △ | ナデ | ケズリ後ナデ | ナデ | ナデ | | 淡黄褐 | 淡黄褐 | | | TM93 |
| 380 | 2区 SD244 | 土師器 碗 | 156 | 42 | | 100 | | 底9 | ○ | △ | △ | ◎ | ナデ | ハケ | ミガキ | ミガキ | ハケ・指痕 | 淡黄橙褐 | 淡橙褐 | | | TM97 |
| 381 | 2区 SD244 | 土師器 碗 | 150 | (50) | | | | 口1 | ○ | ○ | △ | | ナデ | ハケ | ナデ | ミガキ | | 淡褐 | 淡褐 | | | TM95 |
| 382 | 2区 SD244 | 土師器 碗 | 166 | 61 | | 36 | | 底12 | ○ | ◎ | △ | ○ | ナデ | ナデ | ナデ | ミガキ | ケズリ | 淡橙褐 | 淡褐 | | 内外面黒斑 | TM94 |
| 383 | 2区 SD244 | 内黒 台付碗 | | (31) | | 52 | | 底9 | ○ | ◎ | | △ | | ミガキ・ナデ | | ミガキ・ナデ | | 淡褐 | 黒 | | | TM64 |
| 384 | 2区 SD244 | 内黒 台付碗 | | (52) | | 96 | | 底8 | ○ | ◎ | △ | △ | | ナデ・工具痕 | | ミガキ・ナデ・工具痕 | | 淡橙褐 | 黒 | | 裾部黒斑ヵ | TM65 |
| 385 | 2区 SD244 | 内黒 台付碗 | 122 | 85 | | 84 | | 底12 | △ | ◎ | | △ | ハケ後ナデ | ナデ・ハケ | ナデ | ミガキ・ナデ工具痕 | | 淡褐 | 黒 | | 外面口縁黒斑 | TM63 |
| 386 | 2区 SD244 | 内黒 台付碗 | | (70) | | 90 | | 底1以下 | ○ | ◎ | | △ | | ミガキ | | ミガキ・ナデハケ | | 褐灰 | 黒 | | 内面十字線刻 | TM72 |
| 387 | 2区 SD244 | 内黒 台付碗ヵ | 126 | (38) | | | | 口2 | △ | ◎ | | ○ | ナデ | ナデ・キザミヵ | ミガキ | ミガキ | | 淡褐 | 黒 | | | TM79 |
| 388 | 2区 SD244 | 内黒 碗 | 148 | (55) | | 60 | | 底3 | △ | ◎ | | | 横ナデ | ナデ | ミガキ | ミガキ | | 淡褐 | 黒 | | 外面口縁黒斑 | TM77 |
| 389 | 2区 SD244 | 内黒 碗 | 152 | (48) | | | | 口2 | △ | ◎ | | | ナデ | ミガキ | ミガキ | ミガキ | | 褐 | 黒 | | 外面黒斑 | TM74 |
| 390 | 2区 SD244 | 内黒 碗 | 146 | 40 | | 57 | | 口2 | ○ | ◎ | | △ | ミガキ | ミガキ・ハケ後ナデ | ミガキ | ミガキ | ハケ・ナデ | 淡褐 | 黒 | | 外面口縁黒斑、外面赤彩ヵ | TM80 |
| 391 | 2区 SD244 | 内黒 碗 | 154 | 40 | | 40 | | 口3 | ○ | ○ | △ | △ | ミガキ | ケズリ後ミガキ・指痕 | ミガキ | ミガキ | | 黄褐 | 黒 | | 外面口縁黒斑 | TM73 |
| 392 | 2区 SD244 | 内黒 碗 | 144 | (40) | | | | 口3 | ○ | ◎ | | ◎ | ミガキ | ナデ | ミガキ | ミガキ | | 淡褐 | 黒 | | | TM78 |
| 393 | 2区 SD244 | 内黒 碗 | 164 | (46) | | | | 口3 | △ | | | ○ | 横ナデ | ナデ | ミガキ | ミガキ | | 暗赤褐 | 黒 | | | TM71 |
| 394 | 2区 SD244 | 内黒 碗 | 168 | (36) | | | | 口2 | ○ | ◎ | | △ | 横ナデ | ケズリ後ナデ | ミガキ | ミガキ | | 淡黄褐 | 黒 | | 外面口縁黒斑 | TM76 |
| 395 | 2区 SD244 | 内黒 碗 | 160 | (64) | | | | 口1 | △ | ◎ | | | ミガキ | ミガキ | ミガキ | ミガキ | | 灰黄褐 | 黒 | | 外面口縁黒斑 | TM75 |
| 396 | 2区 SD244 | 須恵器 蓋 | 130 | 50 | | | | 口1 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 灰 | | 411と対ヵ | E71 |
| 397 | 2区 SD244 | 須恵器 蓋 | | (41) | | | | 胴5 | ○ | △ | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 暗灰 | 灰 | | | E70 |
| 398 | 2区 SD244 | 須恵器 蓋 | 122 | 41 | | | | 口2 | △ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 灰 | | | E81 |
| 399 | 2区 SD244 | 須恵器 蓋 | 118 | 42 | | | | 口5 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 灰 | | | E79 |
| 400 | 2区 SD244 | 須恵器 蓋 | 128 | 46 | | | | 口4 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰白 | 灰白 | | | E82 |
| 401 | 2区 SD244 | 須恵器 蓋 | 118 | 54 | | | | 口1以下 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 灰 | | | E83 |
| 402 | 2区 SD244 | 須恵器 蓋 | 140 | 53 | | | | 口9 | ○ | △ | | | ロクロナデ | ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 暗灰褐 | | | E76 |
| 403 | 2区 SD244 | 須恵器 蓋 | 140 | 52 | | | | 口4 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 灰 | | | E78 |
| 404 | 2区 SD244 | 須恵器 蓋 | 138 | 43 | | | | 底12 | ◎ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰褐 | 灰 | | | E80 |
| 405 | 2区 SD244 | 須恵器 蓋 | 126 | 42 | | | | 口1 | △ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 灰 | | | E67 |
| 406 | 2区 SD244 | 須恵器 蓋 | 156 | (52) | | | | 口1以下 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ・指痕 | ケズリ・ナデ | 暗緑灰 | 緑灰 | | 2区 SD240と接合 | E69 |
| 407 | 2区 SD244 | 須恵器 蓋 | 142 | 41 | | | | 口6 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 暗灰 | 暗灰 | | | E75 |
| 408 | 2区 SD244 | 須恵器 蓋 | 138 | 44 | | | | 口3 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 灰 | | | E68 |
| 409 | 2区 SD244 | 須恵器 蓋 | 134 | (41) | | | | 口4 | △ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 灰白 | | | E73 |
| 410 | 2区 SD244 | 須恵器 坏身 | 98 | 46 | | | 受116 | 底8 | △ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 灰 | | | OH25 |

## 第２表　土器・陶磁器観察表（９）

| 番号 | 遺構 | 器種 | 法量 | | | | | 遺存／12 | 胎土 | | | | 調整 | | | | | 色調 | | 産地 | 備考 | 実測番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 口径長 | 器高幅 | 胴径厚 | 底径摘径 | 頸径受径 | | 砂 | 骨 | 礫 | 赤 | 口縁外面 | 胴部外面 | 口縁内面 | 胴部内面 | 底部外面 | 外面 | 内面 | | | |
| 411 | 2区 SD244 | 須恵器 坏身 | 107 | 53 | | | 受 127 | 底12 | △ | | ○ | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 灰 | | 396と対ヵ | OH17 |
| 412 | 2区 SD244 | 須恵器 坏身 | | (40) | | | 受 128 | 底9 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 暗灰 | 暗灰 | | | OH23 |
| 413 | 2区 SD244 | 須恵器 坏身 | 113 | 54 | | | 受 134 | 底11 | ○ | | ○ | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 暗灰 | 暗灰 | | 2区 SD240と接合 | OH21 |
| 414 | 2区 SD244 | 須恵器 坏身 | 112 | 50 | | | 受 133 | 底12 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 暗灰 | | | OH22 |
| 415 | 2区 SD244 | 須恵器 坏身 | 119 | 54 | | | 受 147 | 底12 | ◎ | △ | ○ | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 暗灰 | | | OH19 |
| 416 | 2区 SD244 | 須恵器 坏身 | 124 | (51) | | | 受 146 | 口3 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 淡褐 | | | OH26 |
| 417 | 2区 SD244 | 須恵器 坏身 | 125 | 48 | | | 受 150 | 底4 | ○ | △ | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 暗灰 | 灰 | | | OH24 |
| 418 | 2区 SD244 | 須恵器 坏身 | 108 | (48) | | | 受 138 | 口3 | ◎ | | ○ | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 灰 | | | OH27 |
| 419 | 2区 SD244 | 須恵器 坏身 | 144 | 37 | | | 受 168 | 底6 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 黒灰 | 暗灰 | | | OH16 |
| 420 | 2区 SD244 | 須恵器 坏身 | 130 | 44 | | | 受 151 | 底12 | ○ | △ | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 暗灰 | 灰 | | | OH14 |
| 421 | 2区 SD244 | 須恵器 坏身 | 125 | 45 | | | 受 149 | 底12 | ○ | △ | ○ | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 暗灰 | | | OH18 |
| 422 | 2区 SD244 | 須恵器 坏身 | 131 | (36) | | | 受 147 | 口3 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 黒灰 | 灰 | | | OH28 |
| 423 | 2区 SD244 | 須恵器 坏身 | | (37) | | | 受 149 | 底2 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 暗灰 | 暗灰 | | | OH15 |
| 424 | 2区 SD244 | 須恵器 坏身 | | (35) | | | 受 149 | 底11 | ○ | △ | | | | ロクロナデ ケズリ | | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 黒 | 暗茶 | | | OH20 |
| 425 | 2区 SD244 | 須恵器 高坏 | | (70) | | 78 | | 底8 | ○ | | △ | | | ロクロナデ・ケズリ | | ロクロナデ | | 灰 | 灰 | | 透穴3コ残 | TM88 |
| 426 | 2区 SD244 | 須恵器 高坏 | | (65) | | 90 | | 底2 | △ | | △ | | | ロクロナデ・ケズリ後ナデ | | ロクロナデ | | 灰白 | 灰白 | | 透穴3コ残 | TM89 |
| 427 | 2区 SD244 | 須恵器 高坏 | | (32) | | 86 | | 底10 | ○ | | ○ | | | ロクロナデ | | ロクロナデ | | 灰 | 灰 | | 透穴3コ残 | TM87 |
| 428 | 2区 SD244 | 須恵器 高坏 | | (47) | | 90 | | 底6 | △ | | △ | | | ロクロナデ・ケズリ後ナデ | | ロクロナデ | | 灰白 | 灰 | | | TM86 |
| 429 | 2区 SD244 | 須恵器 鐙ヵ | | (93) | 136 | 30 | | 底10 | △ | | | | | カキメ・ロクロナデ・タタキ | | ロクロナデ | | 灰 | 灰白 | | | TM91 |
| 430 | 2区 SD244 | 須恵器 蓋 | 158 | 37 | | ツマミ 30 | | 口12 | ◎ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | 暗灰褐 | 暗灰褐 | | | E61 |
| 431 | 2区 SD244 | 須恵器 有台坏 | 156 | 47 | | 98 | | 底 12 | ◎ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 暗灰褐 | 灰茶褐 | | 底部外面墨痕 | E58 |
| 432 | 2区 SD244 | 須恵器 有台坏 | 110 | 46 | | 74 | | 底10 | △ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 暗灰 | 灰 | | 内面漆付着 | FJ117 |
| 433 | 2区 SD244 | 須恵器 無台坏 | 138 | 39 | | 110 | | 底12 | ◎ | △ | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 暗灰 | 灰 | | | E50 |
| 434 | 2区 SD244 | 須恵器 無台坏 | 124 | 31 | | 82 | | 底12 | △ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰褐 | 灰褐 | | 内面漆付着 | E48 |
| 435 | 2区 SD244 | 須恵器 無台坏 | 132 | 34 | | 90 | | 底12 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ヘラ起シ・ナデ | 淡灰黄 | 淡茶褐 | | | E47 |
| 436 | 2区 SD244 | 赤彩 碗 | 122 | 31 | | 68 | | 口1 以下 | △ | | | | ミガキ | ミガキ | ミガキ | ミガキ | | 淡赤橙灰 | 赤橙 | | 内外面赤彩 | S123 |
| 437 | 2区 SD244 | 赤彩 無台坏 | | (8) | | 98 | | 底12 | △ | | | | | ナデ | | ミガキ | ヘラ切リ | 赤橙 | 赤橙 | | 内外面赤彩、周囲打欠・研磨ヵ | S128 |
| 438 | 2区 SD244 | 土師器 器台 | 82 | (27) | | | | 口12 | ○ | | △ | | 横ナデ | ナデ | ミガキ | ミガキ | | 淡橙灰褐 | 淡橙灰褐 | | | S125 |
| 439 | 2区 SD240・244 | 須恵器 蓋 | 124 | (44) | | | | 口1 以下 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 灰 | | | E66 |
| 440 | 2区 SD240・244 | 須恵器 蓋 | 150 | 50 | | | | 口3 | △ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰白 | 灰白 | | | E77 |
| 441 | 2区 SD240・244 | 須恵器 蓋 | 142 | 51 | | | | 口6 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 茶褐 | 茶褐 | | | E65 |
| 442 | 2区 SD240・244 | 須恵器 蓋 | 130 | 51 | | | | 口1 以下 | ◎ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰白 | 灰 | | | E72 |
| 443 | 2区 SD240・244 | 須恵器 蓋 | 122 | 41 | | | | 口1 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 灰 | | | E74 |
| 444 | 2区 SD240・244 | 須恵器 坏身 | 130 | 53 | | | 受 151 | 口1 以下 | ○ | | | | ロクロナデ | ロクロナデ・ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 暗灰 | 暗灰 | | | S145 |
| 445 | 主幹線 遺構外 | 須恵器 坏身 | 118 | 47 | | | 受 140 | 口1 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ ケズリ | ロクロナデ | ロクロナデ | ケズリ・ナデ | 灰 | 灰 | | | S146 |
| 446 | 主幹線 遺構外 | 須恵器 有台坏 | 122 | 39 | | 86 | | 底7 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 暗灰褐 | 暗灰褐 | | | EE231 |
| 447 | 主幹線 遺構外 | 須恵器 有台坏 | 112 | 46 | | 78 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 淡灰 | 淡灰 | | | EE230 |
| 448 | 主幹線 遺構外 | 須恵器 有台坏 | 113 | 40 | | 77 | | 底12 | ○ | | △ | | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 暗灰褐 | 暗灰褐 | | 底部外面墨書 | EE232 |
| 449 | 主幹線 遺構外 | 須恵器 無台坏 | | (33) | | 76 | | 底4 | ○ | | △ | | | ロクロナデ | | ロクロナデ | ヘラ切リ・ナデ | 灰 | 灰 | | 底部外面墨書 | EE233 |
| 450 | 主幹線 遺構外 | 磁器 碗ヵ | 182 | (43) | | | | 口1 以下 | | | | | | | | | | 青磁釉 | 青磁釉 | | 胎土色灰白色 | EE229 |
| 451 | 主幹線 遺構外 | 磁器 碗 | | (20) | | 58 | | 底2 | | | | | | | | | | 青磁釉 | 青磁釉 | | 胎土色灰白色 | EE228 |
| 452 | 2区 Y14W3 遺構外 | 須恵器 壺 | 136 | (86) | | | 134 | 口3 | ○ | | △ | | ロクロナデ | カキメ後タタキ | ロクロナデ | カキメ | | 灰 | 灰 | | | OH94 |
| 453 | 主幹線 遺構外 | 須恵器 甕 | 276 | (75) | | | 196 | 口3 | ○ | | | | ロクロナデ | タタキ | ロクロナデ | タタキ | | 灰 | 灰 | | | EE227 |

# 第５章　石製品

## 第１節　概要

畝田・寺中遺跡は縄文時代～室町時代の複合遺跡であり、各時代の様々な遺構・遺物が確認されている。本章では、本報告書で対象となっている主幹線２区から出土した石製品及び前回報告までの補遺も含めて、器種ごとに整理し報告する。そのため、石製品が帰属する遺構および時代について、図版上混在していることをご了承願いたい。なお、紙幅の関係により、遺物が出土した遺構・法量・石材等の詳細情報については、別途石製品観察表(第３表)を参照されたい。

## 第２節　石製品

454～458は敲石である。454は両端に使用痕を残す砂岩製のもので、表面に若干の剥離がみられる。455は三角柱状で、２辺に凹みがあり、凹石としての使用も想定されるが安定しない。456は卵状を呈し、両端に使用痕が顕著である。457は灰赤色を呈する小振りのものである。両端に使用痕が顕著で、側面に若干の擦痕が認められる。この２個体はそのサイズから細かな調整等の作業に適しており、玉製品等の加工・調整の用途が想定されようか。458は両端部に使用痕が認められる、太鼓状を呈する玢岩製のものである。うち１面は面的に敲痕が顕著で、他方１面については石材の形状変化点に細かな敲痕が認められる。

459・460は凹石として分類した。459は軟質の欠損品であるが卵形であることが窺われ、その３面に凹みが認められる。460は円盤状を呈し、表面とした側に２箇所、裏面に１箇所の凹みがある。

461は灰白色を呈するデイサイト質凝灰岩製の打製石斧である。最大長は205mm、重量は865g、形状は基部から刃部に向けて緩やかに広がる、いわゆる撥形である。462・463は磨製石斧である。462は緻密な砂岩製で、基部・刃部ともに欠損するが、太形蛤刃石斧であろう。463は側面をもつもので、462に比べ小振りである。464は磨石である。球状を呈し、その外周に約３cmの幅で擦痕が認められる。465は直縁刃石器で、変質安山岩の剥片を調整し、刃部を設けた剥片石器である。調整は必要最小限となっており、刃部には擦痕が認められる。

466～470は石錘とした。466は長卵形を呈し結合装置としての穿孔及び施溝を有する、いわゆる「九州型石錘」であるが、砂岩製であり、九州地方の普遍的なもの(滑石製)とは材を異にする。467は結合装置として抉り加工が上面および側面に施される。468は断片であるが大きなもので、結束のための抉りが認められる。469・470は凝灰岩製で、結合装置としての孔を有する。470は断片だが卵形に復元できる。

471～478は砥石である。471は３面使用の流紋岩製だが、端部に３条の施溝があり、転用もしくは砥石以外のものの一部である可能性を残す。472は３面使用しており、石材は流紋岩である。473は不整形であるが、残存する全ての面において使用痕が認められる。474は緻密な砂岩製のもので、３面に使用痕がある。475は不整形な流紋岩製砥石である。２箇所に使用痕が確認できる。476は凝灰岩製で、４面使用と思われるが、うち１面は被熱による剥離のため断定できない。477は４面使用の流紋岩製である。478は軽石で、使用痕は１面である。

479は石皿の断片で、擦痕は一面のみである。480は輝石安山岩製の石皿である。断片だが両面に擦痕が認められ、図版向かって左側が顕著である。

481は石刀であろうか。断面は緩やかな楔形を呈し、基部は溝での施紋が確認できる。縄文時代晩期のものと考えられる。

482はSD244から出土した磨製石剣と考えられる石製品である。緑黒色を呈する粘板岩製で、茎部・

刃部を欠損する。磨製石斧に似るが、中央に鎬状の加工が見受けられ、側面は左右ともに途中までを面として加工し、その後は稜として仕上げている。側面状の箇所を茎と判断し、大形であるが石剣とした。極大形磨製尖頭器、石製模造品である可能性もある。483は両刃石器で、両端につぶれた刃部をもつ。両端が欠損しており確実なことはいえないが、石剣あるいは石鋸としての用途が想定される。

484はSD244から出土した粘板岩製の硯で、裏面にも使用痕がある。表面は再研磨されているが、意図は不明である。485は擂粉木状の石器である。用途は不明であるが、手にした感覚からは石器・玉類の調整具としての機能が想定できようか。

486～492は円盤状未成品である。これらは打割あるいは擦切によって中央を刳り貫き、腕輪状石製品とする過程のものである。石材は変質流紋岩を主とし、色調は明緑灰色～暗緑灰色を呈する。486には中央打割に伴う剥離が認められ、その段階での破断であろう。487は破断したもので、表面側面ともに押圧による調整が認められる。488は1面が研磨されている。489～491は円形に調整されているが、いずれも誤剥離によって成品の厚みが確保できなくなったため、途中段階で廃棄されたものであろう。492は短辺の頂点に資料が抽出された大きな打点がある。外周調整の段階で破断、廃棄されたものか。

493・494は変質流紋岩の剥片だが、493には表面に粗い研磨が認められ、玉製品の未成品である可能性がある。495は碧玉の石核である。496は変質流紋岩の石核で、管玉等の材料である。497には石材分割のための施溝が4箇所認められる。管玉となる材を切り出したもの、あるいは管玉未成品と考えられ、手法から弥生時代中期～後期のものであろうか。498・499は翡翠の原石で、未加工品のため時代は不詳である。

500は松林山型琴柱形石製品の未成品であると考えられる。材質は硬質の変質流紋岩で、両面は主に右から左へ向かっての小さな敲打、側面は上下両面からの敲打によって整形される。軸部には下方からの打撃が目立つ。反りをもった形状となっているが、成品の形状には遠く、さらに整形された後研磨が加えられるのであろう。

501は車輪石の成品である。復元径は約104mm、石材は縞目の入る変質凝灰岩で、節理と平行に抽出されている。鐘方分類のBⅣ形式である。502は石釧の成品である。変質凝灰岩製で、復元径は約80mmである。

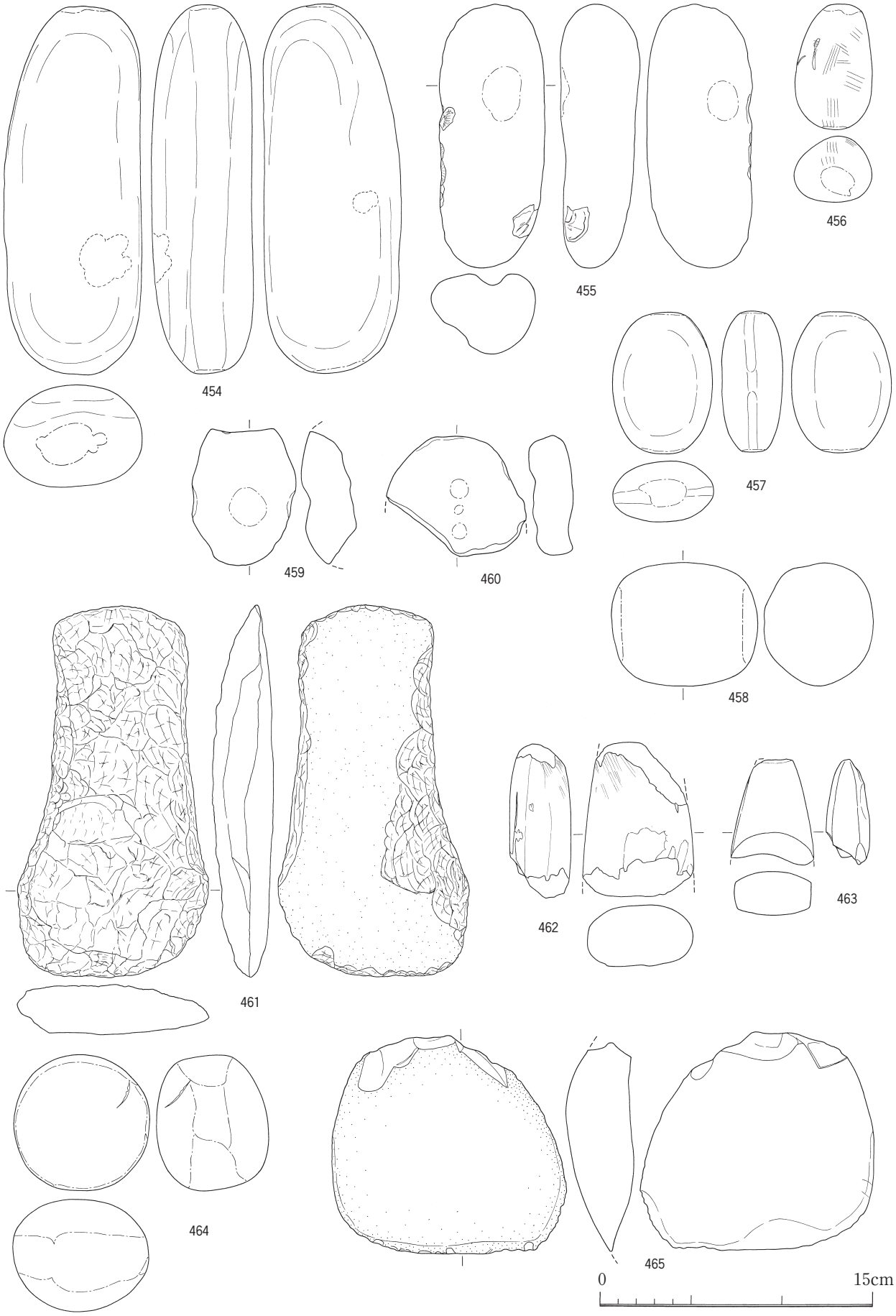
503は変質流紋岩製の刳貫円盤、504は凝灰質頁岩製の有孔円盤である。平面形は横長の円形を呈し、中央部に1孔をもつ。505は滑石製の紡錘車で、復元径は約42mm、復元孔径は約7mmである。

506～510は円盤状未成品の中央をくり抜いたもので、工程として円盤状未成品の次段階である。石材はいずれも変質流紋岩で、内面に整形のための細かな調整が認められる。507は上下面ともに角度を付けて研磨している。510は底面に研磨が認められる。

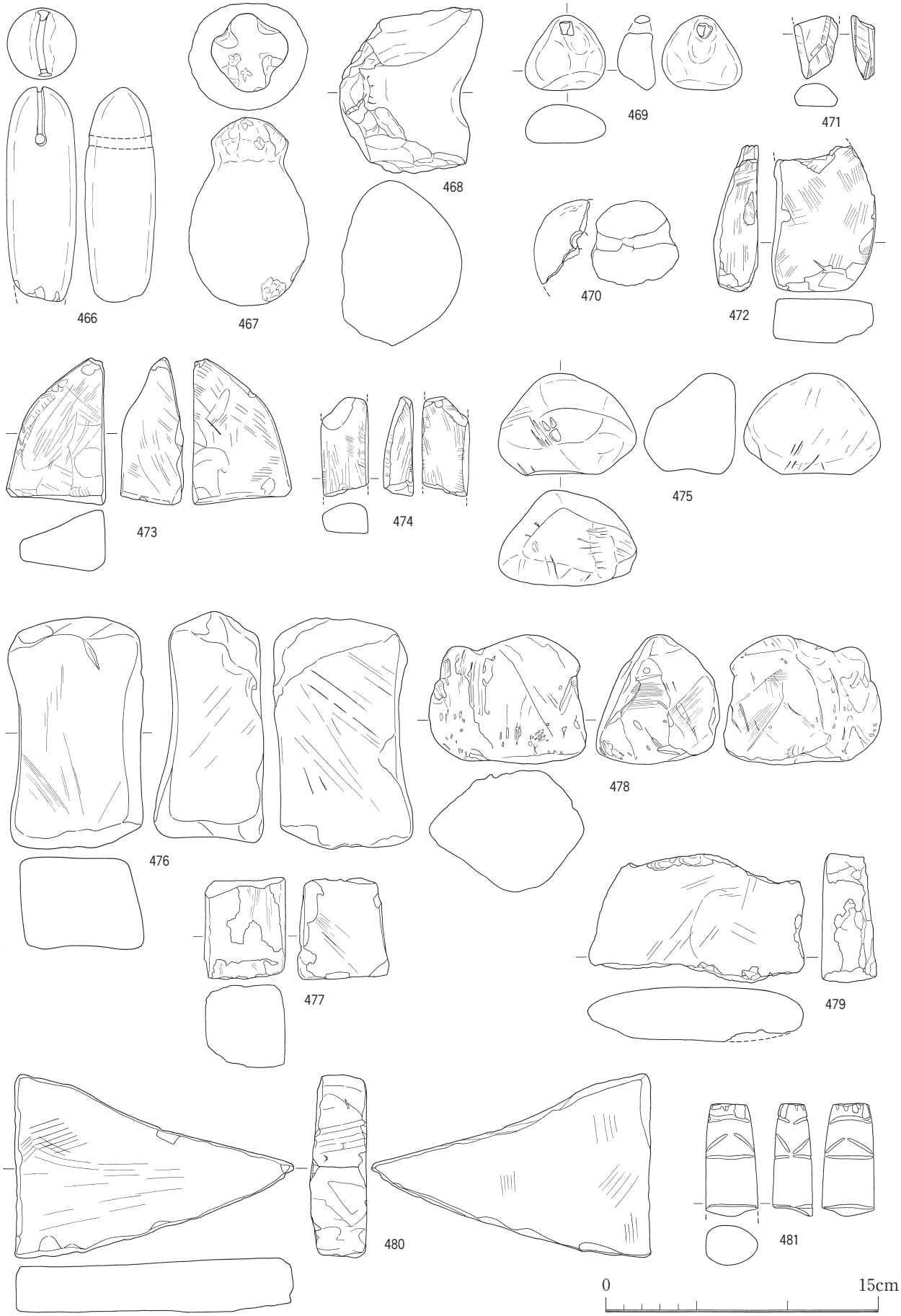
512は滑石製の臼玉である。511は無斑晶質安山岩製の穿孔具で、径は514の管玉の径と一致する。513は片面穿孔、514は両面穿孔の管玉である。515～518は管玉の未成品で、517が変質凝灰岩製、ほかは碧玉製である。516には分割のための擦切が認められ、その他碧玉製のものとあわせて弥生時代中期～後期のものと考えられる。

519は蛇紋岩製の勾玉で、緑色を呈する。520は変質凝灰岩製の丁字頭定形勾玉の破片である。孔の周囲に少なくとも3条の施溝が確認できる。522は曹長石製の成品、521は滑石製の未成品である。穿孔されているが研磨による仕上げが不十分であることから未成品とした。523は滑石製の成品である。

524～537は石鏃である。石材は主に無斑晶質安山岩と頁岩であるが、536の有茎のものは黄褐色を呈する珪質頁岩である。この石材は新潟県以北の日本海側に産地が限定されることから、搬入品であるといえよう。537は欠損しており、石鏃以外のものである可能性がある。

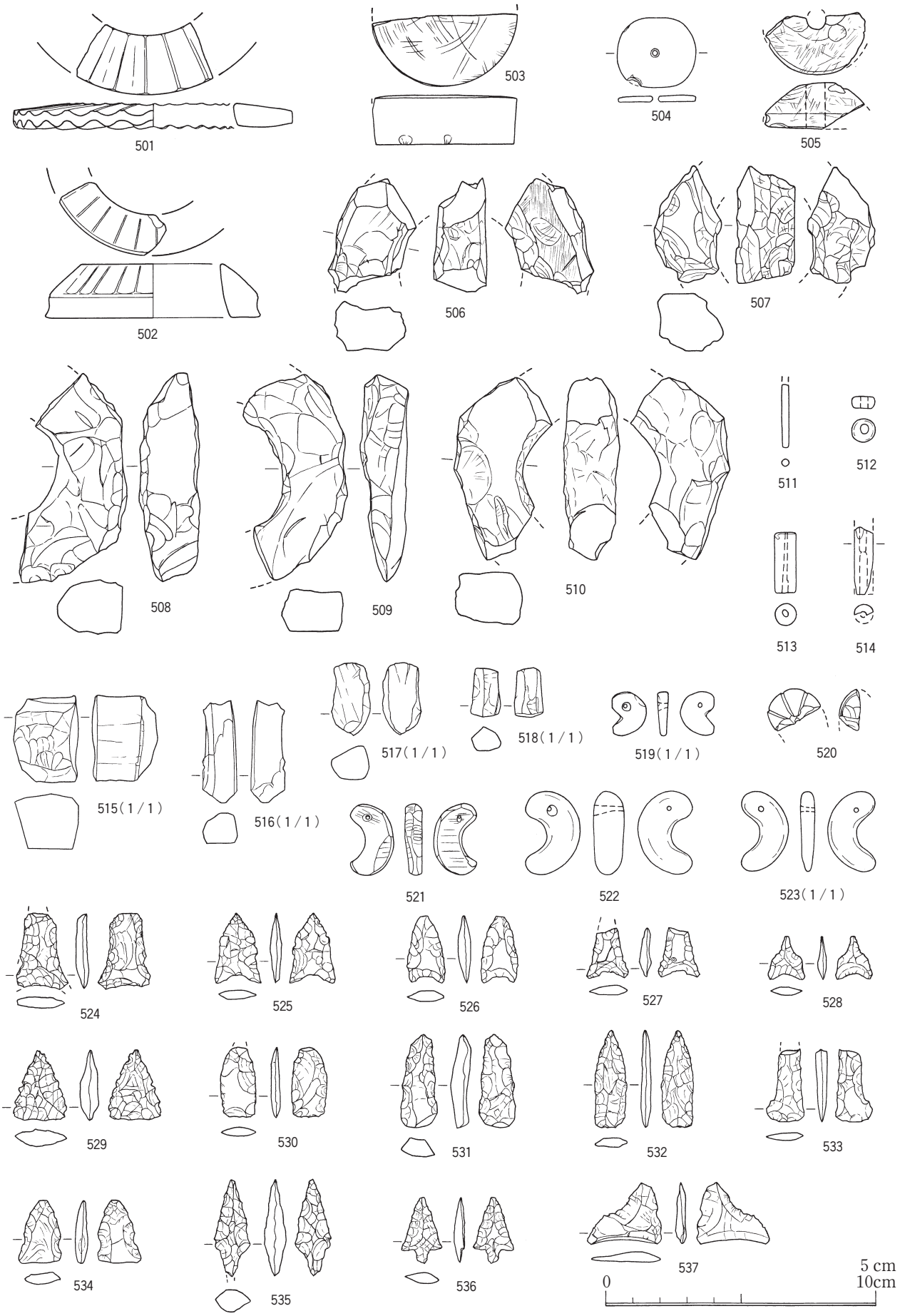



第30図　石製品（１）〔S＝１／３〕




第31図　石製品（２）〔S＝１／３〕

第32図　石製品（３）〔S＝１／３〕




第33図　石製品（4）〔S＝1/2・1〕

## 第３表　石製品観察表

| 番号 | 遺　構 | 器種 | 法量（mm･g） | | | | 色　調 | 石材等 | 実測番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 長 | 幅 | 厚 | 重 | | | |
| 454 | 2区 SD244 | 敲石 | 240.0 | 75.0 | 56.0 | 1480.0 | 10YR6/3 にぶい黄橙色 | 砂岩 両端使用痕 | A108 |
| 455 | 2区 SD240 | 敲石 | 145.0 | 53.0 | 44.0 | 473.0 | 2.5GY8/1 灰白色 | 凝灰岩 凹み有 両端使用痕 | E253 |
| 456 | 2区 SD244 | 敲石 | 69.0 | 43.0 | 36.5 | 140.0 | 5Y3/1 オリーブ黒色 | 玄武岩 両端使用痕 | Q104 |
| 457 | 2区 SD222 | 敲石 | 78.0 | 56.0 | 34.0 | 220.0 | 2.5YR4/2 灰赤色 | 玢岩 側面擦痕 両端使用痕 | A107 |
| 458 | 2区 SD240 | 敲石 | 81.0 | 63.0 | 60.0 | 520.0 | 5YR8/1 灰白色 | 玢岩 両端使用痕 | E252 |
| 459 | 2区 SD303 | 凹石 | (74.0) | (57.0) | (28.0) | (100.0) | 2.5Y8/6 黄色 | 凝灰岩 3面凹みあり | E200 |
| 460 | 1区 SD303 | 凹石 | (66.0) | (72.0) | 23.0 | (148.0) | 2.5Y6/4 にぶい黄色 | 砂岩 凹み3箇所 | E201 |
| 461 | 2区 SD240 | 打製石斧 | 205.0 | 105.5 | 34.0 | 865.0 | 7.5Y8/1 灰白色 | デイサイト質凝灰岩 | Y41 |
| 462 | 2区 SD244 | 磨製石斧 | (85.5) | (61.5) | (34.0) | (250.0) | 7.5Y7/1 灰白色 | 砂岩 刃部・基部欠損 | Q107 |
| 463 | 2区 SD303 | 磨製石斧 | (57.0) | (46.0) | (23.0) | (81.9) | 5Y6/4 オリーブ黄色 | 凝灰岩 | E204 |
| 464 | 2区 SD244 | 磨石 | 75.0 | 75.0 | 62.0 | 505.0 | 2.5Y7/2 灰黄色 | 玢岩 | Q102 |
| 465 | 2区 SD222 | 直縁刃石器 | 121.0 | 130.0 | 37.0 | 630.0 | 5Y5/3 灰オリーブ色 | 変質安山岩 | A110 |
| 466 | 2区 SD244 | 石錘 | (118.5) | 38.0 | 39.0 | (220.0) | 5Y7/4 浅黄色 | 砂岩 孔径7mm | G50 |
| 467 | 2区 包含層 | 石錘 | 104.0 | 67.0 | 58.5 | 430.0 | 7.5Y8/1 灰白色 | 凝灰岩 先端4箇所抉り | Y40 |
| 468 | 2区 SD303 | 石錘 | (91.0) | (65.0) | (66.0) | (750.0) | 2.5Y7/2 灰黄色 | 凝灰岩 | E199 |
| 469 | 2区 SD240 | 石錘 | 41.0 | 44.0 | 21.0 | 45.0 | 7.5Y8/1 灰白色 | 凝灰岩 孔径8mm | N4 |
| 470 | 2区 SD244 | 石錘 | (45.0) | (33.0) | (48.5) | (55.0) | 2.5Y7/3 浅黄色 | 凝灰岩 孔径9mm | E316 |
| 471 | 2区 SD244 | 砥石？ | (35.0) | (24.0) | 12.0 | (10.0) | 2.5Y7/4 浅黄色 | 流紋岩 擦切痕3条 | A116 |
| 472 | 2区 SD244 | 砥石 | (80.5) | 57.5 | 24.0 | (140.0) | 7.5Y8/2 灰白色 | 流紋岩 | Q108 |
| 473 | 2区 SD222 | 砥石 | (81.0) | (55.0) | 35.0 | (150.0) | 10YR7/4 にぶい黄橙色 | 流紋岩 表面煤付着 | A109 |
| 474 | 2区 SD244 | 砥石 | (54.5) | 26.0 | 16.5 | (26.0) | 7.5Y7/1 灰白色 | 砂岩 | Q109 |
| 475 | 2区 SD240 | 砥石 | 56.0 | 75.0 | 52.0 | 130.0 | 2.5Y8/4 淡黄色 | 流紋岩 | OH55 |
| 476 | 2区 SD240 | 砥石 | 127.0 | 74.0 | 51.0 | 705.0 | 2.5Y8/3 淡黄色 | 凝灰岩 表面煤付着 | E257 |
| 477 | 2区 SD244 | 砥石 | (56.0) | 50.0 | 45.0 | (156.0) | 5Y8/4 淡黄色 | 流紋岩 | SH 205 |
| 478 | 2区 SD240 | 砥石 | 71.0 | 85.0 | 66.0 | 78.9 | 2.5Y7/2 灰黄色 | 軽石 | E258 |
| 479 | 2区 SD244 | 石皿 | (119.0) | (71.0) | (30.0) | (340.0) | 10YR3/1 黒褐色 | 玄武岩 | Q103 |
| 480 | 2区 SD244 | 石皿 | (101.0) | (154.0) | 31.0 | (605.0) | 2.5Y5/3 黄褐色 | 輝石安山岩 | A117 |
| 481 | 2区 SD303 | 石刀 | (62.0) | (30.0) | (21.0) | (60.7) | 7.5Y5/2 灰オリーブ色 | 玄武岩 | E202 |
| 482 | 2区 SD244 | 磨製石剣 | (122.0) | (61.0) | (20.0) | (200.0) | 7.5GY2/1 緑黒色 | 粘板岩 刃部・基部欠損 | G49 |
| 483 | 2区 SD240 | 両刃石器 | (65.0) | 33.0 | 7.0 | (26.6) | 7.5Y4/1 灰色 | 玢岩 石鋸か | S192 |
| 484 | 2区 SD244 | 硯 | (61.0) | (62.0) | (6.0) | (32.2) | N3/ 暗灰色 | 粘板岩 | G14 |
| 485 | 2区 AA8W5 | 加工具 | 82.0 | 19.0 | 18.0 | 30.7 | 7.5YR7/1 明褐灰色 | 砂岩 | E203 |
| 486 | 2区 SD240 | 円盤状未成品 | (70.0) | (43.0) | 18.0 | (54.7) | 2.5GY7/1 明オリーブ灰色 | 変質流紋岩 | TM 278 |
| 487 | 2区 SD240 | 円盤状未成品 | (78.0) | (40.0) | 28.0 | (80.0) | 7.5GY8/1 明緑灰色 | 変質流紋岩 | E256 |
| 488 | 2区 SD240 | 円盤状未成品 | (48.0) | (28.0) | 13.0 | (14.2) | 7.5GY7/1 明緑灰色 | 変質流紋岩 1面研磨 | TM 277 |
| 489 | 2区 SD240 | 円盤状未成品 | 91.0 | 90.0 | 28.0 | 220.0 | 7.5GY8/1 明緑灰色 | 変質流紋岩 表面鉄錆付着 | TM 279 |
| 490 | 2区 SD240 | 円盤状未成品 | 88.0 | 78.0 | 24.0 | 151.0 | 7.5GY8/1 明緑灰色 | 変質流紋岩 片面粗く研磨 | E255 |
| 491 | 2区 SD240 | 円盤状未成品 | 84.0 | 77.0 | 19.0 | 135.0 | 10GY5/1 緑灰色 | 凝灰質頁岩 表面鉄錆付着 | E254 |
| 492 | 2区 SD303 | 円盤状未成品 | (66.0) | (38.0) | 27.0 | (95.0) | 5GY4/1 暗オリーブ灰色 | 変質流紋岩 | E205 |
| 493 | 3区 SD222 | 剥片 | 42.0 | 24.0 | 1.2 | 15.4 | 10Y6/2 オリーブ灰色 | 変質流紋岩 研磨？ | T436 |
| 494 | 2区 SD244 | 剥片 | 52.0 | 14.0 | 8.0 | 4.4 | 10GY7/1 明緑灰色 | 変質流紋岩 | G51 |
| 495 | 2区 SD244 | 石核 | 35.0 | 42.0 | 17.0 | 20.0 | 5GY4/1 暗オリーブ灰色 | 碧玉 | A120 |
| 496 | 2区 SD244 | 石核 | 45.0 | 30.0 | 19.0 | 20.0 | 7.5GY4/1 暗緑灰色 | 変質流紋岩 | A119 |
| 497 | 2区 SD240 | 石核 | 44.0 | 37.0 | 26.0 | 55.8 | 10GY6/1 緑灰色 | 変質流紋岩 擦切痕4箇所 | M17 |
| 498 | 1区 SK203 | 原石 | 71.0 | 45.0 | 36.0 | 190.0 | 2.5G9/2 明緑灰色 | 翡翠 | E206 |
| 499 | 2区 SD244 | 原石 | 42.0 | 28.0 | 24.0 | 40.0 | 2.5GY8/4 明緑灰色 | 翡翠 | A121 |
| 500 | 2区 SD222 | 琴柱形未成品 | 200.0 | 83.0 | 26.0 | 525.0 | 7.5Y6/3 オリーブ黄色 | 変質流紋岩 | A106 |
| 501 | 1区 SD222 | 車輪石 | (51.0) | 22.0 | 9.5 | (10.0) | 10GY7/1 明緑灰色 | 変質流紋岩 復元径104 28弁 | A115 |
| 502 | 1区 包含層 | 石釧 | (41.0) | 15.0 | 20.0 | (9.3) | 7.5GY7/1 明緑灰色 | 変質凝灰岩 復元径80mm | G24 |
| 503 | 2区 SD222 | 刳貫円盤 | (54.0) | (27.0) | 18.5 | (30.0) | 7.5GY7/1 明緑灰色 | 変質凝灰岩 | A112 |
| 504 | 3区 SD201 | 有孔円盤 | 29.0 | 26.0 | 2.0 | 2.6 | 10Y6/2 オリーブ灰色 | 凝灰質頁岩 孔径2mm | Y13 |
| 505 | 3区 SD222 | 紡錘車 | (37.0) | (22.0) | 17.0 | (14.0) | 10Y7/1 灰白色 | 滑石 孔径7mm | N35 |
| 506 | 1区 SD223 | 環状未成品 | (45.0) | 27.0 | 18.0 | (21.9) | 2.5GY7/1 明オリーブ灰色 | 変質流紋岩 | E198 |
| 507 | 2区 SD223 | 環状未成品 | 43.0 | 25.5 | 22.0 | 18.5 | 7.5GY7/1 明緑灰色 | 変質流紋岩 | Y42 |
| 508 | 2区 SD222 | 環状未成品 | (78.0) | 24.0 | 23.0 | (50.0) | 7.5GY7/1 明緑灰色 | 変質流紋岩 鉄錆付着 | A111 |
| 509 | 2区 SD240 | 環状未成品 | (76.0) | 23.0 | (17.0) | (32.0) | 5GY7/1 明オリーブ灰色 | 変質流紋岩 | A114 |
| 510 | 2区 SD240 | 環状未成品 | (65.0) | 25.0 | 19.0 | (42.9) | 2.5GY7/1 明オリーブ灰色 | 変質流紋岩 | E196 |
| 511 | 2区 包含層 | 石針 | 24.0 | 2.5 | 3.0 | 0.3 | 5B2/1 青黒色 | 無斑晶質安山岩 | Y22 |
| 512 | 2区 AA8W5 | 臼玉 | 4.1 | 4.1 | 2.0 | 0.1 | 7.5Y6/1 灰色 | 滑石 孔径1.5mm | A58 |
| 513 | 2区 SD240 | 管玉 | 22.5 | 8.3 | 8.3 | 2.2 | 5GY7/1 明オリーブ灰色 | 変質凝灰岩 片面穿孔 | Q17 |
| 514 | 2区 包含層 | 管玉 | (26.0) | 7.0 | (4.0) | (0.7) | 2.5GY7/1 明オリーブ灰色 | 凝灰質頁岩 両面穿孔 | Y23 |
| 515 | 2区 SD303 | 管玉未成品 | 16.0 | 12.0 | 10.0 | 2.8 | 7.5GY3/1 暗緑灰色 | 碧玉 | A55 |
| 516 | 2区 SD303 | 管玉未成品 | 19.0 | 6.5 | 5.5 | 0.7 | 7.5GY3/1 暗緑灰色 | 碧玉 擦切痕2箇所 | A56 |
| 517 | 2区 SD303 | 管玉未成品 | 13.2 | 6.1 | 6.2 | 0.5 | 5G7/1 明緑灰色 | 変質流紋岩 | A57 |
| 518 | 2区 SD303 | 管玉未成品 | 9.0 | 5.5 | 4.5 | 0.3 | 7.5GY3/1 暗緑灰色 | 碧玉 | A54 |
| 519 | 2区 SD303 | 勾玉 | 8.5 | 6.5 | 2.0 | 0.2 | 2.5G3/4 緑色 | 蛇紋岩 | G19 |
| 520 | 2区 SD244 | 丁字頭定形勾玉 | (13.0) | (20.0) | (7.0) | (1.9) | 5GY7/4 明緑灰色 | 変質凝灰岩 孔周囲溝3条 | N16 |
| 521 | 2区 SD240 | 勾玉未成品 | 26.5 | 16.0 | 6.5 | 4.3 | 10GB4/1 暗青灰色 | 滑石 | G16 |
| 522 | 2区 SD244 | 勾玉 | 31.0 | 20.0 | 11.5 | 9.2 | 10Y7/1 灰白色 | 曹長石 片面穿孔 | G17 |
| 523 | 2区 SD303 | 勾玉 | 15.0 | 8.5 | 2.5 | 0.5 | 2.5GY4/1 暗オリーブ灰色 | 滑石 | G18 |
| 524 | 2区 SD240 | 石鏃 | (28.0) | 19.0 | 4.0 | (2.3) | N4/ 灰色 | 無斑晶質安山岩 凹基式 | TM 276 |
| 525 | 2区 包含層 | 石鏃 | 26.0 | 16.5 | 4.5 | 1.5 | N4/ 灰色 | 無斑晶質安山岩 凹基式 | N13 |
| 526 | 2区 包含層 | 石鏃 | (25.0) | 14.0 | 5.0 | (1.4) | N2/ 黒色 | 頁岩 凹基式 | A49 |
| 527 | 2区 包含層 | 石鏃 | (19.0) | 15.0 | 4.0 | (1.0) | N3/ 暗灰色 | 頁岩 凹基式 | A50 |
| 528 | 2区 包含層 | 石鏃 | 16.0 | 14.0 | 3.0 | 0.5 | N2/ 黒色 | 頁岩 凹基式 | A51 |
| 529 | 2区 包含層 | 石鏃 | 26.0 | 19.0 | 7.0 | 2.7 | N4/ 灰色 | 無斑晶質安山岩 平基式 | N12 |
| 530 | 2区 包含層 | 石鏃 | 26.0 | 13.0 | 3.0 | 1.5 | 10Y4/1 灰色 | 無斑晶質安山岩 平基式 | A45 |
| 531 | 2区 包含層 | 石鏃 | 35.0 | 13.0 | 6.0 | 3.6 | N4/ 灰色 | 無斑晶質安山岩 凸基無茎式 | A46 |
| 532 | 2区 包含層 | 石鏃 | 36.0 | 12.0 | 3.5 | 1.8 | N4/ 灰色 | 無斑晶質安山岩 平基式 | N14 |
| 533 | 2区 包含層 | 石鏃 | (27.0) | 14.0 | 4.5 | 1.6 | N4/ 灰色 | 無斑晶質安山岩 凸基無茎式 | A47 |
| 534 | 2区 包含層 | 石鏃 | 23.0 | 16.0 | 4.0 | 1.5 | N4/ 灰色 | 無斑晶質安山岩 平基式 | A43 |
| 535 | 2区 包含層 | 石鏃 | (36.0) | 13.0 | 8.3 | (2.6) | N4/ 灰色 | 無斑晶質安山岩 凸基有茎式 | N15 |
| 536 | 2区 包含層 | 石鏃 | 25.0 | 15.0 | 4.0 | 0.9 | 2.5Y5/6 黄褐色 | 珪質頁岩 凸基有茎式 | A52 |
| 537 | 2区 包含層 | 石鏃？ | 23.0 | 27.0 | 47.0 | 1.8 | N4/ 灰色 | 無斑晶質安山岩 平基式 | A44 |

# 第6章　総　括

## 第1節　遺跡の様相

本遺跡は金沢市の西部臨海地区に所在する縄文時代以降の複合遺跡である。石川県埋蔵文化財センターと本市埋蔵文化財センターによって広い面積が調査されており、多くの成果が上がっている。

既刊書によると、弥生時代、古墳時代と中核的な様相を呈しており、特に古墳時代中・後期の遺物量は他遺跡を凌駕する。

奈良時代に入ると、津湊に関する墨書土器や官衙に関する木簡が出土しており、8世紀前半から中頃にかけての加賀郡津に比定されている。河川と両側側溝の道路状遺構の間に掘立柱建物による倉庫群が建ち並ぶ景観が復元されており、河川を通じて日本海へ至る水運の拠点としての様相が明らかとなっている。同時期の墨書土器には「津司」があるが、『続日本紀』養老四(720)年正月丙子条「渡嶋津軽の津司従七位上諸君鞍男ら六人を靺鞨国に遣して、その風俗を観せしむ」とみえ、津の管理者や渤海などとの交易も担当したような役人の存在が推定される。また「語－語」や「語成人」墨書土器からは対渤海使通訳の存在が推定されており、「天平二年」墨書土器は天平二(730)年に第一次遣渤海使が帰国した際の饗応に使用されたものと考えられている。このような墨書土器と史料から、単なる津湊にはとどまらず、渤海使節が滞在した「便処」や遣渤海使が渤海へ向かう経由地としての役割を担っていたと考えられている(小嶋2004)。同じく同時期の木簡では、加賀郡司が大野郷長を召喚する内容のいわゆる「郡符木簡」が出土しており、郡符木簡は郡家か郡家関連施設で廃棄されることから、遺構や墨書土器の状況を鑑みて、郡津推定の根拠とされている。

平安時代になると、津の機能は戸水C遺跡(第3図47)へ移るようだが、遺跡自体は存続している。10世紀代は低調であり、11世紀に再び人為的な活動がみられるようになる。

中世については、11世紀から16世紀頃の遺構・遺物が確認されているが、主体は平安時代末から南北朝時代の12世紀後半～14世紀頃である。堀で囲繞された空間が検出されており、西堀と南堀は全域、北堀と東堀はその一部を確認している。南北220m、東西170mという方二町×一町半程度の空間を堀で囲繞しており、その中央東よりに道路状遺構が南北に延びている。堀の外に該当する地点にも掘立柱建物や井戸等の中世遺構が広がっており、時期も同時期である。

既刊書からみた本遺跡の概略は以上のとおりだが、本調査区では、古墳時代中・後期と奈良時代から平安時代初頭の遺物群が多く出土している。それらは、SD303からSD240・244と北流する川跡からの出土であり、流れを少しずつ変えながらも長期間にわたって同じような位置に流路があったことがわかる。川の延伸は主幹線3区SD201、主幹線4区大河跡が該当する。また、SD240から出土している平安時代末から鎌倉時代にかけての遺物も同様であり、規模は小さいながらも前時代の川跡と重複して北流し、主幹線3区のSD222、主幹線4区のSD210へと繋がっていく。出土量が多い古墳時代の遺物では、中・後期の須恵器や土師器の食膳具が多く、煮炊具では甕の長胴化や甑が組成の一定量を占めることを特徴とする。移動式竈も存在し、新たな調理方法が当該期に導入されたことを示す好例といえる。同じく大量に遺物が出土している奈良時代から平安時代では、8世紀後半から9世紀初頭頃(田嶋編年Ⅳ期、第4章参照)の土師器・須恵器が多く出土している。当該期の遺構群は8世紀中頃を境に南側から北側(本調査区に南接)に動いており(出越2012)、その動向を示すものと考えられる。

なお、紙幅の都合によって同調査区から出土した木製品や金属製品は本書に掲載できなかった。木製品では横槌や杵、多又鍬、火切臼、弓、靴、漆器椀、折敷などがあり、土製品では鞴の羽口や土錘、金属製品では鏃や刀子、古銭、鉄滓などが出土しており、次巻以降の掲載を予定している。　(向井)

## 第２節　畝田・寺中遺跡の玉つくりについて

### １．はじめに

本節では、出土した管玉・腕輪形石製品等、一般的に緑色凝灰岩と呼称される石材を用いて製作された石製品から本遺跡の特徴を述べる。なお、石製品観察表(第３表)の石材欄で、肉眼鑑定結果により碧玉・変質凝灰岩・変質流紋岩・凝灰質頁岩と記載のあるものは、本節では便宜上緑色凝灰岩として呼称を統一することをご了承願いたい。

### ２．畝田・寺中遺跡の玉つくり

北陸地方における玉つくりは、山陰からの文化伝搬の一要素として伝わり、福井県甑谷在田遺跡で弥生時代中期前葉のものが確認され、これにやや遅れて石川県内でも小松市八日市地方遺跡・金沢市矢木ジワリ遺跡などで生産が開始されている。中期中葉から後葉になると当該期に属するほとんどの遺跡で小規模な玉つくりが行われていたことが確認でき、畝田・寺中遺跡の本報告中においても、弥生時代中後期に属すると考えられる施溝分割技法を用いた硬質の緑色凝灰岩製の石核(497)および管玉未成品(515・516)がある。

古墳時代に入ると北陸における玉つくりは大きく変化し、特定支配層を対象とした宝器・祭器を生産するようになるが、本遺跡でも腕輪形石製品の製作工程である円盤状未成品(486～492)、環状未成品(506～510)、刳貫円盤(503)、松林山式琴柱形未成品(500)が出土している。その全てが溝出土の資料であり、明確な製作工房を比定することはできないが、調整具としての小型敲石(456・457)や加工具(485)の存在も、当該期における生産を示す補完資料となろう。

ここでは当該期において現在までに確認されている県内の石製品製作遺跡との比較をとおして、本遺跡の石製品製作遺跡としての位置付けを考えてみたい。なお、ここでの石製品製作遺跡とは腕輪形石製品等の未成品および刳貫円盤、刳貫円盤からの製作が想定される紡錘車形石製品が出土した遺跡を対象としている。この条件で県内で現在までに確認されている石製品製作遺跡は24を数え、主なものを第34図に示した。製作遺跡の分布は北加賀地域、能美地域、江沼地域に集中しているが、調査例の多寡が影響していることが推察されている。

車輪石および石釧の未成品のみを検出した遺跡が多い中で、鍬形石その他の未成品が出土した遺跡が存在する。威信財としての腕輪形石製品には鍬形石・車輪石・石釧の順に緩やかな階層性があることが指摘されており、階層上位の鍬形石未成品を伴う遺跡は加賀市片山津玉造遺跡や片山津城山遺跡、富塚遺跡など江沼地域に集中している。北加賀地域の金沢市藤江Ｂ遺跡で原石として報告されているものが鍬形石未成品となる可能性があるものの、少々小型である。白山市浜竹松Ｂ遺跡では38点に及ぶ腕輪形石製品未成品が出土しているが、すべてが外径11cm 未満であり、鍬形石や大型車輪石未成品と確認できる資料はなく、これらのことから階層的に上位である大型の腕輪形石製品については、限られた特定の遺跡で生産されていた可能性が指摘されている。

腕輪形石製品以外の未成品が確認された遺跡もまた限られており、羽咋市の太田ニシカワダ遺跡で鏃形未成品が２点、金沢市藤江Ｃ遺跡で琴柱形未成品１点、片山津玉造遺跡で鏃形未成品２点、合子形未成品１点が確認されているのみである。先述した上位階層性と関連づけるならば、これらの石製品を生産する遺跡もまた限定されていた可能性があるといえよう。本遺跡では県内初となる松林山式琴柱形石製品未成品の出土があり、県内に存する多くの石製品製作遺跡の中でも特例として注目される。また、本遺跡で出土した車輪石(501)は完成品の断片と考えられるが、断面に層理状の縞模様が観察でき、北加賀産石材で製作される他の未成品等と石材産地を異にする。これは周辺に存在する他

遺跡では確認されておらず、この車輪石が本遺跡で生産されたものと考えるならば、県内における石製品製作の１拠点として、あわせて本遺跡の特徴を示す資料となろう。

本遺跡の東方およそ200m には、河川跡から古墳時代初頭の弧帯文板・漆塗木杖の出土をみた畝田遺跡がある。漆塗木杖は頭部のみの出土であるが、その形状は松林山式琴柱形石製品と同様にみえる。畝田遺跡出土の弧帯文板および漆塗木杖は、当時この地域が中央と強い結びつきを持っていたことを示す資料であると考えられ、本遺跡の石製品製作遺跡としての性格を考えるうえで参考となろう。

## ３．まとめ

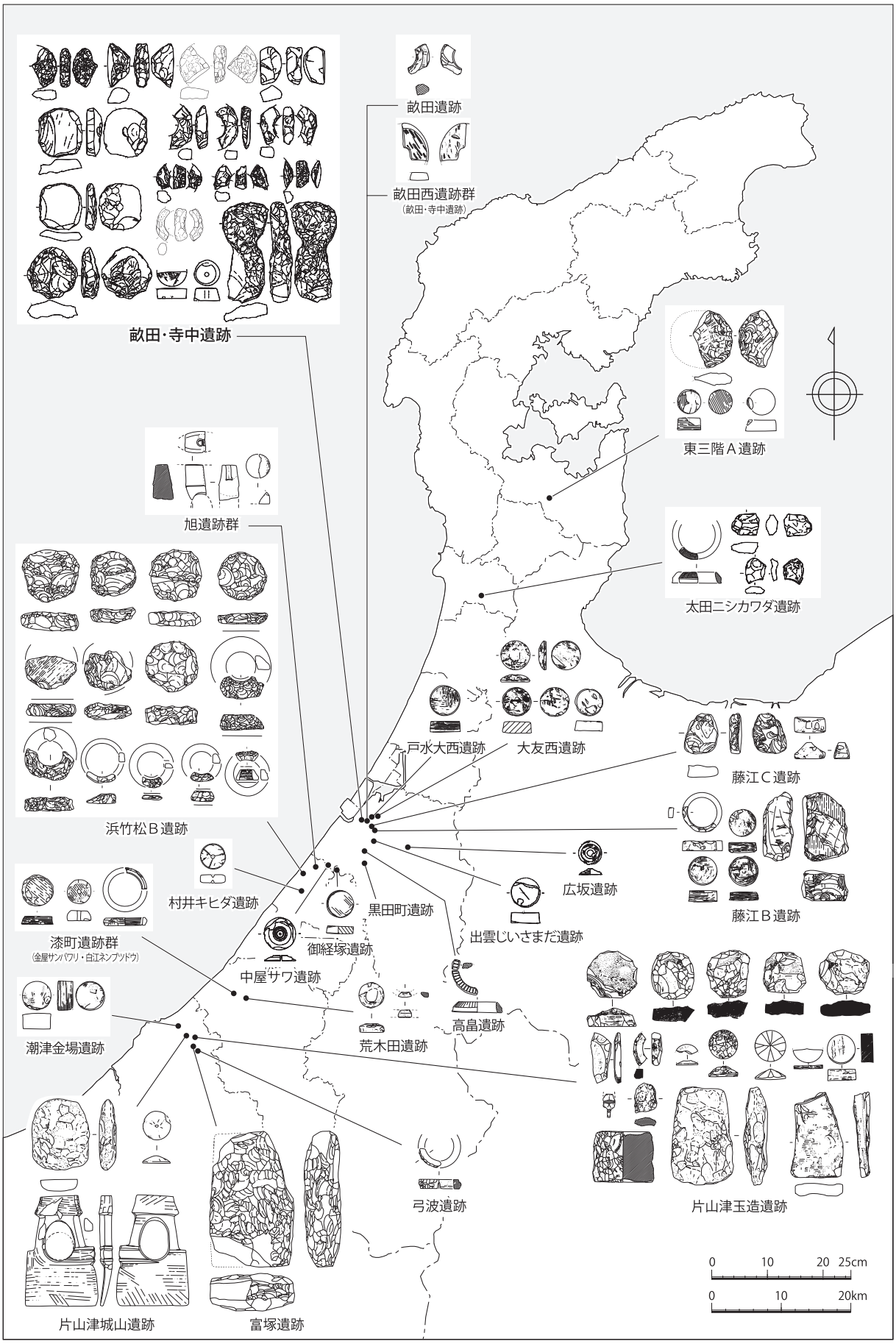
以上を総括すると、本遺跡の玉つくりは弥生時代中後期から始まっており、そこでは周辺当該期の集落と同じく施溝分割の技法を用いた管玉生産が行われていたと考えられる。古墳時代に入ると威信財としての腕輪形石製品、大型の琴柱形石製品、おそらくはその他各種の宝器をも製作する、北陸における石製品生産の１拠点としての性格を有する遺跡として捉えることが可能であるといえよう。

（景山）

## 再掲：石材鑑定対照表

平成14年度～16年度にかけて行った木曳野遺跡群発掘調査の発掘調査において出土した石製品のうち110点について、パリノ・サーヴェイ株式会社に委託し肉眼観察による石材鑑定を行っている（第１分冊 P25～29）。今回報告文についてここに再掲し、第１分冊との対照を図ることとしたい。なお、詳細については第１分冊を参照願いたい。

| 番号 | 器種 | 図版一番号 | 対照表一番号 | 鑑定石材 | 備　考 | 実測番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 勾玉 | 第33図―522 | 表18―１ | 曹長石 | ２区 SD244 | G17 |
| 2 | 硯 | 第32図―484 | 表18―２ | 粘板岩 | ２区 SD244 | G14 |
| 3 | 管玉 | 第33図―513 | 表18―３ | 変質凝灰岩 | ２区 SD240 | Q17 |
| 4 | 勾玉未成品 | 第33図―521 | 表18―４ | 滑石 | ２区 SD240 | G16 |
| 5 | 勾玉 | 第33図―523 | 表18―５ | 滑石 | ２区 SD303 | G18 |
| 6 | 臼玉 | 第33図―512 | 表18―８ | 滑石 | ２区 AA８W５ | A58 |
| 7 | 丁字頭定形勾玉 | 第33図―520 | 表18―９ | 変質凝灰岩 | ２区 SD244 | N16 |
| 8 | 石釧 | 第33図―502 | 表18―14 | 変質凝灰岩 | １区 包含層 | G24 |
| 9 | 勾玉 | 第33図―519 | 表18―15 | 蛇紋岩（滑石） | ２区 SD303 | G19 |
| 10 | 有孔円盤 | 第33図―504 | 表19―１ | 凝灰質頁岩 | ２区 SD222 | Y13 |
| 11 | 管玉未成品 | 第33図―518 | 表19―３―３ | 碧玉 | ２区 SD303 | A54 |
| 12 | 管玉未成品 | 第33図―515 | 表19―３―４ | 碧玉 | ２区 SD303 | A55 |
| 13 | 管玉未成品 | 第33図―516 | 表19―３―５ | 碧玉 | ２区 SD303 | A56 |
| 14 | 管玉未成品 | 第33図―517 | 表19―３―６ | 変質流紋岩 | ２区 SD303 | A57 |
| 15 | 石鏃 | 第33図―529 | 表19―４―１ | 無斑晶質安山岩 | ２区 包含層 | N12 |
| 16 | 石鏃 | 第33図―525 | 表19―４―２ | 無斑晶質安山岩 | ２区 包含層 | N13 |
| 17 | 石鏃 | 第33図―532 | 表19―４―３ | 無斑晶質安山岩 | ２区 包含層 | N14 |
| 18 | 石鏃 | 第33図―535 | 表19―４―４ | 無斑晶質安山岩 | ２区 包含層 | N15 |
| 19 | 石鏃 | 第33図―526 | 表19―５―１ | 頁岩 | ２区 包含層 | A49 |
| 20 | 石鏃 | 第33図―527 | 表19―５―２ | 頁岩 | ２区 包含層 | A50 |
| 21 | 石鏃 | 第33図―528 | 表19―５―３ | 頁岩 | ２区 包含層 | A51 |
| 22 | 石鏃 | 第33図―536 | 表19―５―４ | 珪質頁岩 | ２区 包含層 | A52 |
| 23 | 石鏃 | 第33図―534 | 表19―６―１ | 無斑晶質安山岩 | ２区 包含層 | A43 |
| 24 | 石鏃？ | 第33図―537 | 表19―６―２ | 無斑晶質安山岩 | ２区 包含層 | A44 |
| 25 | 石鏃 | 第33図―530 | 表19―６―３ | 無斑晶質安山岩 | ２区 包含層 | A45 |
| 26 | 石鏃 | 第33図―531 | 表19―６―４ | 無斑晶質安山岩 | ２区 包含層 | A46 |
| 27 | 石鏃 | 第33図―533 | 表19―６―５ | 無斑晶質安山岩 | ２区 包含層 | A47 |
| 28 | 石針 | 第33図―511 | 表19―７―１ | 無斑晶質安山岩 | ２区 包含層 | Y22 |
| 29 | 管玉 | 第33図―514 | 表19―７―２ | 凝灰質頁岩 | ２区 包含層 | Y23 |




**第34図　石川県における石製品製作遺跡**

SB508（西から）

SB701（西から）

SK208（南東から）

SK209（南から）

SE251（西から）

SE252（南から）

SD222・SD259（東から）

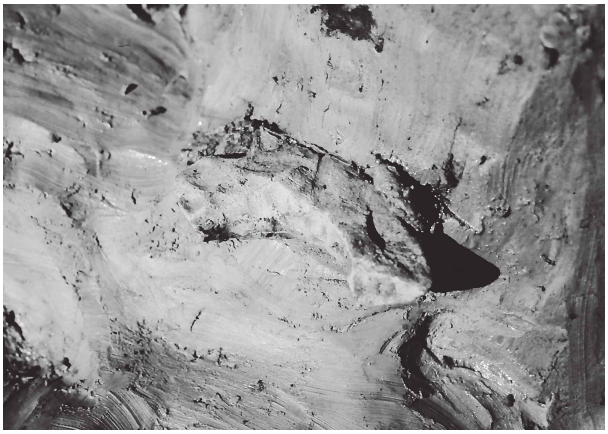
SD222・SD240（北西から）

SD244・SD240（南西から）

SD240　土器出土状況（北東から）

SD303（北から）

SD303　土器出土状況（北西から）


SD240　環状未成品出土状況

SD240　円盤状未成品出土状況

SD244　勾玉出土状況

作業風景

37

111

71

112

123

136

137

219

264

277

291

324

350・351・353・354

382

360

362

425

402

407

415

421

434

437

438

小型敲石（456・457）

打製石斧・磨製石斧（461・462・463）

石錘（466・467・469・470）

砥石（471 ～ 474・476・477）

石皿（479・480）

石刀（481）

磨製石剣・両刃石器（482・483）

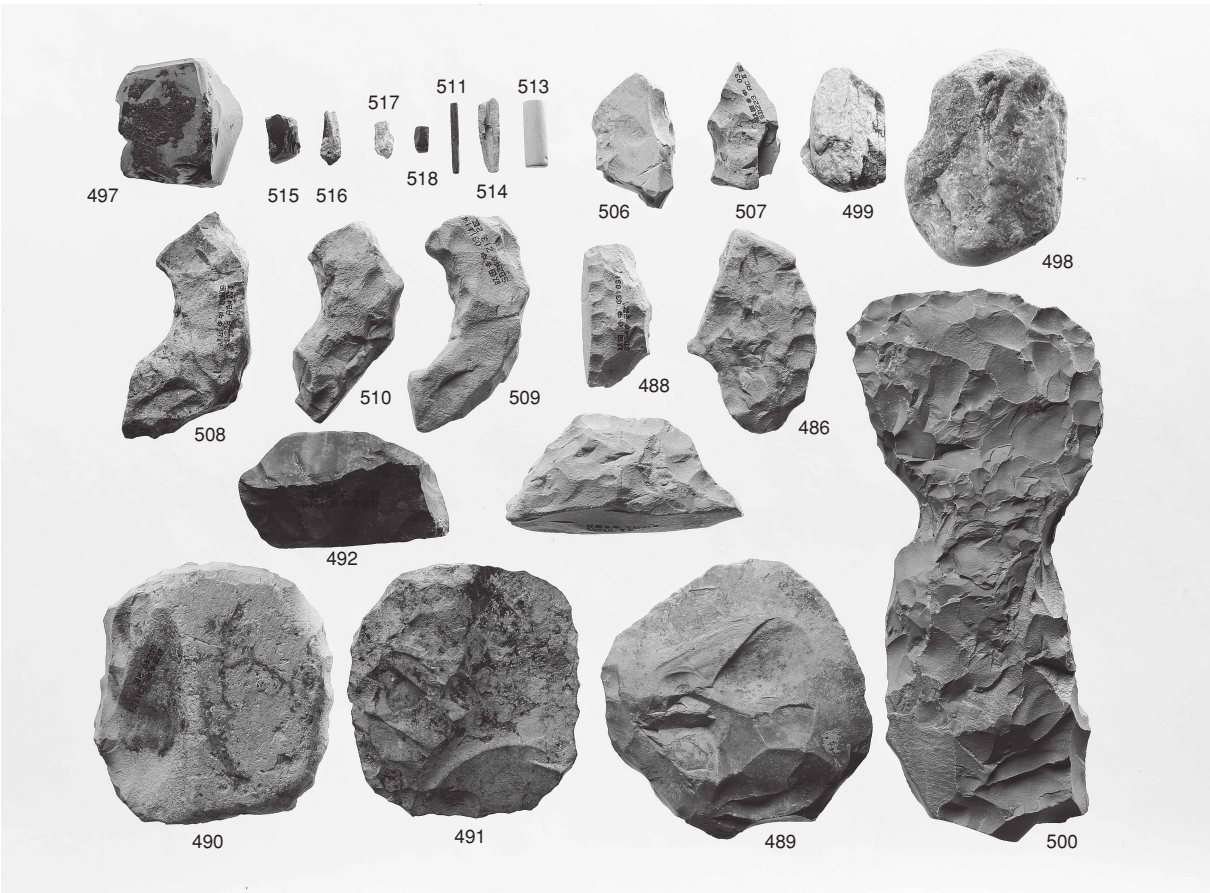
加工具（485）

車輪石・石釧・刳貫円盤（501～503）

有孔円盤・紡錘車（504・505）

臼玉・勾玉（512・519～523）

石鏃（524～537）




畝田・寺中遺跡出土の玉つくり関連遺物

【第５・６章　引用・参考文献】

伊藤雅文　2008　『古墳時代の王権と地域社会』学生社

伊藤雅文　2011　「古墳時代石製品製作における回転機材について」『勝部明生先生喜寿記念論文集』

大賀克彦　2002　「弥生・古墳時代の玉」『考古資料大観９　弥生・古墳時代』小学館

河村好光　2010　『倭の玉器　玉つくりと倭国の時代』青木書店

小嶋芳孝　2004　「北加賀の古代遺跡４～古代加賀の港湾と史的背景～」『石川考古学研究会々誌　第47号』石川考古学研究会

出越茂和　2012　「古代北陸の津湊と交通」『日本海を行き交う人・モノ・文化Ⅱ』富山市教育委員会

平井　勝　1991　『弥生時代の石器』ニュー・サイエンス社

平川　南　2006　「特論　畝田西遺跡群出土文字資料と古代港湾都市」『畝田西遺跡群Ⅵ』

北條芳隆　2002　「古墳時代前期の石製品」『考古資料大観９　弥生・古墳時代』小学館

三浦俊明　2007　「北陸における古墳時代前期の石製品生産」『石川県立博物館紀要第19号』

向井裕知　2010　「中世加賀の町場と区画」『中世都市研究15　都市を区切る』新人物往来社

石川考古学研究会　1996　『石川県考古資料調査・集成事業報告書　武器・武具・馬具Ⅰ』

石川考古学研究会　1997　『石川県考古資料調査・集成事業報告書　祭祀具Ⅱ』

石川考古学研究会　2000　『石川県考古資料調査・集成事業報告書　装身具Ⅱ』

石川考古学研究会　2001　『石川県考古資料調査・集成事業報告書　補遺編』

大阪府立弥生文化博物館　2005　『北陸の玉と鉄』

石川県立埋蔵文化財センター　1991　『宮丸遺跡・村井北遺跡・北出遺跡・村井キヒダ遺跡・米永古屋敷遺跡』

石川県立埋蔵文化財センター　1991　『畝田遺跡』

石川県立埋蔵文化財センター　1997　『潮津遺跡群』

（財）石川県埋蔵文化財センター　2000　『金沢市藤江Ｃ遺跡Ⅲ』

（財）石川県埋蔵文化財センター　2001　『金沢市藤江Ｂ遺跡Ⅰ』

（財）石川県埋蔵文化財センター　2001　『金沢市藤江Ｃ遺跡Ⅰ』

石川県教育委員会　2002　『金沢市藤江Ｂ遺跡』

石川県教育委員会　2005　『金沢市畝田西遺跡群Ⅱ』

石川県教育委員会　2006　『金沢市畝田西遺跡群Ⅲ』

石川県教育委員会　2006　『金沢市畝田西遺跡群Ⅳ』

石川県教育委員会　2006　『金沢市畝田東遺跡群Ⅲ』

石川県教育委員会　2009　『七尾市東三階Ａ遺跡』

加賀市教育委員会　1963　『加賀片山津玉造遺跡の研究』

金沢市教育委員会　1994　『金沢市藤江Ｂ遺跡（第２次）』

金沢市　2000　『戸水大西遺跡Ⅰ』

金沢市　2002　『大友西遺跡Ⅱ』

金沢市　2005　『出雲じいさまだ遺跡Ⅰ』

金沢市　2004　『金沢市史　通史編１』

羽咋市教育委員会　1999　『太田ニシカワダ遺跡』

松任市教育委員会　1993　『松任市浜竹松Ｂ（竹松北）遺跡』

# 報告書抄録

| | |
|---|---|
| ふりがな | いしかわけん　かなざわし　うねだ・じちゅういせき８ |
| 書名 | 石川県　金沢市　畝田・寺中遺跡Ⅷ |
| 副書名 | －木曳野遺跡群－ |
| 巻次 | Ⅵ |
| シリーズ名 | 金沢市文化財紀要 |
| シリーズ番号 | 288 |
| 編集者氏名 | 景山和也、向井裕知 |
| 編集機関 | 金沢市（金沢市埋蔵文化財センター） |
| 所在地 | 〒920－0374　金沢市上安原南60番地　TEL（076）269－2451 |
| 発行年月日 | 平成25（2013）年３月29日 |

| ふりがな<br>所収遺跡名 | ふりがな<br>所在地 | コード<br>市町村 | コード<br>遺跡番号 | 北緯 | 東経 | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 畝田・寺中<br>（うねだ・じちゅう） | 石川県（いしかわけん）<br>金沢市（かなざわし）<br>寺中町（じちゅうまち）、<br>畝田西４丁目（うねだにし４ちょうめ） | 172014 | 県01499<br>市029 | 36°<br>36’<br>33” | 136°<br>42’<br>33” | 20020715～20020920<br>20030602～20031128<br>20040502～20041029 | 約13,760㎡ | 区画整理 |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 畝田・寺中遺跡 | 集落跡 | 縄文･弥生･古墳･奈良･平安･鎌倉･室町 | 建物、井戸、土坑、溝、川 | 土師器<br>須恵器<br>陶磁器<br>石製品 | 川跡から古墳時代の土器・石器が多数出土 |

| | |
|---|---|
| 要約 | 木曳野遺跡群Ⅳで報告した古墳時代、奈良・平安時代の河川跡の続きやその他の遺構の報告を行った。主幹線２区は主に古墳時代中後期、奈良・平安時代の河川跡と平安時代末から鎌倉時代の堀が中心で、その他では掘立柱建物や素堀の井戸状土坑などが見つかっている。 |


石川県　金沢市

**畝田･寺中遺跡Ⅷ**

**－木曳野遺跡群Ⅵ－**

『金沢市文化財紀要』288

平成25年３月29日発行

編集　金沢市

発行　金沢市埋蔵文化財センター

〒920-0374　石川県金沢市上安原南60番地

TEL（076）269-2451　FAX（076）269-2452

印刷　株式会社 栄光プリント

〒920-0806　金沢市神宮寺3-4-17

TEL（076）251-3076